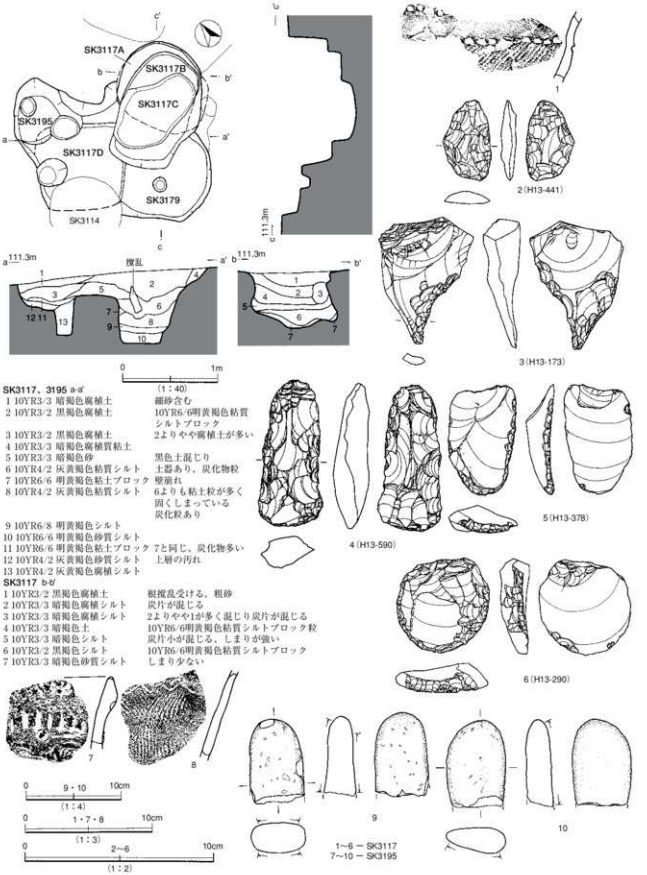
Title:P517-539_縄文.ec6 Page:519 Date: 2005/03/18 Fri 19:17:03



SK3117、3195 a-a'

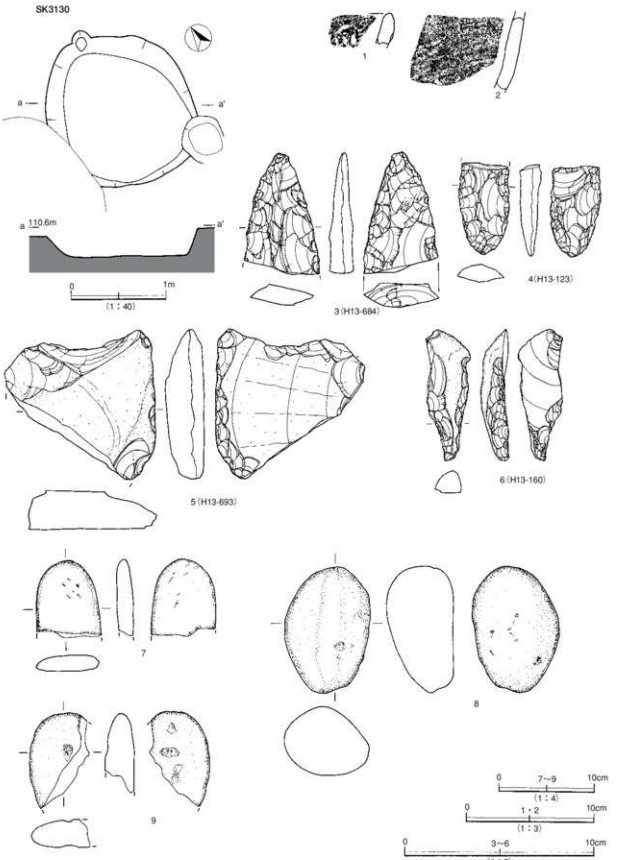
1 10YR3/3 暗褐色腐植土	細砂含む
2 10YR3/2 黒褐色腐植土	10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック
3 10YR3/2 黒褐色腐植土	2よりやや腐植土が多い
4 10YR3/3 暗褐色腐植質粘土	
5 10YR3/3 暗褐色砂	黒色土混じり
6 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト	土器あり、炭化物粒
7 10YR6/6 明黄褐色粘土ブロック	壁崩れ
8 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト	6よりも粘土粒が多く固くしまっている 炭化粒あり
9 10YR6/8 明黄褐色シルト	
10 10YR6/6 明黄褐色砂質シルト	
11 10YR6/6 明黄褐色粘土ブロック	7と同じ、炭化物多い
12 10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	上層の汚れ
13 10YR4/2 灰黄褐色腐植シルト	

SK3117 b-b'

1 10YR3/2 黒褐色腐植土	根撹乱受ける、粗砂
2 10YR3/3 暗褐色腐植シルト	炭片が混じる
3 10YR3/3 暗褐色腐植シルト	2よりやや1が多く混じり炭片が混じる
4 10YR3/3 暗褐色土	10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック粒
5 10YR3/3 暗褐色シルト	炭片小が混じる、しまりが強い
6 10YR3/2 黒褐色シルト	10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック
7 10YR3/3 暗褐色砂質シルト	しまり少ない

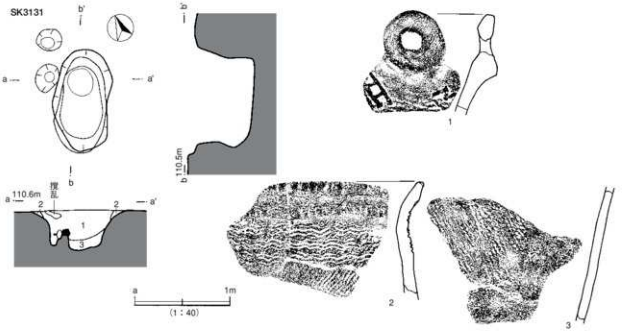
第447図　SK3117・3179・3195 土坑・出土遺物

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:520 Date: 2005/03/18 Fri 19:19:51

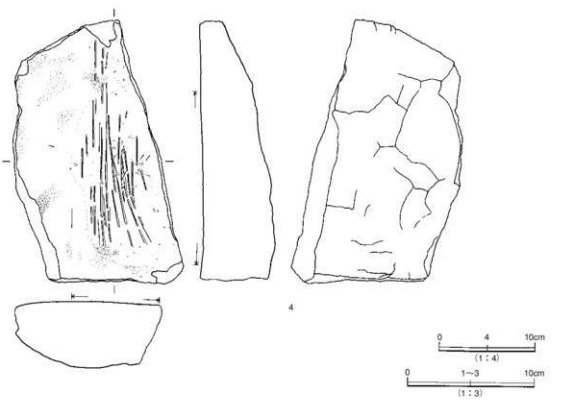


第448図　SK3130 土坑・出土遺物

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:521 Date: 2005/03/18 Fri 19:22:42

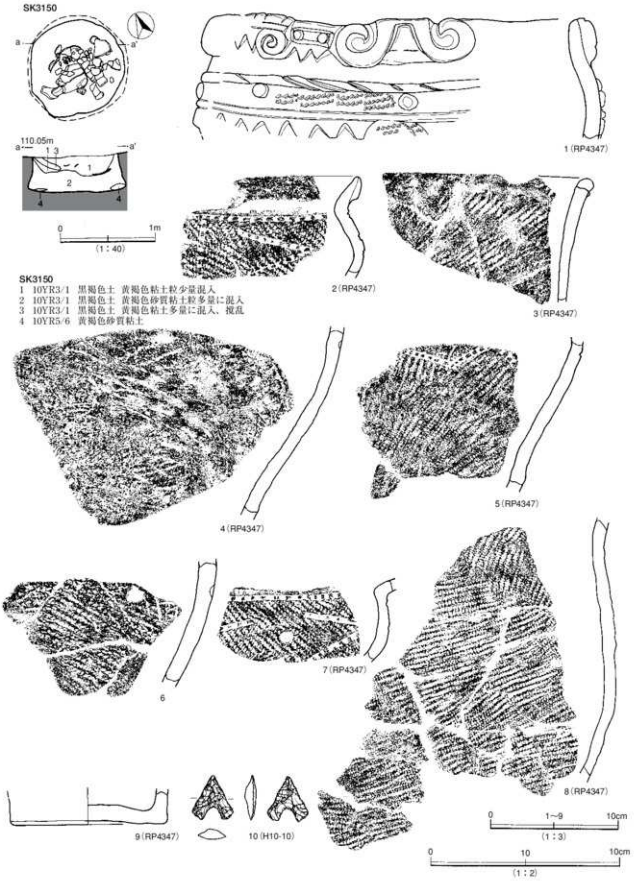


SK3131
1　10YR3/2 黒褐色腐植質シルト　　炭片（5mm～2cm）、土器小片混じり、しまり少ない
2　10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト　　しまり強い
3　10YR6/6 明黄褐色粘質シルトブロック　10YR3/2黒褐色シルトとの混合土



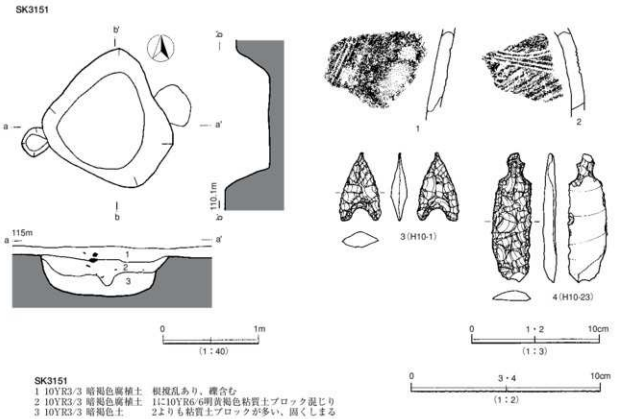
第449図　SK3131 土坑・出土遺物

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:522 Date: 2005/03/18 Fri 19:24:55



第450図　SK3150 土坑・出土遺物

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:523 Date: 2005/03/19 Sat 13:10:41



SK3151
1　10YR3/3 暗褐色腐植土　根撹乱あり、礫含む
2　10YR3/3 暗褐色腐植土　1に10YR6/6明黄褐色粘質土ブロック混じり
3　10YR3/3 暗褐色土　2よりも粘質土ブロックが多い、固くしまる

第451図　SK3151 土坑・出土遺物

ＳＫ3162・3163（第454～456図　写遺物－66・96）

ＳＫ3162はグリッド９－98に位置する。ＳＴ3337・4127大型住居跡内に所在する。ＳＫ3163に切られる。平面形は不整円形を呈し、規模は長径1.25m、短径1.17mを測る。確認面からの深さ85cmと深い土坑である。底面は平坦である。覆土は黒褐色腐植土～褐色シルトを主体とする。遺物は１～３の深鉢や４～９の掻器・磨石・石皿片がある。

ＳＫ3163はグリッド９－99に位置する。ＳＫ3162と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸72cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ深さは50～65cmである。底面は平坦である。覆土は褐色腐植土を主体とする。

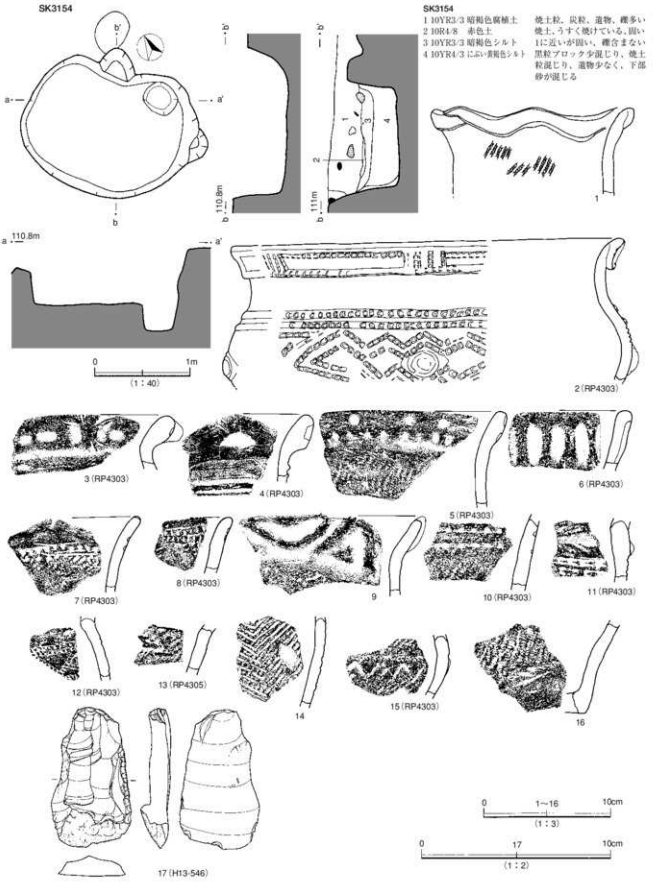
遺物は10～15の深鉢口縁部片や16～20の掻器・削器などがある。19は擦痕がある磨石、20は小形の石皿か。

ＳＫ3198（第457図　写遺物－95）

グリッド８－97に位置する。ＳＫ3199と重複し、北側の一部は調査区外である。平面形は不整楕円形を呈する大型土坑である。規模は長径2.1m、短径1.95mを測る。壁高1.15mの深い土坑である。壁は一部でオーバーハングしている。底面は凹凸がある。覆土は暗褐色腐植土～暗褐色土を主体とする。

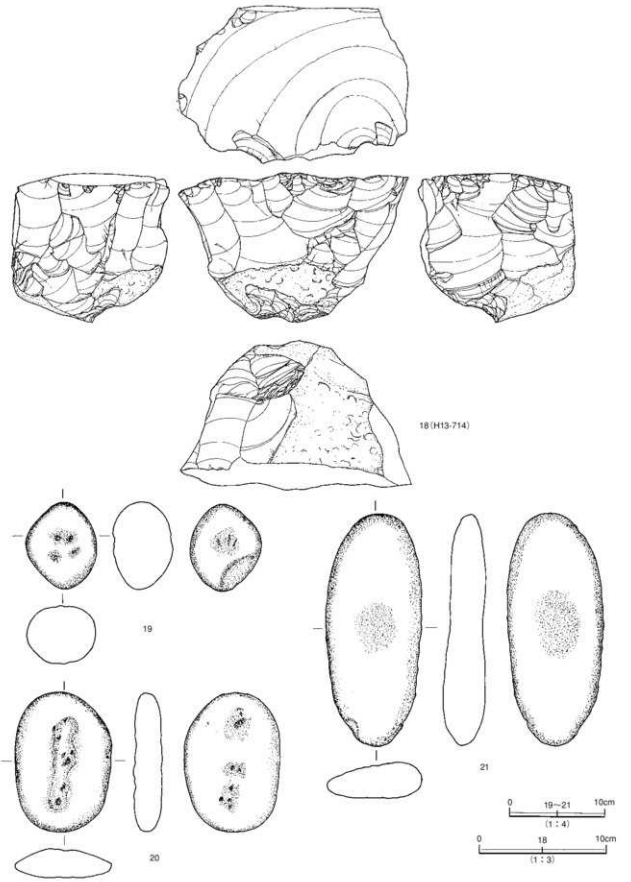
遺物は１～７の台付鉢や８の石器がある。

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:524 Date: 2005/03/18 Fri 19:31:27



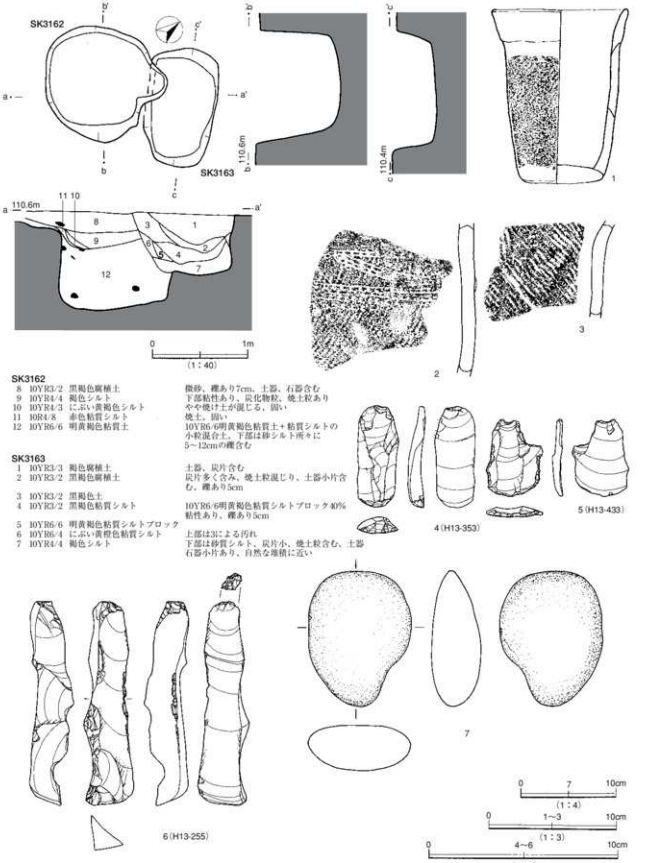
第452図　SK3154 土坑・出土遺物（1）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:525 Date: 2005/03/18 Fri 19:33:36



第453図 SK3154 土坑出土遺物（2）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:526 Date: 2005/03/18 Fri 19:36:00



SK3162

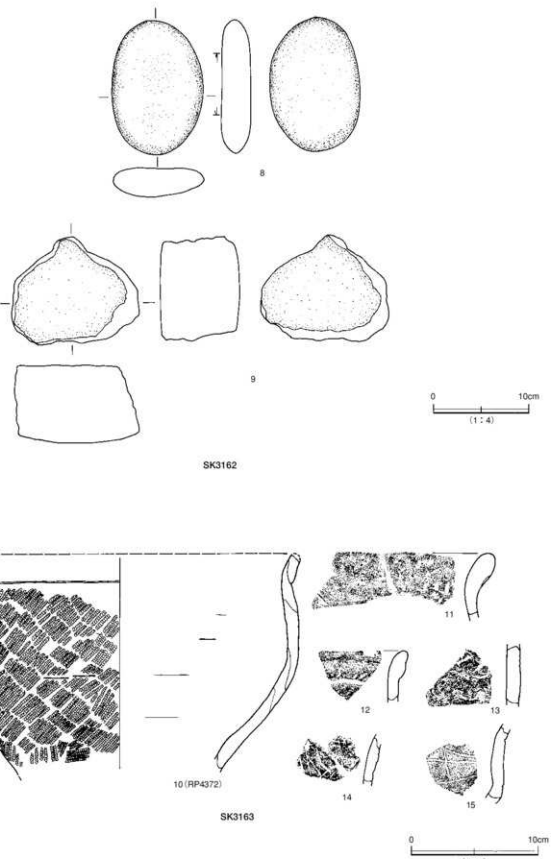
8	10YR3/2 黒褐色腐植土	微砂、礫あり7cm、土器、石器含む
9	10YR4/4 褐色シルト	下部粘性あり、炭化物粒、焼土粒あり
10	10YR4/3 にぶい黄褐色シルト	やや焼け土が混じる、固い
11	10R4/8 赤色粘質シルト	焼土、固い
12	10YR6/6 明黄褐色粘質土	10YR6/6明黄褐色粘質土＋粘質シルトの小粒混合土、下部は砂シルト所々に5～12cmの礫含む

SK3163

1	10YR3/3 褐色腐植土	土器、炭片含む
2	10YR3/2 黒褐色腐植土	炭片多く含み、焼土粒混じり、土器小片含む、礫あり5cm
3	10YR3/2 黒褐色土	
4	10YR3/2 黒褐色粘質シルト	10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック40%粘性あり、礫あり5cm
5	10YR6/6 明黄褐色粘質シルトブロック	
6	10YR6/4 にぶい黄橙色粘質シルト	土部は3による汚れ
7	10YR4/4 褐色シルト	下部は砂質シルト、炭片小、焼土粒含む、土器右器小片あり、自然な堆積に近い

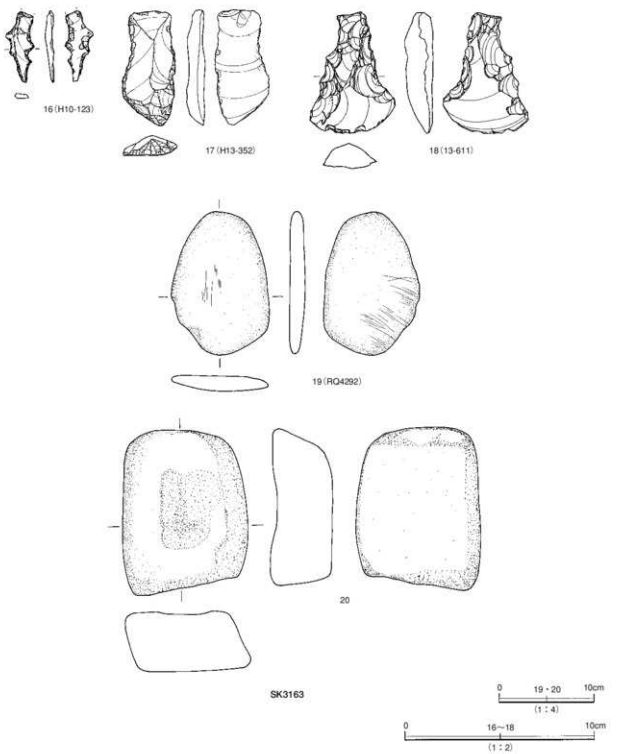
第454図　SK3162・3163 土坑・出土遺物（1）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:527 Date: 2005/03/18 Fri 19:40:12



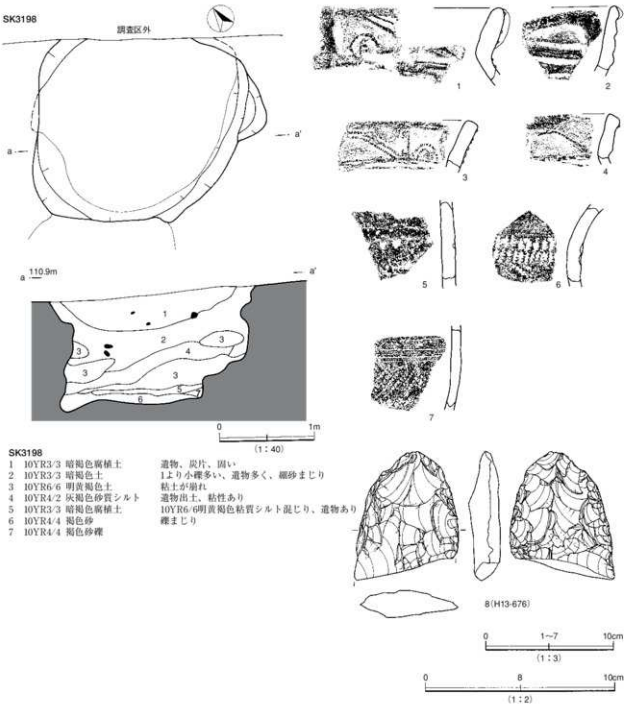
第455図　SK3162・3163 土坑出土遺物（2）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:528 Date: 2005/03/18 Fri 19:46:28



第456図 SK3162・3163 土坑出土遺物（3）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:529 Date: 2005/03/18 Fri 19:49:33



SK3198

1	10YR3/3 暗褐色腐植土	遺物、炭片、固い
2	10YR3/3 暗褐色土	1より小礫多い、遺物多く、細砂まじり
3	10YR6/6 明黄褐色土	粘土が崩れ
4	10YR4/2 灰褐色砂質シルト	遺物出土、粘性あり
5	10YR3/3 暗褐色腐植土	10YR6/6明黄褐色粘質シルト混じり、遺物あり
6	10YR4/4 褐色砂	礫まじり
7	10YR4/4 褐色砂礫	

第457図　SK3198 土坑・出土遺物

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:530 Date: 2005/03/19 Sat 13:15:57

ＳＫ3199・3200（第458・459図）

ＳＫ3199はグリッド８－97に位置する。ＳＴ3202・ＳＫ3200と重複する。平面形は不整円形で規模は径2.0×1.8mを測る。深さ80cmの深い土坑である。壁は当初、全体にオーバーハングしていたとみられる。底面は平坦だがピットを有する。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。１～４層は自然堆積、５層は人為的埋土である。遺物は１～７の深鉢片、台付鉢底部、８～９の石錐がある。

底面にピット

ＳＫ3200はグリッド８－97に位置する。ＳＫ3199と重複する楕円形の土坑である。規模は長径2.3m、短径1.7m、深さ90cmの深い土坑である。底面は平坦である。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。１～４層は自然堆積、５層は人為的埋土である。

自然堆積と人為的埋土

遺物は10～20の深鉢片や21～26の石錐・削器などがある。27は凹石である。

ＳＫ3203・3205（第460・461図）

ＳＫ3203はグリッド８－97・98に位置する。ＳＴ3202・ＳＫ3205と重複し、調査区北端に所在する楕円形の大型土坑である。長径2.26m、短径1.88mを測る。深さ98cmの深い土坑である。底面は平坦であるが、径１m、深さ20cmのピット状の掘り込みが検出されている。覆土は黒褐色腐植土～暗褐色シルトを主体とする。

遺物は１～５の深鉢片や６～10の石錐や石匙、11～13の磨石がある。

ＳＫ3205はグリッド８－97・98に位置する。ＳＫ3203と重複し切られる楕円形の土坑である。長径1.34m、短径1.18mを測り、深さ63cmのやや深い土坑である。底面は平坦である。覆土は黒褐色腐植土～黒褐色腐植土ブロックを主体とする。

遺物は14～18の深鉢片や19・20の石器がある。

ＳＫ3209（第462図）

グリッド８－101に位置する。調査区北西端に所在し、一部調査区外にかかる不整楕円形の柱穴である。径50cm、深さ90cmの深くしっかりした柱穴である。覆土は黒褐色腐植土～灰褐色砂質シルトを主体とする。

本址と同様の柱穴状遺構は５m南にもＳＰ3140が単独で所在し、その南５mにはＳＴ3703内のＥＰ3178、さらに南５mにＳＴ3337内のＳＰ3163が所在する。このような５m間隔での大型柱穴の配置は、グリッド８・９－85～88でのＳＰ2539・ＳＰ3100・ＳＫ1431などでもみられた。

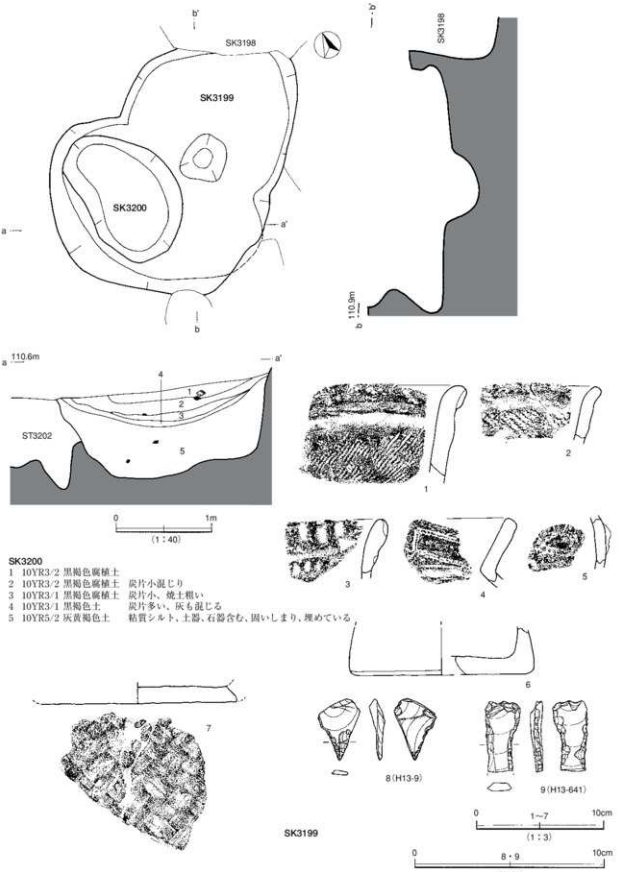
遺物は１・２の深鉢や３の掻器がある。

ＳＫ3263（第462図）

グリッド10－101に位置する。ＳＴ3337・4168大型住居跡の柱穴ＳＫ3264などと重複する円形の土坑である。長径1.03m、短径90cmを測る。深さ25cmのやや浅い土坑である。壁は南北でややオーバーハングしている。底面は平坦である。覆土は黒褐色土を主体とする。本址はフラスコ状土坑であった可能性がある。

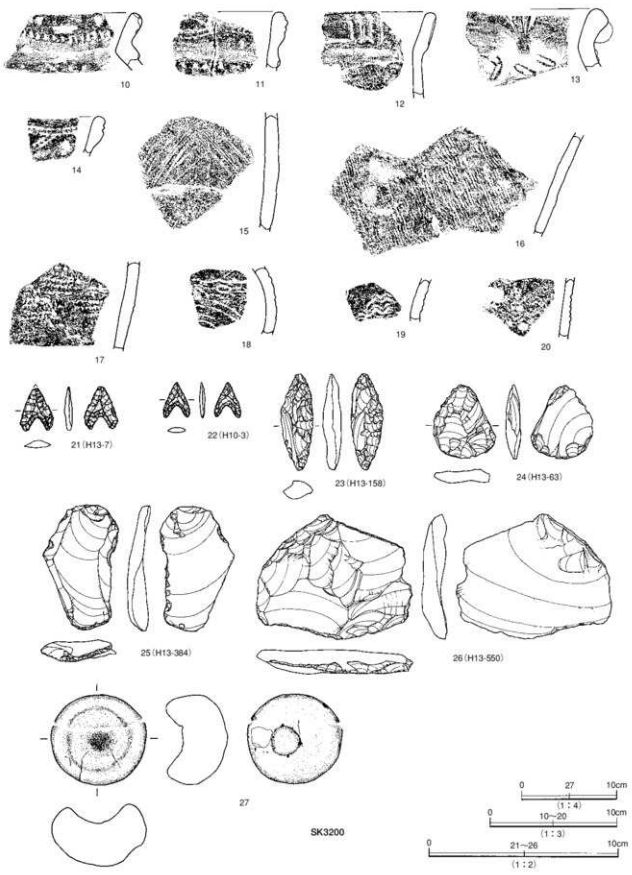
遺物は１・２の深鉢がある。

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:531 Date: 2005/03/18 Fri 19:54:44



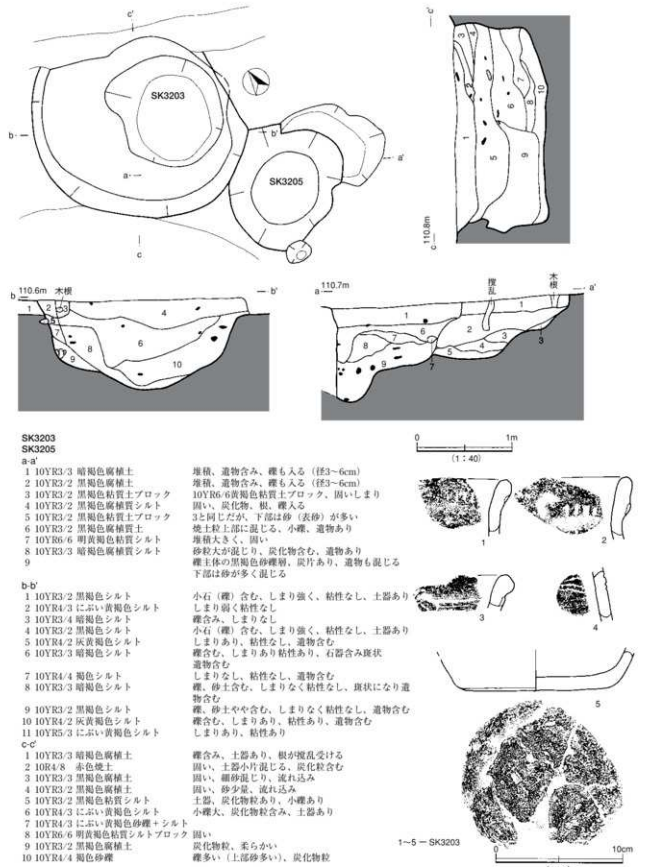
第458図 SK3199・3200 土坑・出土遺物（1）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:532 Date: 2005/03/18 Fri 19:57:20



第459図 SK3199・3200 土坑出土遺物（2）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:533 Date: 2005/03/18 Fri 19:59:36



SK3203
SK3205

a-a'

1	10YR3/3	暗褐色腐植土	堆積、遺物含み、礫も入る（径3～6cm）
2	10YR3/2	黒褐色腐植土	堆積、遺物含み、礫も入る（径3～6cm）
3	10YR3/2	黒褐色粘質土ブロック	10YR6/6黄褐色粘質土ブロック、固いしまり
4	10YR2/2	黒褐色腐植質シルト	固い、炭化物、根、礫入る
5	10YR3/2	黒褐色粘質土ブロック	3と同じだが、下部は砂（表砂）が多い
6	10YR3/2	黒褐色腐植質土	焼土粒上部に混じる、小礫、遺物あり
7	10YR6/6	明黄褐色粘質シルト	堆積大きく、固い
8	10YR3/3	暗褐色腐植質シルト	砂粒大が混じり、炭化物含む、遺物あり
9			礫主体の黒褐色砂礫層、炭片あり、遺物も混じる 下部は砂が多く混じる

b-b'

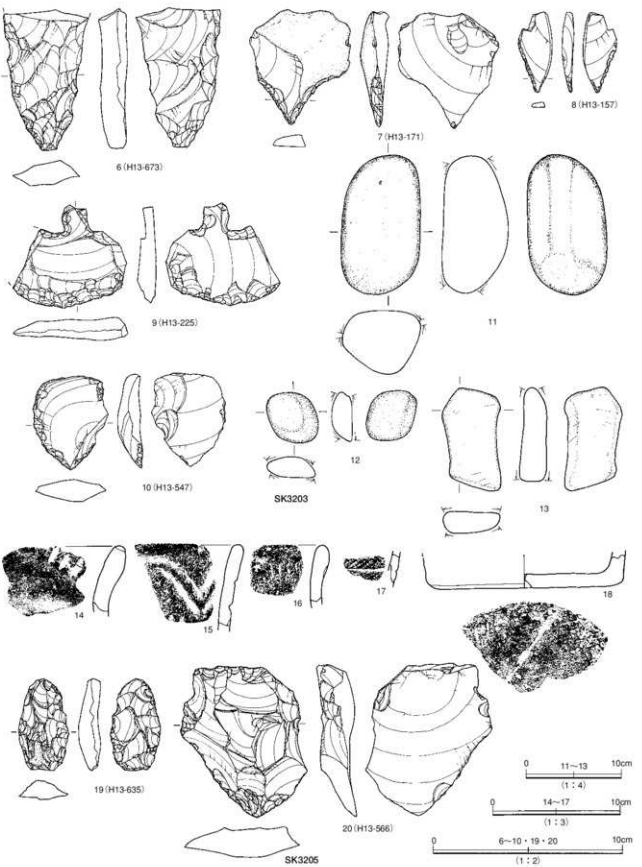
1	10YR3/2	黒褐色シルト	小石（礫）含む、しまり強く、粘性なし、土器あり
2	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	しまり弱く粘性なし
3	10YR3/4	暗褐色シルト	礫含み、しまりなし
4	10YR3/2	黒褐色シルト	小石（礫）含む、しまり強く、粘性なし、土器あり
5	10YR4/2	灰黄褐色シルト	しまりあり、粘性なし、遺物含む
6	10YR3/3	暗褐色シルト	礫含む、しまりあり粘性あり、石器含み斑状 遺物含む
7	10YR4/4	褐色シルト	しまりなし、粘性なし、遺物含む
8	10YR3/3	暗褐色シルト	礫、砂土含む、しまりなく粘性なし、斑状になり遺 物含む
9	10YR3/2	黒褐色シルト	礫、砂土やや含む、しまりなく粘性なし、遺物含む
10	10YR4/2	灰黄褐色シルト	礫含む、しまりあり、粘性あり、遺物含む
11	10YR5/3	にぶい黄褐色シルト	しまりあり、粘性あり

c-c'

1	10YR3/3	暗褐色腐植土	礫含み、土器あり、根が撹乱受ける
2	10R4/8	赤色焼土	固い、土器小片混じる、炭化粒含む
3	10YR3/3	黒褐色腐植土	固い、細砂混じり、流れ込み
4	10YR3/2	黒褐色腐植土	固い、砂少量、流れ込み
5	10YR3/2	黒褐色粘質シルト	土器、炭化物粒あり、小礫あり
6	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	小礫大、炭化物粒含み、土器あり
7	10YR4/3	にぶい黄褐色砂礫＋シルト	
8	10YR6/6	明黄褐色粘質シルトブロック	固い
9	10YR3/2	黒褐色腐植土	炭化物粒、柔らかい
10	10YR4/4	褐色砂礫	礫多い（上部砂多い）、炭化物粒

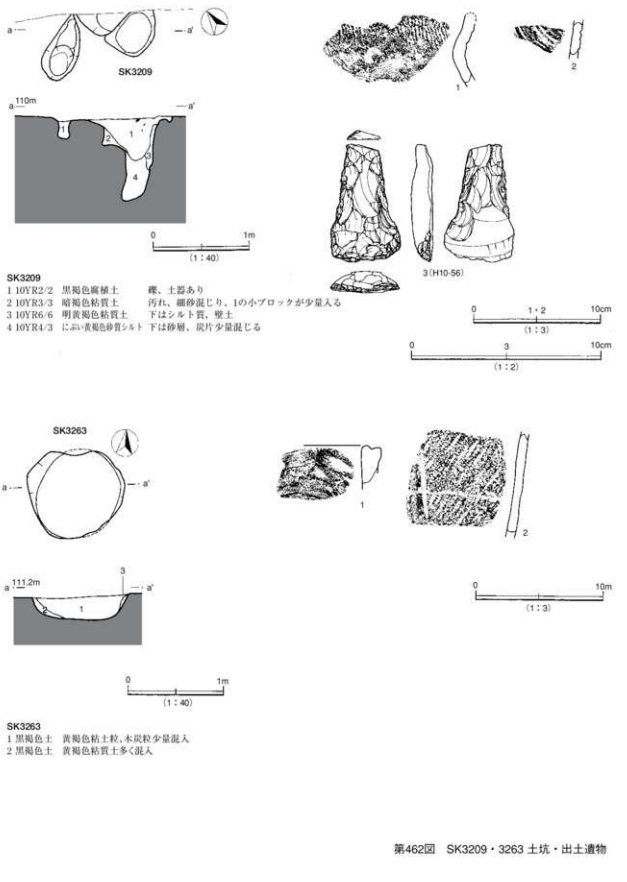
第460図　SK3203・3205 土坑・出土遺物（1）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:534 Date: 2005/03/18 Fri 20:04:42



第461図 SK3203・3205 土坑出土遺物（2）

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:535 Date: 2005/03/18 Fri 20:09:33



SK3209
1 10YR2/2 黒褐色腐植土　　礫、土器あり
2 10YR3/3 暗褐色粘質土　　汚れ、細砂混じり、1の小ブロックが少量入る
3 10YR6/6 明黄褐色粘質土　　下はシルト質、壁土
4 10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト　下は砂層、炭片少量混じる

SK3263
1 黒褐色土　黄褐色粘土粒,木炭粒少量混入
2 黒褐色土　黄褐色粘質土多く混入

第462図　SK3209・3263 土坑・出土遺物

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:536 Date: 2005/03/19 Sat 13:16:52

ＳＫ3239（第463図　写遺構－187）

グリッド10－102に位置する。小判形の土坑である。ＳＴ4127大型住居跡の北西端の南に隣接する。規模は長径2.63m、短径1.5mを測る。深さ72cmの深い土坑である。壁はほとんどがオーバーハングし、一部は垂直である。底面は平坦だが、長軸に沿って中央部に深さ15cm、長さ2.19m、幅35cmの溝を有する。覆土は黒褐色土～暗褐色土を主体とする。

底面に溝状遺構

遺物は１・２の半截竹管文の深鉢片や３～５の掻器がある。

ＳＫ3261（第464図　写遺物－61）

グリッド９－99に位置する。ＳＴ4127大型住居跡の北辺に重複する。平面形は円形～隅丸方形のフラスコ状土坑である。規模は長径1.54m、短径1.15m、深さ55cmを測る。西壁以外はほとんどがオーバーハングしている。本来は全面でオーバーハングしていたものとみられる。底面は平坦である。覆土は暗褐色シルト質粘土～褐色シルト質粘土を主体とする。

遺物は太い沈線文や半截竹管文の台付鉢口縁部片、深鉢口縁部片や削器が出土している。

ＳＫ3326（第465図）

グリッド13－100に位置する。ＳＴ3301～3303の南に隣接して所在する円形の土坑である。規模は径２m、深さ1.1mの深い土坑である。壁はほとんどが垂直ないしオーバーハングし、底面は平坦である。覆土は暗褐色土～黒褐色土を主体とする。

遺物は１・２の深鉢片がある。

ＳＫ3307（第466図　写遺構－187　写遺物－96）

グリッド12－102に位置する。調査区西端、西への斜面上に縄文時代中期大木10式期のＳＴ3304の西に隣接して所在する。平面形は不整楕円形を呈する。規模は長径1.52m、短径1.07mを測る。深さ1.12mの深い土坑である。壁はほとんどがオーバーハングしているため当初はフラスコ状土坑であったものとみられる。底面はほぼ平坦である。覆土は暗褐色シルト～暗褐色砂質土を主体とする。遺物は１の縄文時代中期大木８ｂ式の深鉢型土器口縁部が出土している。

大木８ｂ式土器

ＳＫ3332（第466図）

グリッド12－100に位置する。ＳＴ3301～3303の南に隣接して所在する不整楕円形の土坑である。規模は長径1.6m、短径1.5mを測る。深さは35cmである。底面は平坦である。覆土は褐色シルトを主体とする。当初はフラスコ状土坑であったとみられる。

ＳＫ3346（第466図）

グリッド10－97に位置する、円形のフラスコ状土坑である。規模は径1.04m、深さ24cmを測る。壁は全体でオーバーハングし底面は平坦である。覆土は褐色土を主体とする。

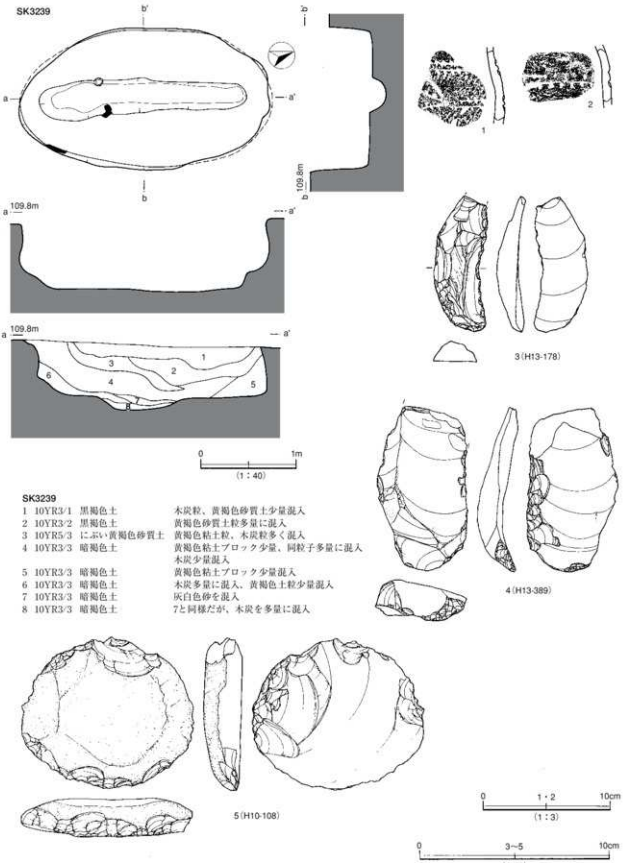
ＳＫ3348（第466図）

グリッド10－97に位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長径80cm、短径50cmを測る。深さ20cmの浅い土坑である。底面は平坦で断面Ｕ字形である。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。

ＳＫ3338（第467図）

グリッド10－98に位置する。ＳＫ3130・3881と重複し、ＳＴ4127内に所在する楕円形の土坑である。規模は長径1.86m、短径1.58mを測る。壁高は西壁で深さ26cmだが、東壁は重複のために浅い。底面は非常に平坦である。遺物は深鉢片が少量出土している。

Title:P517-539_縄文.ec6 Page:537 Date: 2005/03/18 Fri 20:12:58

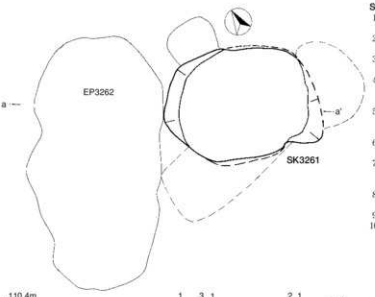


SK3239

1	10YR3/1 黒褐色土	木炭粒、黄褐色砂質土少量混入
2	10YR3/2 黒褐色土	黄褐色砂質土粒多量に混入
3	10YR5/3 にぶい黄褐色砂質土	黄褐色粘土粒、木炭粒多く混入
4	10YR3/3 暗褐色土	黄褐色粘土ブロック少量、同粒子多量に混入 木炭少量混入
5	10YR3/3 暗褐色土	黄褐色粘土ブロック少量混入
6	10YR3/3 暗褐色土	木炭多量に混入、黄褐色土粒少量混入
7	10YR3/3 暗褐色土	灰白色砂を混入
8	10YR3/3 暗褐色土	7と同様だが、木炭を多量に混入

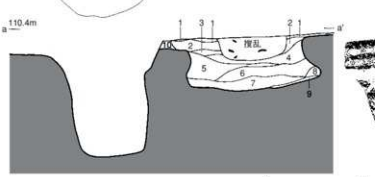
第463図　SK3239 土坑・出土遺物

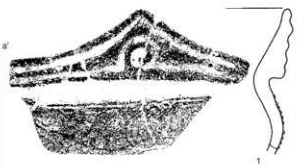
Title:P517-539_縄文.ec6 Page:538 Date: 2005/03/18 Fri 20:17:30

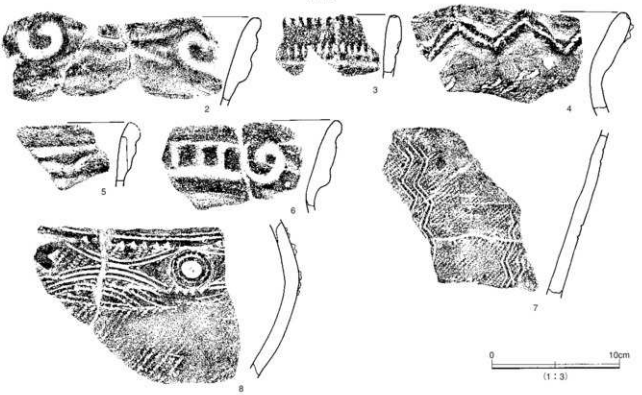


SK3261

1	10YR3/2黒褐色シルト質粘土	黄褐色粘土ブロック、黒色土ブロックを含み、非常に固くしまっている
2	10YR3/4暗褐色シルト質粘土	黄褐色粘土粒やブロック、若干の炭化粒子を含み固くしまっている
3	10YR3/4暗褐色シルト質粘土	2に近似するが、黄褐色粘土ブロックを2より多く含む
4	10YR4/4褐色シルト質粘土	2、3に近似するが、色調がやや明るく黄褐色粘土ブロックが多くなり、より固くしまっている
5	10YR4/6褐色シルト質粘土	黄褐色粘土ブロック（径2～4cm）を多量に、若干の炭化粒子を含み、固くしまっている
6	10YR3/4暗褐色シルト質粘土	5に近似、色調がやや暗く、より炭化粒を多量に含む、より固くしまっている
7	10YR4/4褐色シルト質粘土	多量の炭化粒子、黄褐色粘土ブロック（径1～3cm）を含み、非常に固くしまる
8	10YR5/3にぶい黄褐色シルト	壁体の崩落土、粘土ブロック、砂礫まじり
9	10YR3/4暗褐色シルト	8と同じ、色調がやや明るくなる白色の風化礫粒が混じる
10	10YR2/1黒色シルト質粘土	

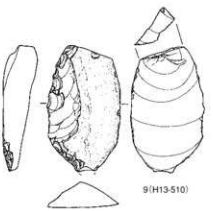


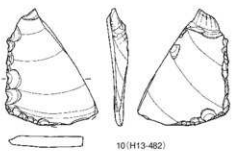


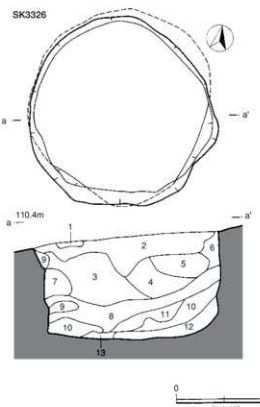


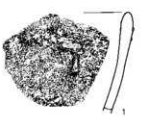
第464図　SK3261 土坑・出土遺物

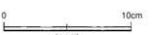
Title:P517-539_縄文.ec6 Page:539 Date: 2005/03/18 Fri 20:19:53









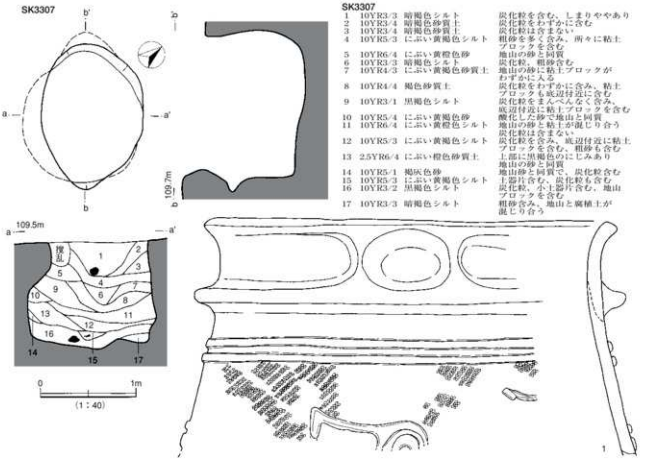


SK3326

1	10YR3/3 暗褐色土	木炭多量混入
2	10YR3/1 黒褐色土	木炭、細砂を多く混入、砂質土
3	10YR3/3 暗褐色土	木炭粒、黄褐色砂粒、細砂多く混入、しまりない砂質土
4	10YR3/3 暗褐色土	よくしまり、木炭粒、焼土粒、黄褐色砂質土粒混入
5	10YR7/6 明黄褐色砂質土	砂利混入
6	10YR3/1 黒褐色砂質土	黄褐色砂を多量に混入
7	10YR3/1 黒褐色砂質土	2と同様だが、2より黄褐色砂を多く混入
8	10YR2/1 黒色粘質土	黄褐色砂質土を少量混入、よくしまる
9	10YR7/6 明黄褐色砂質土	8を少量混入
10	10YR7/6 明黄褐色砂質シルト	シルトと砂の混合層
11	10YR7/6 明黄褐色シルト	8の黒色土を多く混入
12	10YR8/1 灰白色砂質土	かなり軟弱
13	10YR5/3 にぶい黄褐色砂質土	8を多く混入、砂質

第465図　SK3261・3326 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:540 Date: 2005/03/18 Fri 20:27:55



SK3307

1	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化粒を含む、しまりややあり
2	10YR3/4	暗褐色砂質土	炭化粒をわずかに含む
3	10YR3/4	暗褐色砂質土	炭化粒は含まない
4	10YR5/3	にぶい黄褐色シルト	粗砂を多く含み、所々に粘土ブロックを含む
5	10YR6/4	にぶい黄橙色砂	地山の砂と同質
6	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化粒、粗砂含む
7	10YR4/3	にぶい黄褐色砂質土	地山の砂に粘土ブロックがわずかに入る
8	10YR4/4	褐色砂質土	炭化粒をわずかに含み、粘土ブロックも底辺付近に含む
9	10YR3/1	黒褐色シルト	炭化粒をまんべんなく含み、底辺付近に粘土ブロックを含む
10	10YR5/4	にぶい黄褐色砂	酸化した砂で地山と同質
11	10YR6/4	にぶい黄橙色シルト	地山の砂と粘土が混じり合う
12	10YR5/3	にぶい黄褐色シルト	炭化粒は含まない
13	2.5YR6/4	にぶい橙色砂質土	炭化粒を含み、底辺付近に粘土ブロックを含む、粗砂も含む
14	10YR5/1	褐灰色砂	土部に黒褐色のにじみあり 地山の砂と同質
15	10YR5/3	にぶい黄褐色シルト	地山砂と同質で、炭化粒含む
16	10YR3/2	黒褐色シルト	土器片含む、炭化粒も含む
17	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化粒、小土器片含む、地山ブロックを含む 粗砂含み、地山と腐植土が混じり合う

SK3332

1	10YR4/4	褐色シルト　　粘土、腐植土、砂が斑に混じりあう
2	10YR4/2	灰黄褐色シルト　　粘土、腐植土、砂が混じりあうが、1より腐植土の割合が多い
3	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト　　シルトの中に腐植土が混じる、下部ほど腐植土の割合が多い

SK3346

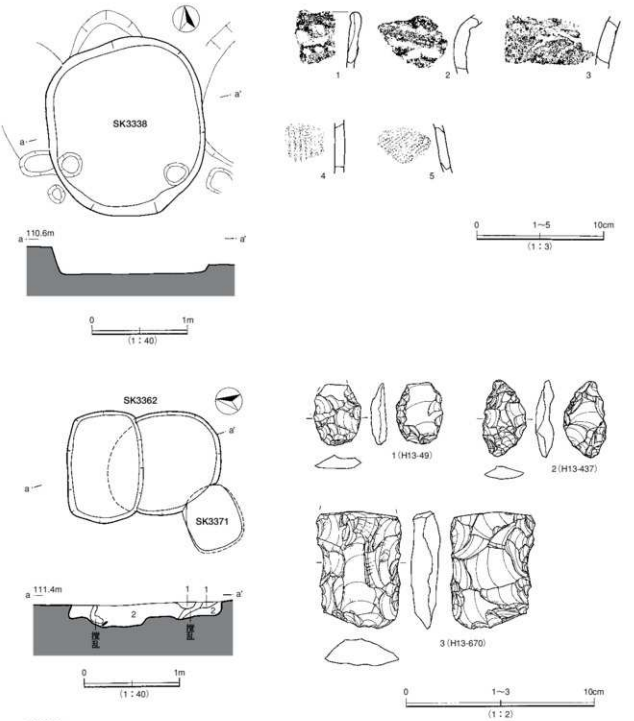
1	10YR4/4	褐色土　　礫あり、固い粘性あり
2	10YR4/3	にぶい黄褐色土　　やや細かい砂質土含む、硬質土
3	10YR4/3	にぶい黄褐色土　　小さい礫少々含む、堅い土質
4	10YR4/3	にぶい黄褐色土　　細かい砂質土、粘り気あり、ざらざらした手ざわり

SK3348

1	10YR3/1	黒褐色腐植質土　　柔らかい
2	10YR4/4	褐色シルト　　土器、石器出土
3	10YR3/1	黒褐色腐植シルト　　土器、石器出土
4	10YR3/2	黒褐色腐植シルト　　10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック40%くらい

第466図　SK3307・3332・3346・3348 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:541 Date: 2005/03/18 Fri 20:30:42



SK3362
1　10YR3/2 黒褐色腐植質シルト
2　10YR3/2 褐色腐植質シルト　10YR6/6明黄褐色粘質土ブロック
根の撹乱多い、石ベラ出土、人為的埋め土

第467図　SK3338・3362 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:542 Date: 2005/03/19 Sat 13:20:25

ＳＫ3362・3371（第467図）

グリッド９－95に位置する。ＳＴ3812の南側に隣接しＳＫ3371と重複する。新旧２基の土坑が切り合って１つの遺構を形成している。規模は長軸1.64m、短軸1.1m、深さ24cmを測る。底面は凹凸がみられ、木根による撹乱が多い。遺物は断面下部から石篦等の石器が出土している。

ＳＫ3371の平面形は楕円形を呈する小坑である。規模は長径65cm、短径56cmを測り、深さは33cmである。かなり小形だがフラスコ状土坑である。

ＳＫ3373（第468図　写遺構－188）

グリッド11－95に位置する。ＳＴ3467とＳＴ3812大型住居跡の中間の土坑が多数所在する地区にある。平面形は小判形～楕円形を呈する。規模は長径1.34m、短径85cmを測る。深さ53cmのやや深い土坑である。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。覆土は褐色腐植質シルト～黒褐色腐植土を主体とする。

ＳＫ3377 ａ・ｂ（第468図　写遺構－188）

グリッド11－95に位置する。ＳＴ3373の南に隣接する。平面形はａが隅丸長方形、ｂはフラスコ状を呈する。ａの規模は長軸1.4m、短軸90cm、深さ42cmで垂直に掘り込まれる深い土坑である。ｂの規模は径1.3m、深さ25cmで、浅いが断面フラスコ状の土坑である。ａ・ｂともに底面は平坦である。覆土はにぶい黄橙色土～褐灰色土を主体とする。

遺物はａで１・２の石鏃などが出土している。

ＳＫ3379（第469図　写遺構－188　写遺物－２・６・97）

グリッド10－95に位置する。ＳＴ3812・3467大型住居跡の中間付近に所在する。２つの小土坑が重複し、フラスコ状土坑が切っている。規模は直径１m、深さ40cmを測る。壁は大きくオーバーハングしており、底面は比較的緩やかである。遺物は１（ＲＰ4379）の台付鉢などが出土している。

ＳＫ3380（第470図　写遺物－98）

グリッド11－96に位置する。ＳＴ3812大型住居跡とＳＴ3467大型住居跡の間に所在する円形の小ピットである。径36cm、深さ43cmを測り、柱穴状を呈するものである。底面は平坦である。

遺物は１～24の深鉢や25・26の石匙などがある。細い粘土紐貼付による鋸歯文を施した深鉢口縁部や太い沈線文や半截竹管文施文の深鉢口縁部など、小ピットながら多数の遺物が出土している。

ＳＫ3386　ａ・ｂ（第471・472図　写遺構－189　写遺物－97）

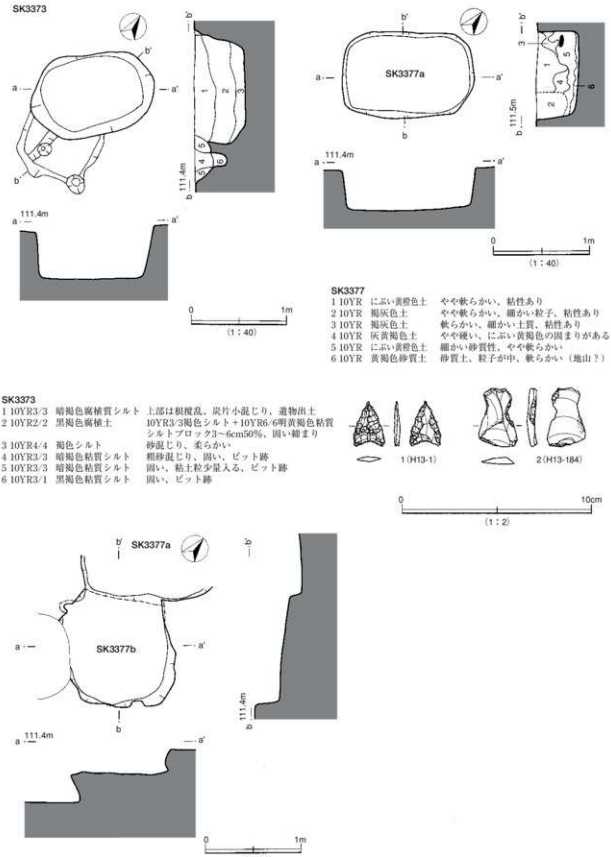
グリッド11－96に位置する。ＳＴ3467の北辺に隣接して所在する。２基の土坑ａ・ｂが重複し、ｂが切られる。平面形はａ・ｂともに円形を呈する。ａの長径は2.05m、短径は1.82mを測り、ｂの推定長径は1.8m、短径は1.56mを測る。

ａは深さ1.14mの非常にしっかりした掘り込みの深い土坑であり、ｂは深さ55cmほどの土坑である。

底面に溝とピット

壁は本来ａ・ｂ両方ともにオーバーハングしていたものとみられる。底面はａ・ｂともに平坦だが、ａでは幅26cm、深さ12cmの溝を有し、その両端にピットが配置される。ピットは径

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:543 Date: 2005/03/18 Fri 20:32:41



SK3377

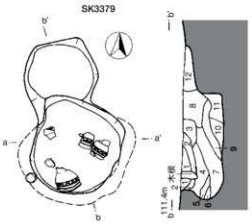
1	10YR	にぶい黄橙色土　やや軟らかい、粘性あり
2	10YR	褐灰色土　やや軟らかい、細かい粒子、粘性あり
3	10YR	褐灰色土　軟らかい、細かい土質、粘性あり
4	10YR	灰黄褐色土　やや硬い、にぶい黄褐色の固まりがある
5	10YR	にぶい黄橙色土　細かい砂質性、やや軟らかい
6	10YR	黄褐色砂質土　砂質土、粒子が中、軟らかい（地山？）

SK3373

1	10YR3/3	暗褐色腐植質シルト　上部は根攪乱、炭片小混じり、遺物出土
2	10YR2/2	黒褐色腐植土　10YR3/3褐色シルト＋10YR6/6明黄褐色粘質シルトブロック3～6cm50%、固い締まり
3	10YR4/4	褐色シルト　砂混じり、柔らかい
4	10YR3/3	暗褐色粘質シルト　粗砂混じり、固い、ピット跡
5	10YR3/3	暗褐色粘質シルト　固い、粘土粒少混入る、ピット跡
6	10YR3/1	黒褐色粘質シルト　固い、ピット跡

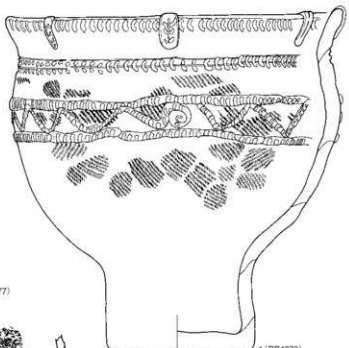
第468図　SK3373・3377 土坑・出土遺物

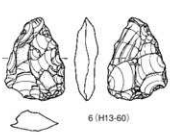
Title:P540-561_縄文.ec6 Page:544 Date: 2005/03/18 Fri 20:35:02

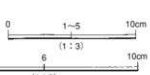


SK3379

1	10YR3/3	暗褐色腐植質シルト	固いしまり、根撹乱あり
2	10YR6/8	明黄褐色粘質シルト	固いしまり、根撹乱あり、土器入る
3	10YR6/8	明黄褐色粘質シルト	腐植土混じる
4	10YR4/3	にぶい黄褐色腐植質シルト	焼土、炭化物粒混じり、やわらかい
5	10YR3/1	黒褐色シルト質腐植土	焼土粒、炭化物粒、しまり少なくやわらかい
6	10YR6/6	明黄褐色粘質土	やわらかい
7	10YR4/2	灰黄褐色シルト	やわらかい
8	10YR4/4	褐色シルト	根撹乱受ける
9	10YR3/1	黒褐色腐植土	粘性あり、固いしまり
10	10YR3/1	黒褐色砂質シルト	10YR6/6明黄褐色粘質土
11	10YR6/4	にぶい黄橙色砂質シルト	10YR3/1黒褐色小粒腐植シルト
12	10YR3/1	黒褐色粘質シルト	10YR6/6明黄褐色粘質土、5～10cm大40%くらい、斑状の覆土

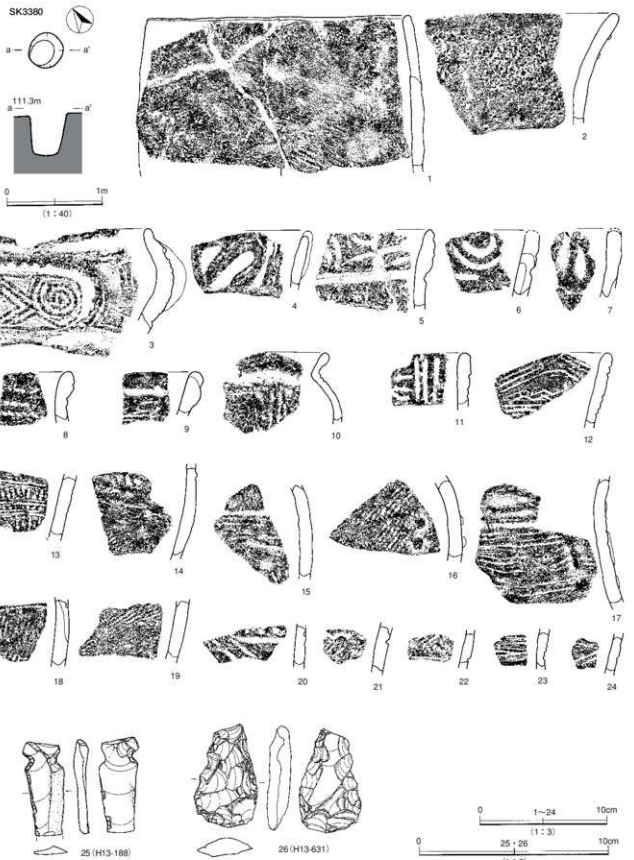






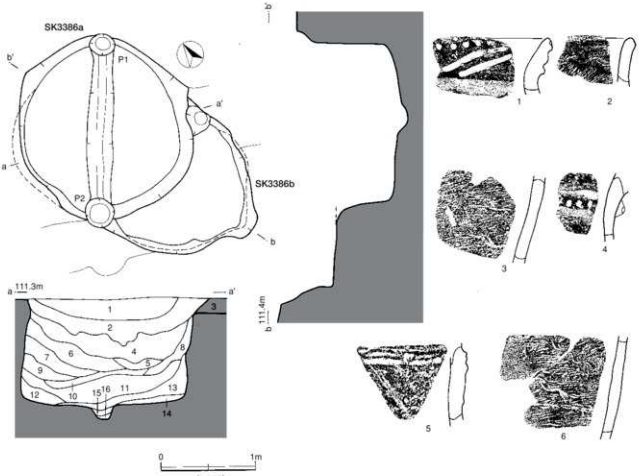
第469図　SK3379 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:545 Date: 2005/03/18 Fri 20:37:42



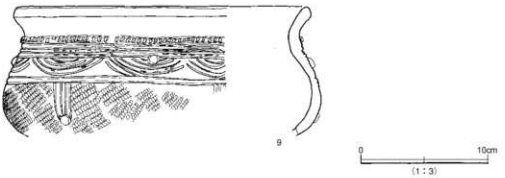
第470図 SK3380 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:546 Date: 2005/03/18 Fri 20:41:32



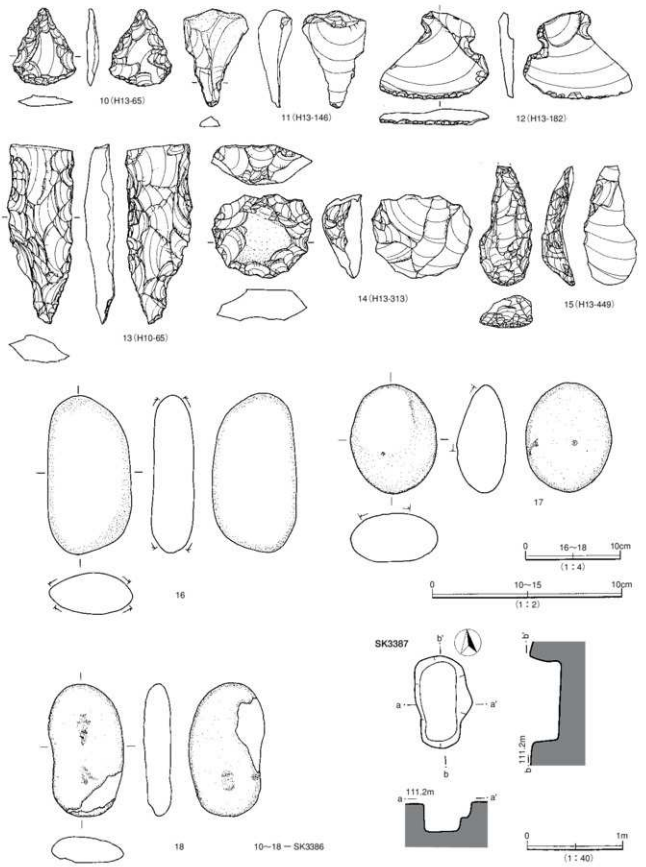
SK3386

1	10YR3/1 黒褐色腐植土	粘性あり、少し粘土粒含み、石器あり、根撹乱うける
2	10YR3/1 黒褐色腐植土	粘性あり、10YR6/6明黄褐色粘質土ブロック1～5cm20%混じり 炭片あり、根撹乱受ける
3	10YR3/1 黒褐色腐植土	10YR6/6明黄褐色混合土50%、固いしまり
4	10YR3/1 黒褐色腐植土	固いしまり、10%の粘土粒1～3cm大、土器あり
5	10YR3/1 黒褐色腐植土	固いしまり、やや凹んでいる
6	10YR6/3 にぶい黄橙色シルト	根撹乱、円形痕あり、やわらかい、流れ込み
7	10YR6/1 褐灰色シルト	下は砂シルト、やわらかい、流れ込み
8	10YR4/3 にぶい黄橙色粘質シルト	11、4、5の間で汚れている
9	10YR6/1 褐灰色シルト	7よりもやや固くしまる
10	10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	粘質少ない
11	10YR6/2 灰黄褐色砂質シルト	やわらかい
12	10YR6/2 灰黄褐色砂質シルト	10YR6/6明黄褐色粘質シルト小粒50%固いしまり
13	10YR6/6 明黄褐色粘質シルト	10YR3/1黒褐色腐植土ブロック5～15cm大30%、固い
14	10YR3/1 黒褐色腐植土	固いしまり
15	10YR6/6 明黄褐色砂質シルト	やわらかい
16	10YR3/1 黒褐色腐植質シルト	やわらかい



第471図　SK3386 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:547 Date: 2005/03/18 Fri 20:44:35



第472図 SK3386・3387 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:548 Date: 2005/03/19 Sat 13:22:16

26～31cm、深さ46cmである。覆土は黒褐色腐植土～灰黄褐色砂シルトを主体とする。

遺物は１～９の深鉢片・台付鉢、10～15の石鏃・掻器、16～18の磨石・凹石などが出土している。

ＳＫ3387（第472図）

グリッド11－97に位置する。ＳＴ3406の西、ＳＫ3386の東に隣接する。平面形は隅丸長方形ないし小判形を呈する。規模は長軸98cm、短軸58cm、深さ34cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ底面は平坦である。小形の墓壙様の遺構である。

墓　壙

ＳＫ3392・3750（第473図）

ＳＫ3392はグリッド11－98に位置する。ＳＴ3337大型住居跡とＳＴ3406の間に所在する。ＳＫ3750と重複する、隅丸方形の土坑である。規模は長軸1.36m、短軸1.2mを測り、深さ13cmのやや浅い土坑である。底面は平坦だが東壁に径20cm×14cmのピットを有する。覆土は灰色シルトを主体とする。

ＳＫ3750はグリッド11－97に位置する。ＳＫ3392と重複し、これを切る円形の土坑である。規模は長径1.38m、短径1.36m、深さ30cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。覆土は黒褐色土～にぶい褐色土を主体とする。

ＳＫ3396・3397（第473図）

ＳＫ3396はグリッド11－98に位置する。前記のＳＫ3392・3750の西に隣接する。ＳＫ3397と重複し、切られる。平面形は円形を呈する。規模は長径1.17m、短径1.15m、深さ40cmを測る。壁は北側でオーバーハングし、底面は平坦である。小形のフラスコ状土坑である。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。遺物は１の掻器がある。

ＳＫ3397はグリッド11－98に位置する。ＳＫ3396と重複し、これを切る円形の土坑である。規模は径１m、深さ18cmと浅い土坑である。壁は当初オーバーハングしており、底面は平坦である。小形のフラスコ状土坑である。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。遺物は２の磨石がある。

ＳＫ3432（第474図）

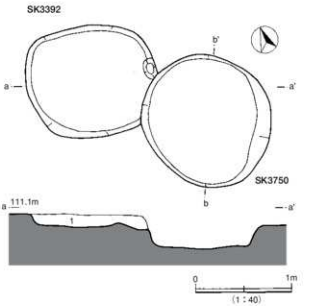
グリッド11－95に位置する。ＳＴ3467大型住居跡の北東コーナー付近に所在する。楕円形の土坑である。長径1.04m、短径70cmを測る。深さ25cmのやや浅い土坑である。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。

打製石斧　遺物は１の打製石斧がある。

ＳＫ3430（第475図　写遺構－189　写遺物－96）

グリッド11－96に位置する。ＳＴ3812とＳＴ3467大型住居跡の中間に所在する。平面形は不整円形を呈するフラスコ状土坑である。規模は径95cm、深さ50cmを測る。壁は全体でややオーバーハングしている。本来はかなりオーバーハングしていたものとみられるが、上端部分が崩落しており、底面は凹凸がみられる。覆土は土器投棄後に自然堆積したものである。遺物には２・３の三角刻印文の深鉢（ＲＰ4376）などがある。

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:549 Date: 2005/03/18 Fri 20:46:53

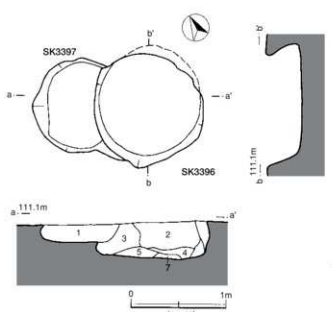


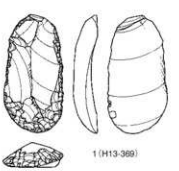
SK3392

1	10YR5/1	褐灰色シルト	柔らかい、炭片小混じり焼土粒混じり、土器、石器少し含む

SK3750

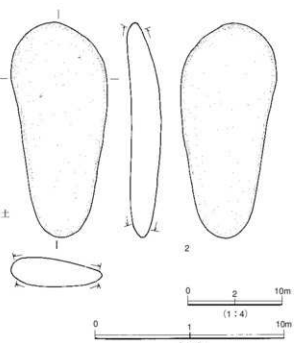
1	7.5YR	黒褐色土	やや柔らかい、斑に2が入っている
2	7.5YR	にぶい褐色土	やや固い
3	7.5YR	褐灰色土	やや粘着性がある
4	7.5YR	にぶい褐色土	細かい砂質土、粘土質の面あり
5	7.5YR	灰褐色土	4よりも粘質土の部分多い
6	7.5YR	褐灰色土	黒い炭様土が入っている
7	7.5YR	にぶい褐色土	細かい砂質土





SK3396・SK3397

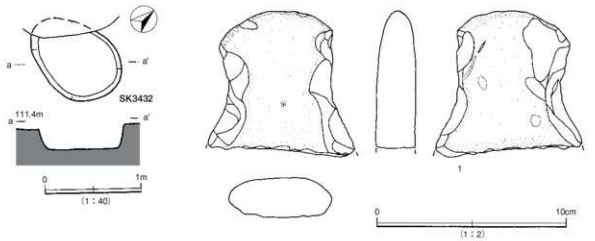
1	10YR3/2	黒褐色腐植土	固い、10YR6/6明黄褐色粘土混じり石器含む
2	10YR3/1	黒褐色腐植土	根攪乱受ける、上部から土器出土
3	10YR3/1	黒褐色腐植土	10YR6/6明黄褐色の粘質シルトの混合土50%、しまり強い
4	10YR5/2	灰褐色シルト	
5	10YR5/2	灰褐色砂質シルト	やわらかい、自然堆積
6	10YR5/3	にぶい褐色シルト	壁崩れ、やわらかい
7	10YR3/2	黒褐色腐植シルト	固い



1 ― SK3396
2 ― SK3397

第473図 SK3392・3750・3396・3397 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:550 Date: 2005/03/19 Sat 13:23:50



第474図 SK3432 土坑・出土遺物

ＳＫ3434（第475図）

グリッド11－95に位置する。前記のＳＫ3432の北に隣接する円形の土坑である。径1.04m、深さ25cmの浅い土坑である。壁は垂直で底面は平坦だが、北壁付近に径25cm、深さ25cmのピットと径40cm、深さ10cmの２基のピットがある。断面から浅いフラスコ状土坑とみられる。

遺物は僅かに１の深鉢片が出土している。

ＳＫ3436（第476図）

グリッド10－94に位置する。ＳＴ3812とＳＴ3467大型住居跡の中間に所在する。平面形は円形を呈し、規模は径95cm、深さ64cmのフラスコ状土坑である。上端周辺部は崩落が少しみられる。断面は台形を呈し、底面は平坦で壁は大きくオーバーハングしている。覆土は黒褐色シルトを主体とし、６層は中央部に盛り上がりがみられる。遺物は深鉢片が出土している。

ＳＫ3441（第476図）

グリッド12－95に位置する。ＳＴ3467北東コーナー付近に所在する。平面形は円形を呈し、規模は径１m、深さ１mの深い土坑である。北西側にややオーバーハングしており、底面は平坦である。覆土の６・７層は人為的に埋められている。遺物は深鉢片や削器が少量出土している。

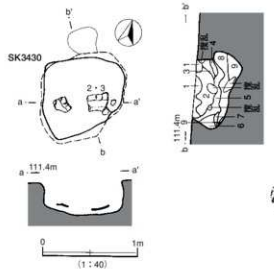
人為的埋土

ＳＫ3473（第477図）

グリッド13－98に位置する。ＳＴ3476の西に隣接する不整楕円形の土坑である。規模は長径1.73m、短径1.2mを測る。深さ60cmのやや深い土坑である。壁は西側でオーバーハングしている。底面は平坦である。覆土は褐色シルト～暗褐色シルト質粘土を主体とする。当初は全体にオーバーハングするフラスコ状土坑であったとみられる。

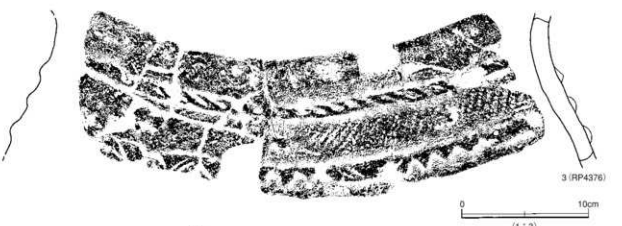
遺物は１～６の深鉢片や７・８の石錐・掻器がある。

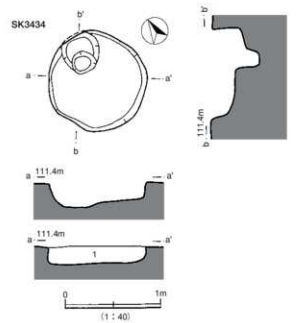
Title:P540-561_縄文.ec6 Page:551 Date: 2005/03/18 Fri 20:54:45

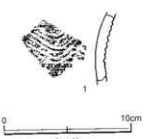


SK3430

1	7.5YR3/2	黒褐色シルト	腐植土が多少混じる
2	7.5YR3/3	暗褐色シルト	黄褐色シルト粒、炭粒が混じる、土器片を含むしまりがある
3	7.5YR2/2	黒褐色シルト	土器の小片を含む
4	7.5YR3/3	暗褐色シルト	多少しまりがなく、やわらかい
5	7.5YR3/4	暗褐色シルト	炭化物が多く混じる
6	7.5YR3/3	暗褐色シルト	多少しまりなく、ボソボソしている
7	7.5YR4/4	褐色砂質シルト	地山の土質とほぼ同じ
8	7.5YR3/3	暗褐色シルト	黄褐色シルト粒、炭粒を多少含む、しまりがある
9	7.5YR4/6	褐色砂質シルト	地山



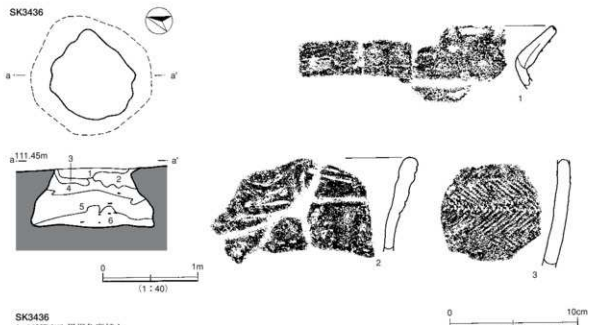




SK3434
1　10YR3/2　黒褐色シルト　10YR6/6明黄褐色粘質シルトが混じる

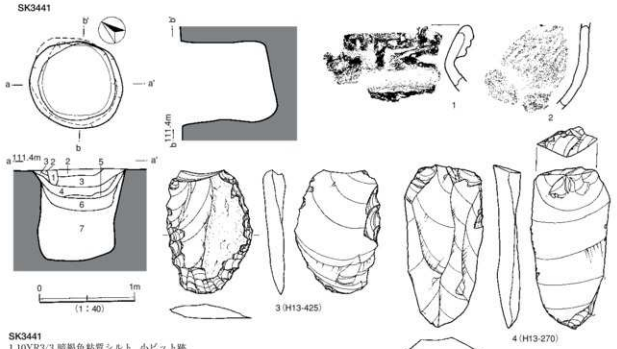
第475図　SK3430・3434 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:552 Date: 2005/03/18 Fri 20:57:18



SK3436

1	10YR2/3 黒褐色腐植土	
2	10YR4/4 褐色シルト	
3	10YR2/2 黒褐色土	根の攪乱
4	10YR3/2 黒褐色シルト	（腐植少）土器あり
5	10YR4/1 褐灰色粘質シルト	土器あり、ブロック状に堆積
6	10YR2/2 黒褐色腐植質シルト	炭含む、土器あり

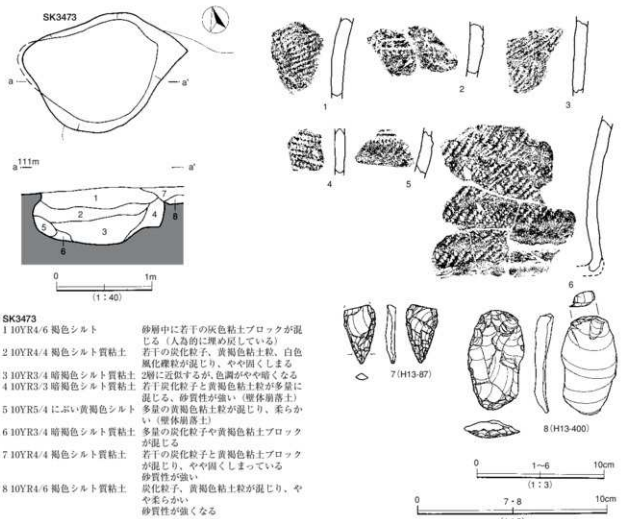


SK3441

1	10YR3/3 暗褐色粘質シルト	小ピット跡
2	10YR3/3 暗褐色粘質シルト	固い、粗砂混じり、石器土器片小あり
3	10YR3/3 暗褐色粘質シルト	10YR6/6明黄褐色粘質土ブロック3~7cm、30%固い、石器、土器片小あり
4	10YR3/3 暗褐色粘質シルト	3よりも10YR7/1色粘土ブロックが混じり、10%焼土粒、石器、土器片小あり
5	10YR3/1 黒褐色腐植土	粘性あり
6	10YR7/1 灰白色粘質土	10YR5/2灰褐色粘質シルト小粒状堆積、固いしまり、炭片小片1~3cmあり
7	10YR7/1 灰白色粘質土	6よりも各土が小粒状に堆積する、下部に砂シルト化、炭片小片1~３cmあり

第476図　SK3436・3441 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:553 Date: 2005/03/19 Sat 13:25:34



SK3473

1 10YR4/6 褐色シルト	砂層中に若干の灰色粘土ブロックが混じる（人為的に埋め戻している）
2 10YR4/4 褐色シルト質粘土	若干の炭化粒子、黄褐色粘土粒、白色風化礫粒が混じり、やや固くしまる
3 10YR3/4 暗褐色シルト質粘土	2層に近似するが、色調がやや暗くなる
4 10YR3/3 暗褐色シルト質粘土	若干炭化粒子と黄褐色粘土粒が多量に混じる、砂質性が強い（壁体崩落土）
5 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト	多量の黄褐色粘土粒が混じり、柔らかい（壁体崩落土）
6 10YR3/4 暗褐色シルト質粘土	多量の炭化粒子や黄褐色粘土ブロックが混じる
7 10YR4/4 褐色シルト質粘土	若干の炭化粒子と黄褐色粘土ブロックが混じり、やや固くしまっている 砂質性が強い
8 10YR4/6 褐色シルト質粘土	炭化粒子、黄褐色粘土粒が混じり、やや柔らかい 砂質性が強くなる

第477図　SK3473 土坑・出土遺物

ＳＫ3509（第478図　写遺構－190　写遺物－15・97）

グリッド13－98に位置する。前記ＳＫ3473に隣接する楕円形の土坑である。規模は長径1.34m、短径１ｍを測る。深さ52cmのやや深い土坑である。断面は摺鉢状である。覆土は暗褐色砂質土を主体とする。

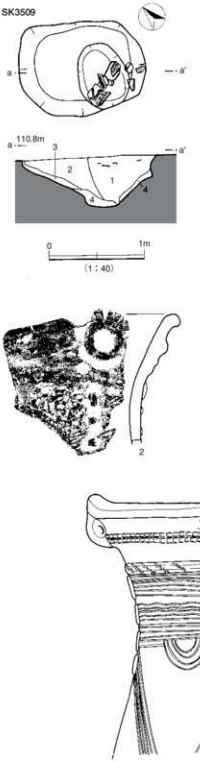
遺物は１～５の土器がある。半截竹管による刺突文・押引文や平行沈線文などが施文される深鉢や台付鉢が出土している。

ＳＫ3511（第479・480図　写遺構－190　写遺物－62）

グリッド13－98に位置する。ＳＴ3467大型住居跡内に所在する楕円形の土坑である。規模は長径2.15m、短径1.98mを測り、確認面からの深さ73cmの深い土坑である。底面は平坦だが中央部に長さ1.35m、幅0.7m、深さ28cmの溝と南西部に深さ10cmの径21～28cmのピットを有する。覆土は黒褐色シルト質粘土～黄褐色シルト質粘土を主体とする。 **底面に溝状遺構**

遺物は１～３の半截竹管文の深鉢型土器や４～10の石鏃や石匙、11の磨石が出土している。

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:554 Date: 2005/03/18 Fri 20:59:32

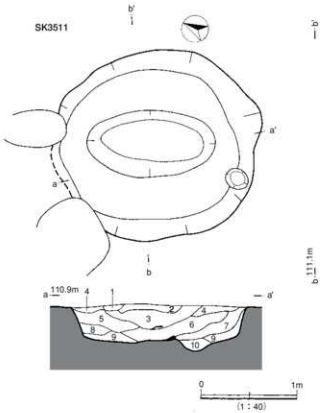


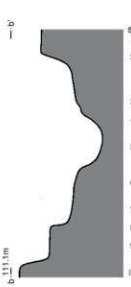
SK3509

1	10YR3/3	暗褐色砂質土	木炭、木炭粒を混入、土器も混入
2	10YR3/3	暗褐色砂質土	木炭少量混入、黄褐色砂混入
3	10YR6/6	明黄褐色砂質土	2を少量混入する
4	10YR6/6	明黄褐色砂質土	3と似るが、3より2を少量混入している 10YR3/3暗褐色土との混合層

第478図　SK3509 土坑・出土遺物

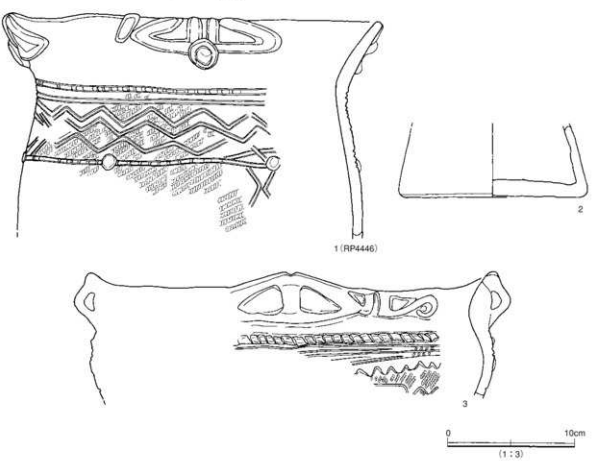
Title:P540-561_縄文.ec6 Page:555 Date: 2005/03/18 Fri 21:05:27





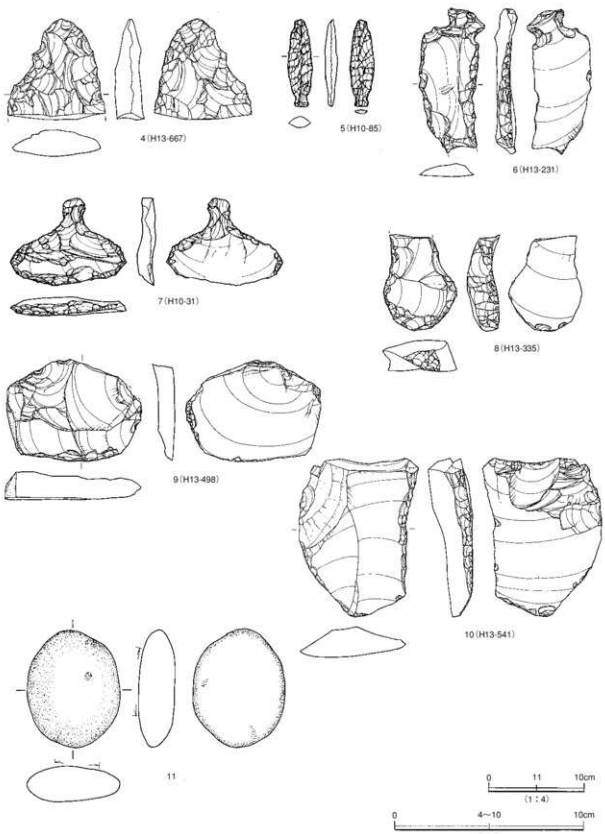
SK3511

1	10YR6/6 明黄褐色粘土	黄褐色粘土で固く踏みしめられている
2	10YR4/4 褐色シルト質粘土	炭化粒子，黄褐色粘土粒子やブロック（径3～5cm）と焼土粒やブロックが混じる．固くしまる 上面が若干焼けている
3	10YR5/6 黄褐色シルト質粘土	黄褐色粘土が充満し固くしまっている
4	10YR3/1 黒褐色シルト質粘土	炭化粒子（白色風化礫子）や小礫が混じり，砂質粒が強くかたくしまっている
5	10YR2/2 黒褐色シルト質粘土	多量の炭化粒と若干の黄褐色粘土粒が混じり，砂質性が4よりも強くやや固くしまっている
6	10YR2/3 黒褐色シルト質粘土	若干の炭化粒子と白色風化礫粒が混じり，砂質性がさらに強くなる
7	10YR2/3 黒褐色シルト質粘土	6に近似するが，6よりさらに砂質性が強くなる
8	10YR3/3 暗褐色シルト	壁の崩落土で若干の炭化粒子が混じる
9	10YR3/4 暗褐色シルト	炭化粒子と黄褐色粘土粒，風化礫粒が混じり，さらさらしている
10	10YR3/4 暗褐色シルト	9に近似する土質で非常に固くしまっている



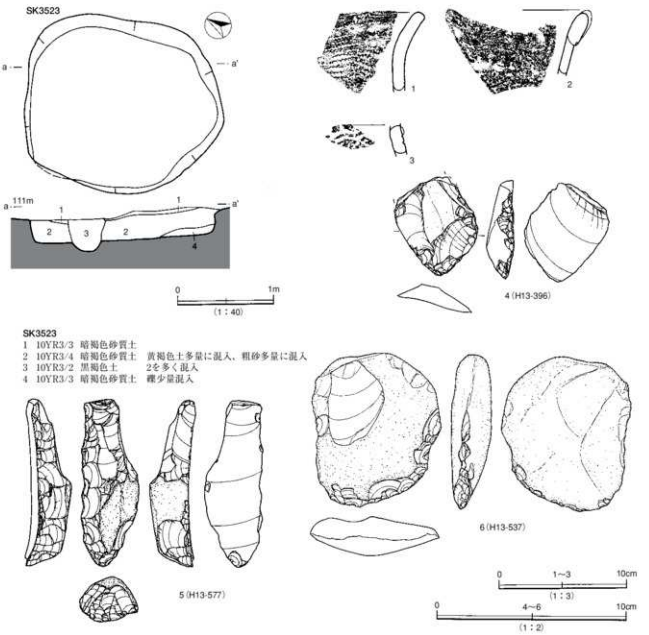
第479図　SK3511 土坑・出土遺物（1）

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:556 Date: 2005/03/18 Fri 21:11:00



第480図 SK3511 土坑出土遺物（2）

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:557 Date: 2005/03/19 Sat 13:27:44



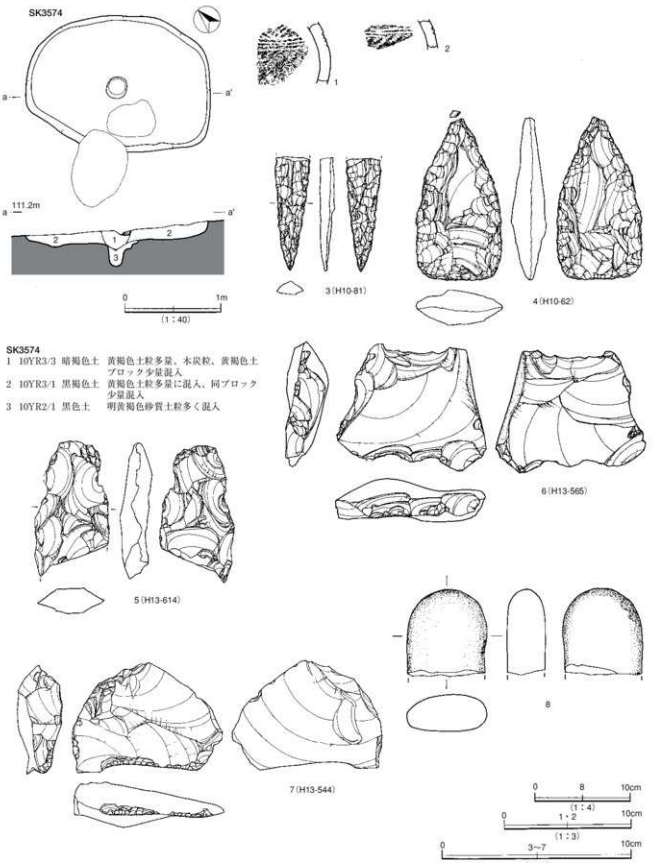
第481図　SK3523 土坑・出土遺物

ＳＫ3523（第481図　写遺構－191）

グリッド14－97に位置する。ＳＴ3467の南辺に隣接して所在する。平面形は不整方形を呈する。規模は長軸2.1m、短軸1.82mを測る。深さ33cmのやや浅い土坑である。壁は西側で少しオーバーハングしているが他は垂直である。底面は平坦である。覆土は暗褐色砂質土～黒褐色土を主体とする。

遺物は１～３の深鉢片や４～６の掻器・削器が出土している。

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:558 Date: 2005/03/18 Fri 21:12:10



第482図　SK3574 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:559 Date: 2005/03/19 Sat 13:28:58

ＳＫ3574（第482図　写遺物－143）

グリッド15－96に位置する。ＳＴ3467の南側に所在する楕円形の土坑である。規模は長径1.94m、短径1.42mを測り、深さ13cmの浅い土坑である。底面は平坦だが、中央部に深さ25cm、径22cmのピットを有する。覆土は黒褐色土～暗褐色土を主体とする。

底面にピット

遺物は１・２の平行沈線文の深鉢片や３～７の石匙・掻器・削器、８の磨石がある。

ＳＫ3582（第483図）

グリッド15－97に位置する。ＳＴ3467の南側及びＳＴ3563の西に所在する楕円形の土坑である。規模は長径2.28m、短径1.72mを測る。深さ60cmのやや深い土坑である。壁は垂直に掘り込まれ底面は平坦である。中央部に深さ15cm、径70×30cmの細長いピットを有する。覆土は褐色シルト～黒褐色腐植土を主体とする。

遺物は１～９の深鉢片や10・11の石鏃が出土している。

ＳＫ3529（第483図　写遺物－97）

グリッド14－96に位置する。前記ＳＫ3582に隣接する隅丸長方形の土坑である。西壁や南コーナーに撹乱を受ける。規模は長軸1.95m、短軸1.4mを測り、壁高は深さ36cmである。底面は平坦だが中央部に深さ17cm、長さ136cm、幅46cmの溝を有する。遺物は１の半裁竹管文及びボタン状貼付文の深鉢型土器や２の石鏃が出土している。

底面に溝

ＳＫ3602（第484図）

グリッド16－96に位置する。西へ傾斜する斜面のＳＴ4007の北側に所在する。平面形は楕円形を呈する。規模は長径1.2m、短径58cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ深さ36cmを測り、底面は平坦である。

遺物は１の石皿の一部が出土している。

ＳＫ3617（第485図　写遺物－99）

グリッド15－94に位置する。ＳＴ4036大型住居跡の北側に所在する。平面形は円形を呈し、規模は径2.1m、深さ1.05mを測る。ＳＫ3618に切られる。底面はやや凹凸がある。

覆土は黒褐色腐植土～黄褐色シルトを主体とし、１～３層は葡萄支柱により撹乱を受けている。遺物は深鉢口縁部や尖頭器・掻器などが出土している。

ＳＫ3642（第486図　写遺物－10・100）

グリッド17－92に位置する。ＳＴ4036大型住居跡の南側に所在する。平面形は不整円形を呈し、規模は長径2.4m、短径２m、深さ38cmを測る。中央に径30cmの円形のピットがある。断面は皿状で、底面は比較的平坦である。遺物は１・２の深鉢（ＲＰ4457・5562）や石鏃・削器・掻器が出土している。14は磨石である。

ＳＫ3639（第487図）

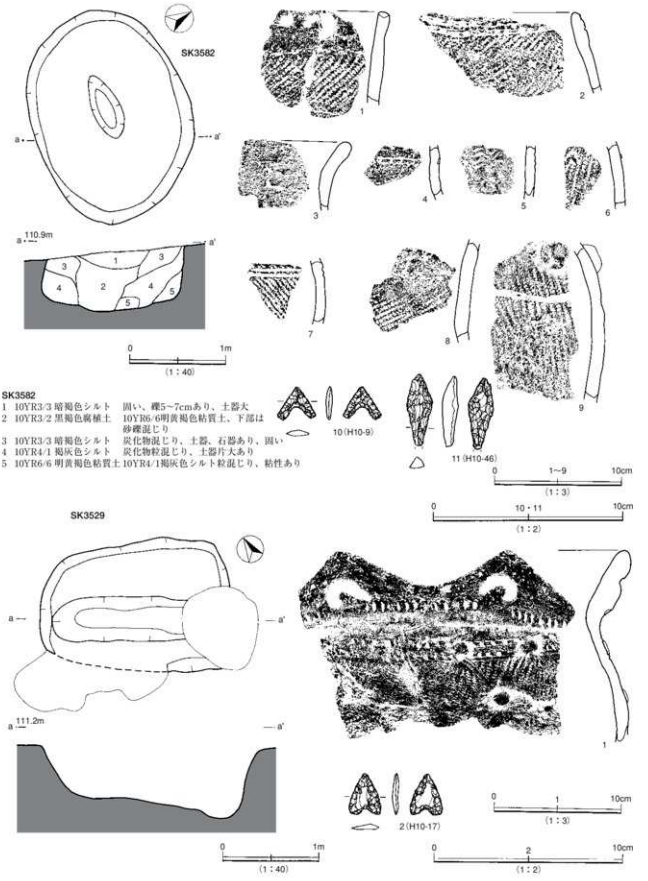
グリッド18－92に位置する。円形の小土坑ないしは柱穴状遺構である。長径65cm、短径57cm、深さ55cmを測る。底面は平坦である。覆土は黒褐色腐植土を主体とし、人為的に埋め戻されている。

遺物は１の深鉢がある。

ＳＫ3643ａ・ｂ（第488図　写遺物－77）

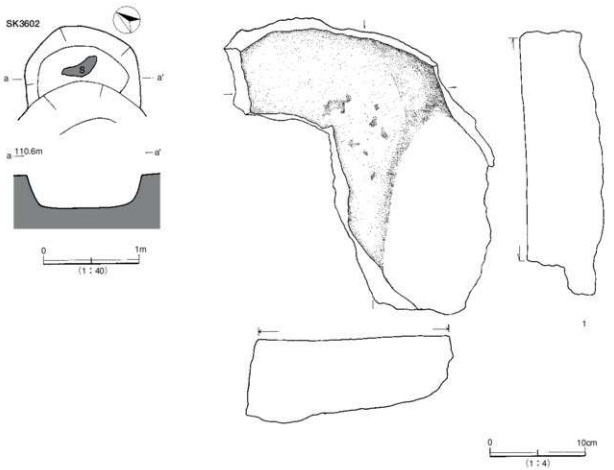
グリッド18－93に位置する。ＳＴ4036の西辺に隣接する２基の土坑である。西側への斜面上

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:560 Date: 2005/03/18 Fri 21:15:12



第483図 SK3582・3529 土坑・出土遺物

Title:P540-561_縄文.ec6 Page:561 Date: 2005/03/19 Sat 13:30:34



第484図　SK3602 土坑・出土遺物

に所在し、ａ・ｂの２基が重複し、ａが切られる。ａ・ｂは楕円形の土坑で、ａは径1.26ｍを測る。ｂの長径は1.48ｍ、短径1.15ｍを測る。ａは深さ38cm、ｂは深さ85cmの深い土坑である。底面はａ・ｂともに平坦である。覆土は黒褐色腐植土～黒褐色腐植シルトを主体とする。

遺物は１～15の半截竹管文の深鉢や16～19の掻器、20・21の磨石が出土している。

ＳＫ3647ａ・ｂ（第489図　写遺物－99）

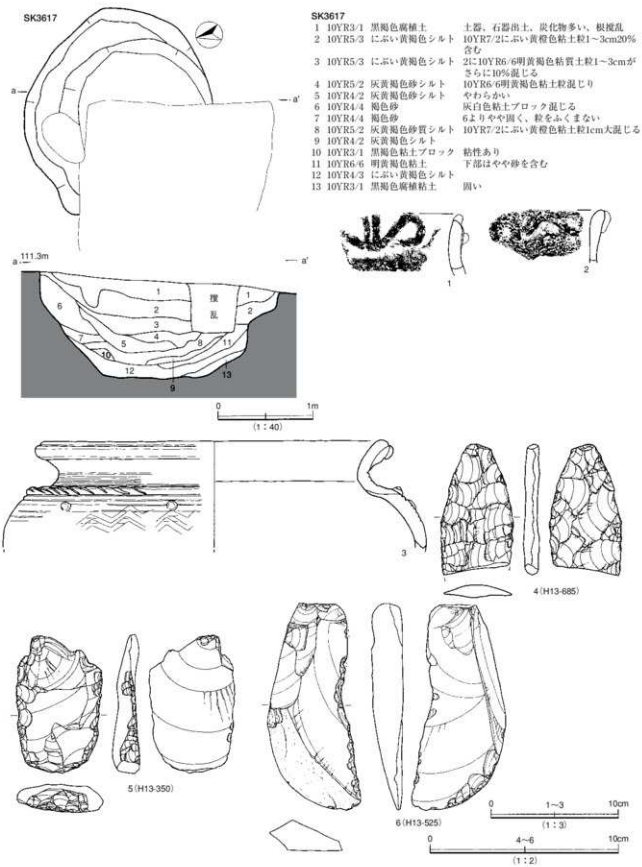
グリッド18－93に位置する。ＳＫ3643に隣接する。２基の土坑のａ・ｂが重複し、ａが切られる。平面形は２基ともに円形の土坑である。規模はａが径1.12ｍ、ｂは径1.15ｍの円形である。ａは深さ16cm、ｂは深さ32cmの壁高である。壁はａではやや傾斜して掘り込まれ、ｂでは垂直に掘り込まれる。底面はａでは凹凸があり、ｂでは平坦である。覆土は褐色シルト～黒褐色シルトを主体とする。遺物は１～５の深鉢や６の磨石がある。１は半截竹管による刺突が充填される深鉢型土器である。

ＳＫ3648（第490～493図　写遺物－70・71・142）

グリッド16－93に位置し、ＳＴ4036の北西コーナーに重複する。平面形は円形を呈し、規模は径2.55ｍ、深さ72cmを測る。断面は皿状、底面は若干凹凸がみられ砂層となっている。壁は中段で北側にオーバーハングしている。１・２層に土器片やフレークが多く出土している。

遺物は半截竹管文や細い粘土紐貼付による山形文の台付鉢・深鉢や石鏃・石錐・石匙・掻器、

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:562 Date: 2005/03/18 Fri 21:28:49

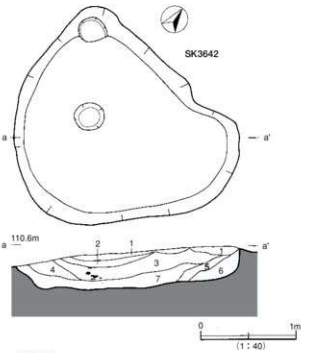


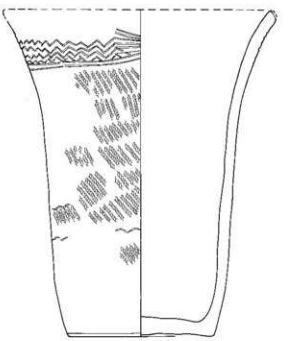
SK3617

1	10YR3/1 黒褐色腐植土	土器、石器出土，炭化物多い、根撹乱
2	10YR5/3 にぶい黄褐色シルト	10YR7/2にぶい黄橙色粘土粒1～3cm20%含む
3	10YR5/3 にぶい黄褐色シルト	2に10YR6/6明黄褐色粘質土粒1～3cmがさらに10%混じる
4	10YR5/2 灰黄褐色砂シルト	10YR6/6明黄褐色粘土粒混じり
5	10YR4/2 灰黄褐色砂シルト	やわらかい
6	10YR4/4 褐色砂	灰白色粘土ブロック混じる
7	10YR4/4 褐色砂	6よりやや固く，粒をふくまない
8	10YR5/2 灰黄褐色砂質シルト	10YR7/2にぶい黄橙色粘土粒1cm大混じる
9	10YR4/2 灰黄褐色シルト	
10	10YR3/1 黒褐色粘土ブロック	粘性あり
11	10YR6/6 明黄褐色粘土	下部はやや砂を含む
12	10YR4/3 にぶい黄褐色シルト	
13	10YR3/1 黒褐色腐植粘土	固い

第485図　SK3617 土坑・出土遺物

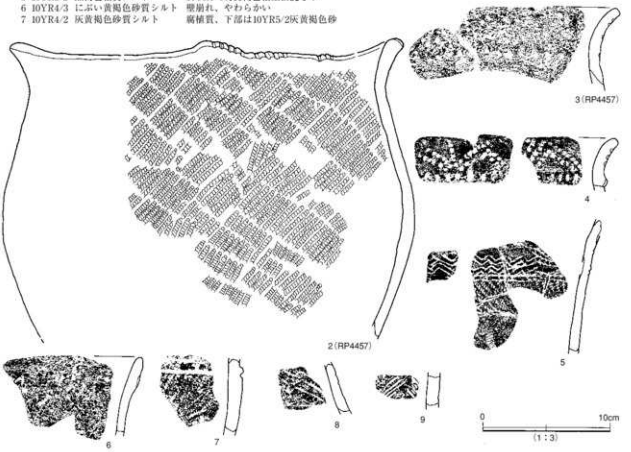
Title:P562-583_縄文.ec6 Page:563 Date: 2005/03/18 Fri 21:32:38





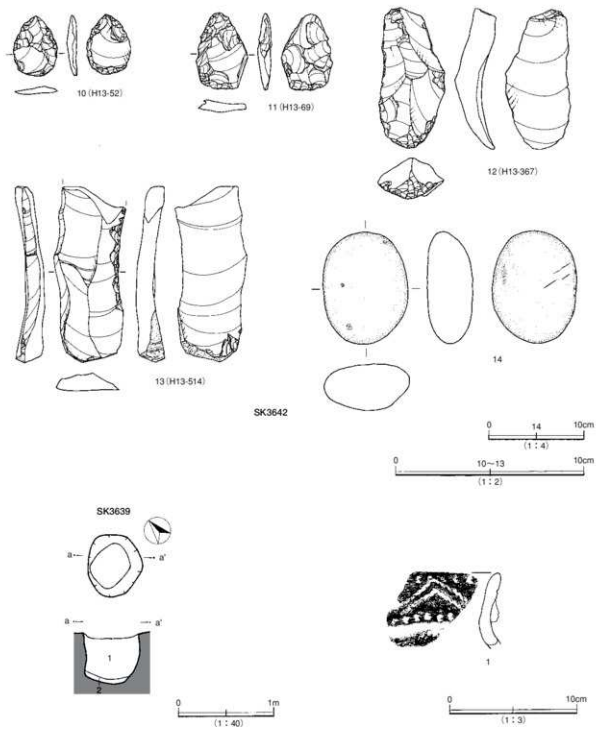
SK3642

1	10YR3/3 暗褐色腐植土	固い
2	10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト	流れ、固い
3	10YR3/1 黒褐色腐植土	土器、石器多い、炭化物粒混じり、やわらかい
4	10YR3/3 暗褐色砂質シルト	腐植質
5	10YR3/2 黒褐色粘質シルト	10YR6/6明黄褐色粘土粒混じり
6	10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト	壁崩れ、やわらかい
7	10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	腐植質、下部は10YR5/2灰黄褐色砂



第486図 SK3642 土坑・出土遺物

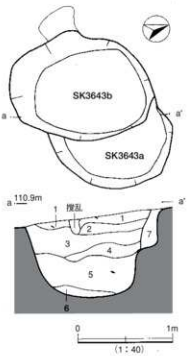
Title:P562-583_縄文.ec6 Page:564 Date: 2005/03/18 Fri 21:36:20



SK3639
1 10YR3/1黒褐色腐植土　　10YR6/6明黄褐色粘質土と10YR7/2にぶい黄橙色粘質土と1の混合土
固いしまり、人為的に埋められている
2 10YR7/2にぶい黄橙色粘質土　固い（成散土）

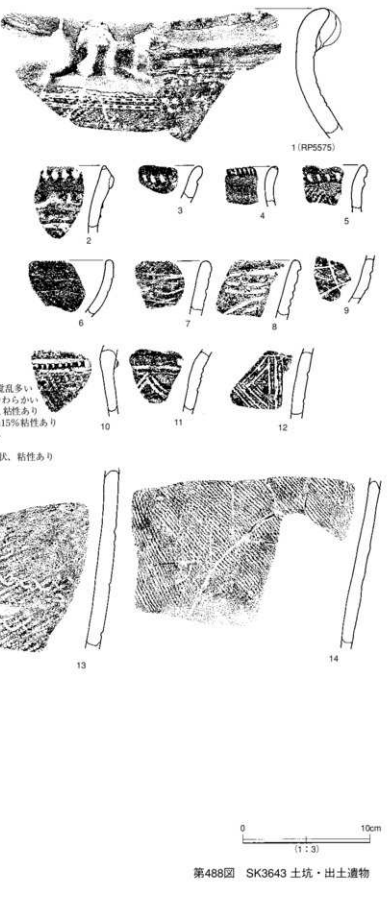
第487図　SK3642・3639 土坑・出土遺物

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:565 Date: 2005/03/18 Fri 21:39:22



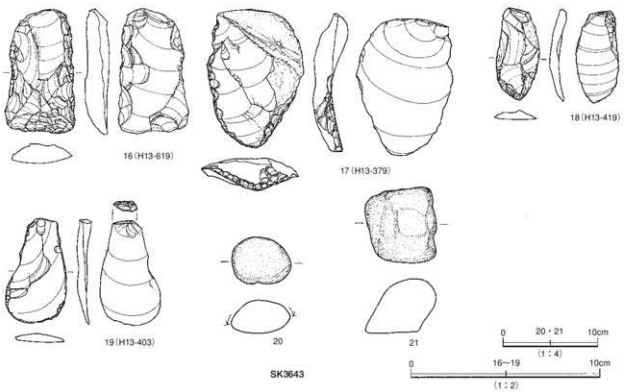
SK3643

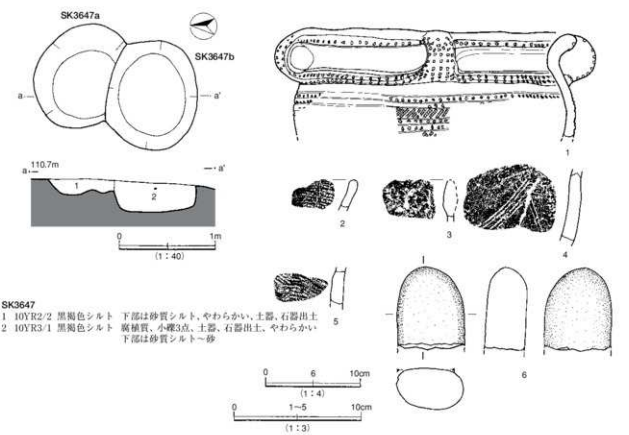
1 10YR3/1 黒褐色腐植土 土器、石器あり、やわらかい、根撹乱多い
2 10YR3/2 黒褐色腐植土 10YR6/6明黄褐色土小粒10%、やわらかい
3 10YR3/1 黒褐色腐植土 焼土粒、炭化物粒、土器、石器出土、粘性あり
4 10YR3/1 黒褐色腐植土 10YR6/6明黄褐色粘土粒1～2cm15%粘性あり
5 10YR3/1 黒褐色腐植シルト 5～10cm小礫3ケ、下部に砂多し
6 10YR4/1 褐灰色砂質シルト やわらかい、ブロック状
7 10YR3/2 黒褐色腐植土 10YR6/6明黄褐色粘質土、小粒状、粘性あり



第488図 SK3643 土坑・出土遺物

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:566 Date: 2005/03/19 Sat 13:36:04





第489図　SK3643・3647 土坑・出土遺物

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:567 Date: 2005/03/19 Sat 13:41:42

47～52の磨石など多数が出土している。

ＳＫ3682（第494図　写遺構－191）

グリッド８－99に位置する。ＳＴ3703大型住居跡の東辺に重複して所在する。平面形は円形のフラスコ状土坑である。規模は長径1.6m、短径1.35mを測る。深さ65cmの深い土坑である。壁は西側を除き、ほとんどオーバーハングしている。底面は平坦だが中央部に径25cmのピット３基を有する。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。

遺物は１～12の深鉢片や13～17の尖頭器・掻器、18～20の凹石がある。

ＳＫ3739（第495図）

グリッド10－101南東隅に位置する。ＳＴ3337・4127・4168大型住居跡の西辺に所在し、大型住居跡の柱穴跡であるＳＫ3264・3265・3266と重複する。楕円形の大型土坑である。規模は長径2.24m、短径1.9mを測る。壁は垂直又はオーバーハングしており、確認面からの深さは80cmと深い。底面は平坦だが、中央部に長さ63cm、幅26cm、深さ12cmの楕円形のピットを有する。覆土は暗褐色シルト質粘土を主体とする。遺物は１の深鉢片など少量が出土している。

底面に楕円形のピット

ＳＫ3777・3855・3930（第496･497図　写遺物－５・62）

グリッド12－96の南側に位置する。ＳＴ3467内に所在し、ＳＫ3468と重複する。平面形は不整形を呈する。ＳＫ3777の規模は長軸3.4m、短軸3.1m、深さ53cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。断面Ｕ字形を呈する。ＳＫ3855・3930は長軸2.7m、短軸1.3m、深さ36cmを測る。遺物はＳＫ3777では１～３の深鉢や４の磨石がある。ＳＫ3930では６の石棒状の石製品や磨石がある。１の深鉢型土器の器形は台付鉢の器形に酷似するが台部を持たない。しかし、この底部には器面が剥がれた痕跡が残り、この状態も本来の器形と異なるようにみられるが明確ではない。

石棒

ＳＫ3850（第498図　写遺構－154・192　写遺物－18・60）

グリッド11－101に位置する。ＳＴ3304と重複し、切られる。平面形は長方形を呈する。規模は長軸2.42m、短軸1.63mを測り、深さ70cmの深い土坑である。底面は平坦だが、中央部に深さ23cm、長さ1.12cm、幅66cmの楕円形のピットを有する。この他に底面に３基のピットを有する。覆土は黒褐色シルト質粘土を主体とする。遺物は１～６の深鉢や７・８の掻器がある。半截竹管文の深鉢口縁部や輪積痕が残る小型の深鉢が出土している。

床面中央に楕円形のピット

ＳＫ3856（第499図）

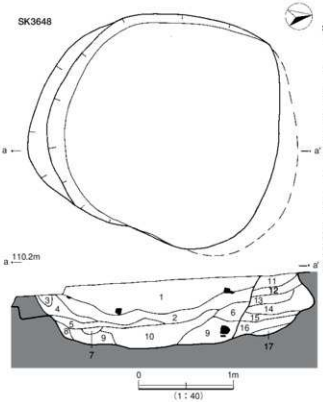
グリッド13－96に位置する。ＳＴ3467内に所在する、方形の土坑である。規模は長軸2.05m、短軸1.7mを測る。深さ85cmの深い土坑である。壁はほとんどがオーバーハングしている。底面は平坦だが、北東部に径30×22cmのピットを有する。堆積土はオリーブ黄色砂を主体とする。

遺物は僅かに出土している

ＳＫ3976（第500図）

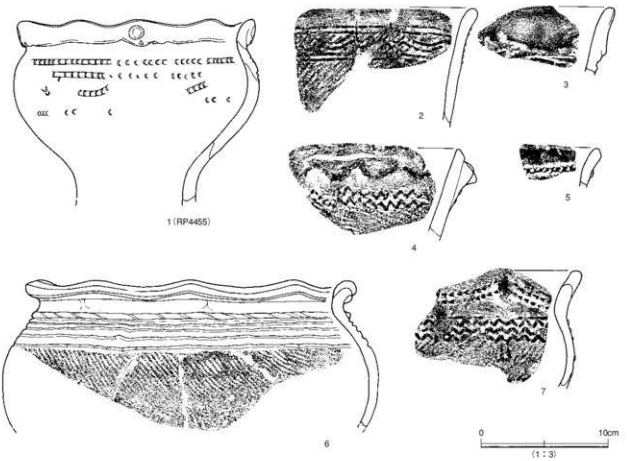
グリッド13－96に位置する。ＳＴ3467内中央に所在する。南側に別のフラスコ状土坑と重複する。平面形は不整円形を呈し、規模は径1.55m、深さ98cmを測る深い土坑である。本来円形であったが、重複や壁崩落により不整形を呈するものと推定する。壁は南側でオーバーハングし、底面は平坦である。当初は全体がオーバーハングする土坑であったとみられる。覆土は黒褐色シルト～暗褐色シルトを主体とする。

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:568 Date: 2005/03/18 Fri 21:42:27



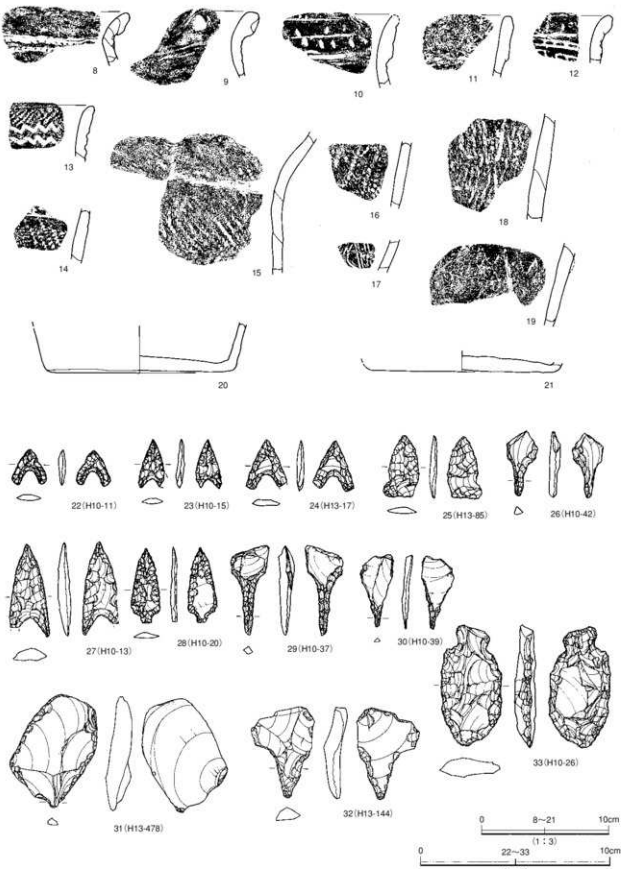
SK3648

1	10YR3/3 暗褐色腐植シルト	根砂多い、2のライン上に礫が張りつく 土器、石器あり、固い
2	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	根砂多し、土器、石器大あり、固い
3	10YR6/6 明黄褐色粘質土ブロック	炭化物粒混じり
4	10YR3/3 暗褐色砂	1cm大の小礫あり、固い
5	10YR7/2 にぶい黄橙色粘質土混じりシルト	薄い帯状、しまりあり
6	10YR3/2 黒褐色砂礫	柔らかい、土器片あり、根の攪乱
7	10YR3/1 黒褐色腐植シルトブロック	柔らかい
8	10YR4/1 褐灰色砂質シルト	炭化物粒あり、下部は砂が多くなる
9	10YR3/2 黒褐色砂質シルト	石器あり、炭化粒混じり、固い しまり、下部は砂が多くなる
10	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	粘性あり、炭化物含む、10YR6/6明黄褐色土小粒子10%混じる、土器少量
11	10YR3/3 暗褐色腐植土	根砂混じり、固いしまり、土器あり
12	10YR3/2 黒褐色腐植土	1の塊に土器片あり、腐植土、固い 小礫まじり
13	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	10YR6/6明黄褐色粘質土粒ブロック
14	10YR4/1 褐灰色粘質シルト	しまりあり、土器あり、小礫まじる
15	10YR4/4 褐色粘質土	しまりあり
16	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	細砂まじり
17	10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト	柔らかい



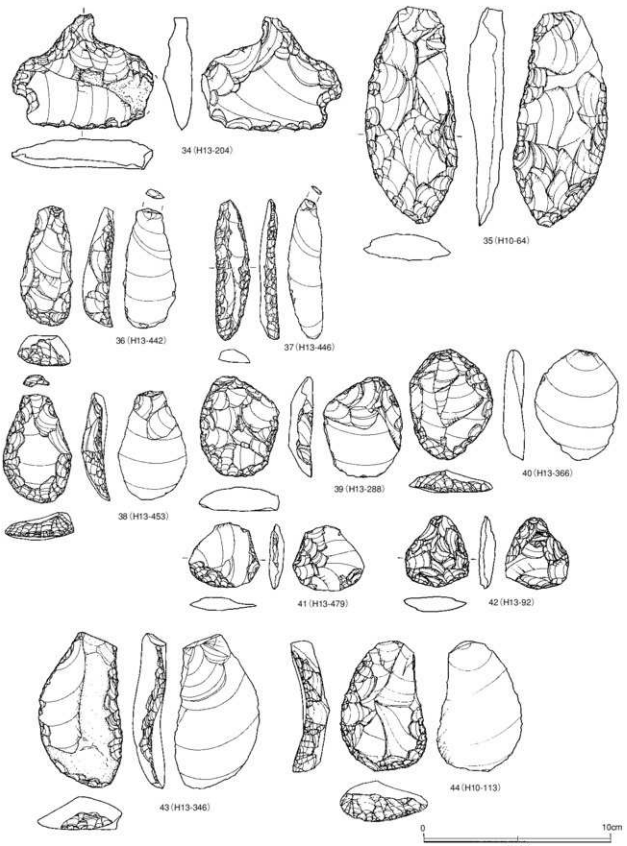
第490図　SK3648 土坑・出土遺物（1）

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:569 Date: 2005/03/18 Fri 21:44:38



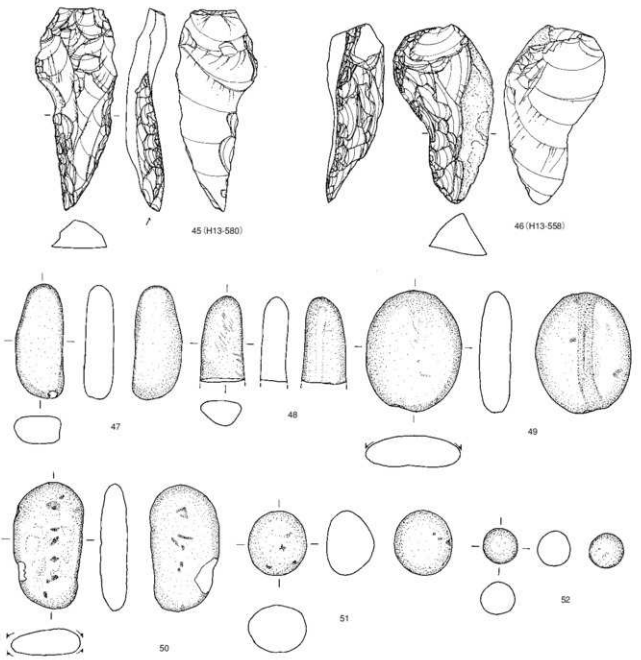
第491図 SK3648 土坑出土遺物（2）

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:570 Date: 2005/03/18 Fri 21:48:07



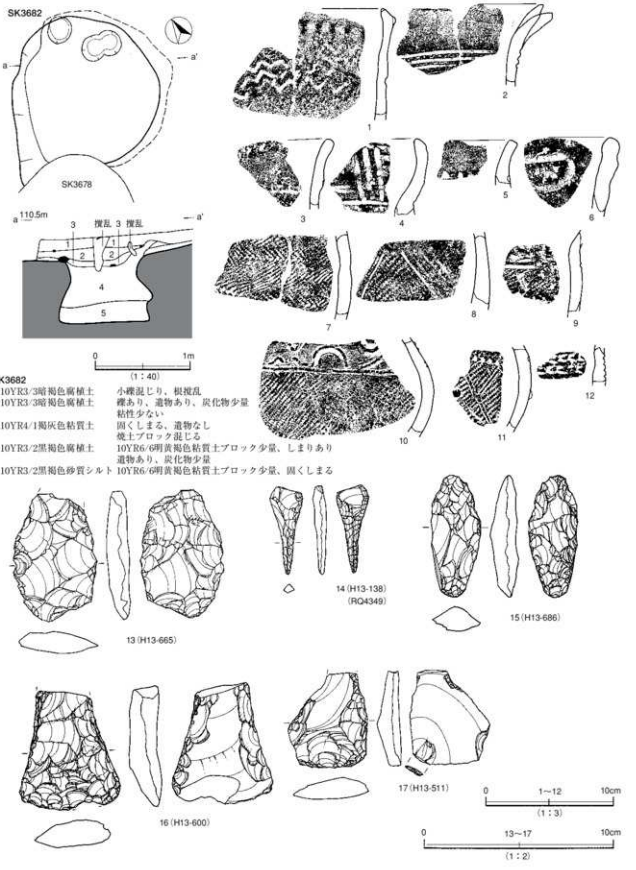
第492図　SK3648 土坑出土遺物（3）

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:571 Date: 2005/03/18 Fri 21:51:21



第493図 SK3648 土坑出土遺物（4）

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:572 Date: 2005/03/25 Fri 16:22:26

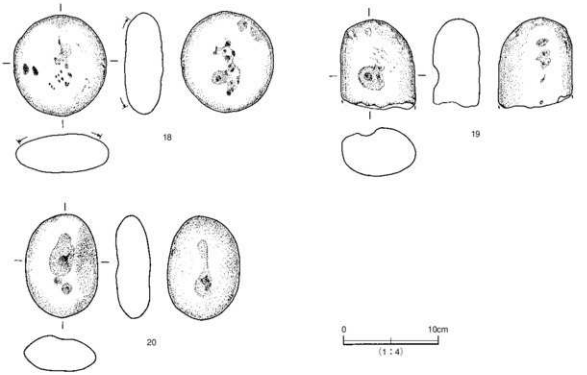


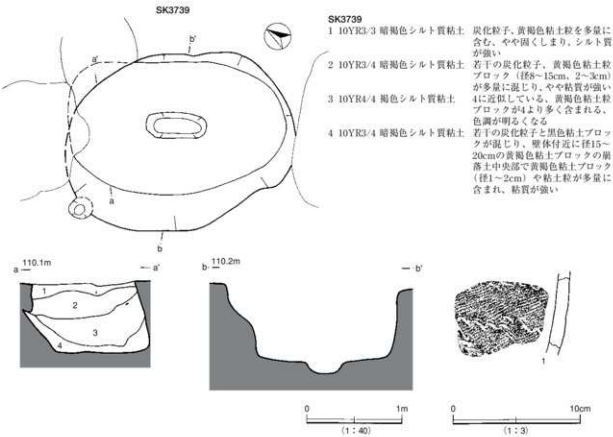
SK3682

1 10YR3/3暗褐色腐植土　小礫混じり、根撹乱
2 10YR3/3暗褐色腐植土　礫あり、遺物あり、炭化物少量
　粘性少ない
3 10YR4/1褐灰色粘質土　固くしまる、遺物なし
　焼土ブロック混じる
4 10YR3/2黒褐色腐植土　10YR6/6明黄褐色粘質土ブロック少量、しまりあり
　遺物あり、炭化物少量
5 10YR3/2黒褐色砂質シルト 10YR6/6明黄褐色粘質土ブロック少量、固くしまる

第494図　SK3682 土坑・出土遺物

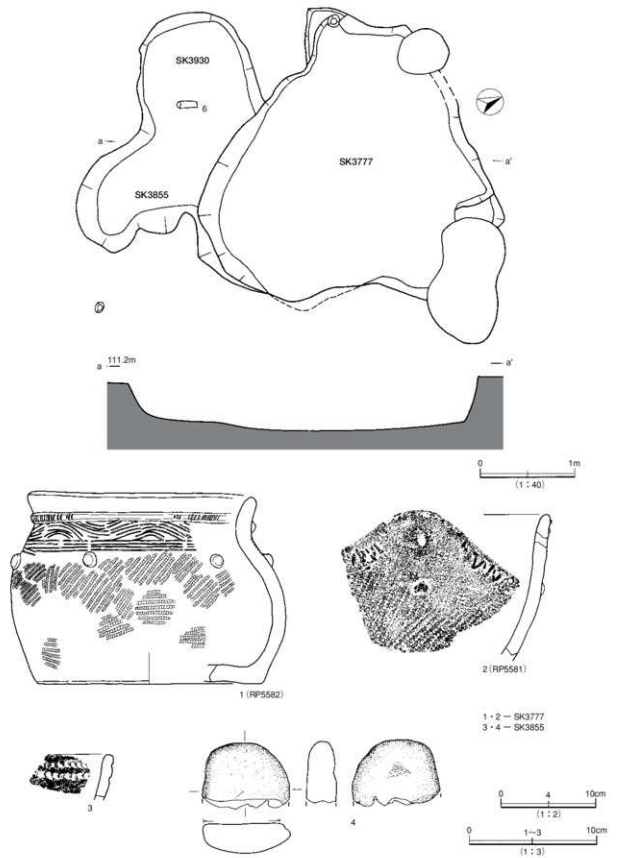
Title:P562-583_縄文.ec6 Page:573 Date: 2005/03/18 Fri 22:00:56





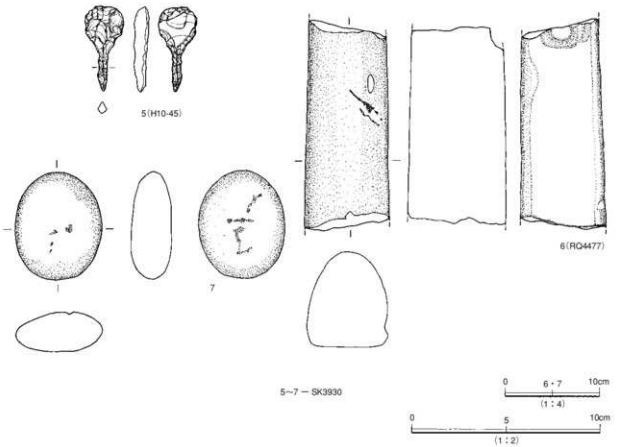
第495図 SK3682・3739 土坑・出土遺物

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:574 Date: 2005/03/18 Fri 22:03:22



第496図　SK3777・3855・3930 土坑・出土遺物

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:575 Date: 2005/03/19 Sat 13:43:10



第497図 SK3930 土坑出土遺物

遺物は１の輪積痕の残る深鉢口縁部や３～７の掻器などが出土している。

ＳＫ3934（第501図）

グリッド12－96に位置する。楕円形の小土坑である。規模は長径82cm、短径57cmを測る。深さ50cmの柱穴状を呈する。覆土は黒褐色シルト～暗褐色シルトを主体とする。

ＳＫ3980・3981（第501図）

グリッド13－96に位置する。ＳＴ3467内に所在しＳＫ3981と重複する。平面形はＳＫ3980が楕円形、ＳＫ3981は隅丸方形を呈する。ＳＫ3980は径1.5m、ＳＫ3981は長軸２m、短軸1.5mを測る。両者とも深さ64cmほどのやや深い土坑である。

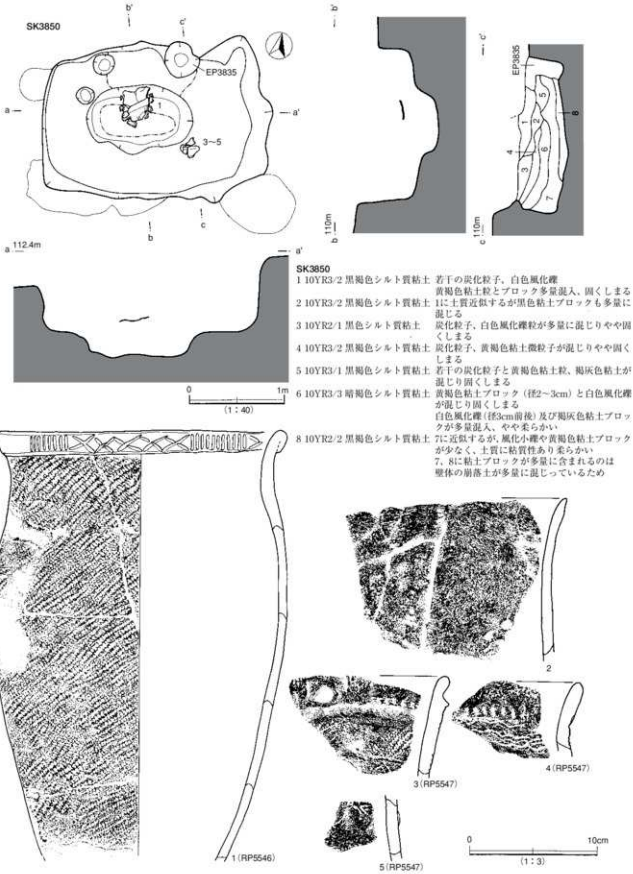
ＳＫ3980の壁は北西側でオーバーハングしている。底面は平坦だが、北部に深さ21cm、径20cmのピットがある。当初はフラスコ状土坑であったと推測される。

ＳＫ3981の床面にはＳＴ3467の柱穴が重複している。

ＳＫ3985（第501図　写遺物－62）

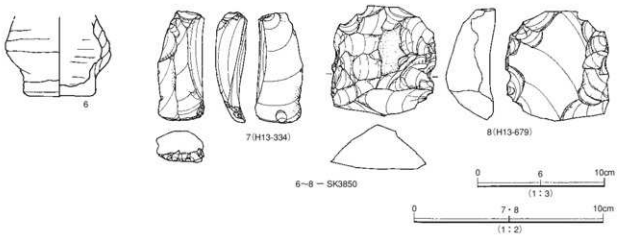
グリッド13－96に位置する。平面形は楕円形～小判形を呈する。規模は長径1.43m、短径68cm、深さ39cmを測る。底面は凹凸があり東部に径15cmのピットを有する。覆土は黒褐色シルト～暗褐色シルトを主体とする。遺物は口縁部に爪形の刺突文を施す１の深鉢型土器がある。

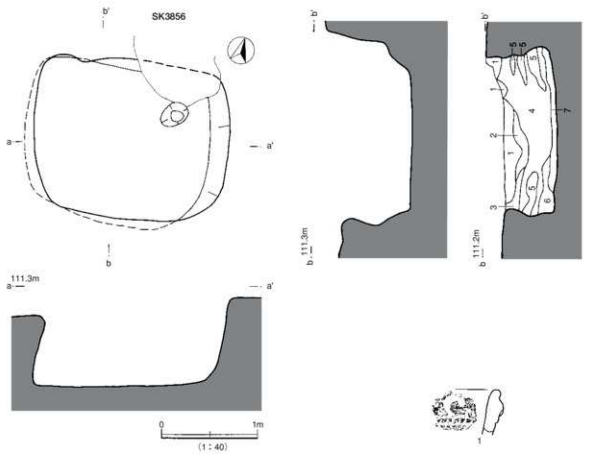
Title:P562-583_縄文.ec6 Page:576 Date: 2005/03/18 Fri 22:09:30



第498図　SK3850 土坑・出土遺物

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:577 Date: 2005/03/18 Fri 22:13:16



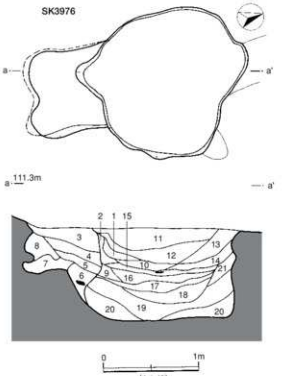


SK3856

1 5Y6/3	オリーブ黄色砂質土	粘土ブロックを含み，固くしまる
2 5Y6/4	オリーブ黄色砂質土	腐植質粘土をブロック状に含み，固くしまる
3 2.5Y6/3	にぶい黄色砂質土	固くしまる
4 10YR6/4	にぶい黄橙色砂質土	シルトをレンズ状に含み，固くしまる
5 2.5Y6/4	にぶい黄色砂質土	親指大の粘土ブロックを含み，固くしまる
6 5Y5/4	オリーブ黄色砂質土	小指大の腐植土のブロックを含む，固くしまる
7 5Y6/3	オリーブ黄色砂質土	粘土のブロックを含む，固くしまる

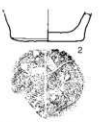
第499図 SK3850・3856 土坑・出土遺物

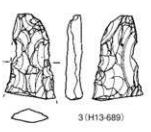
Title:P562-583_縄文.ec6 Page:578 Date: 2005/03/19 Sat 13:50:44

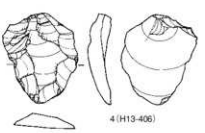


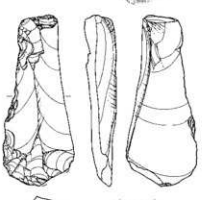
SK3976

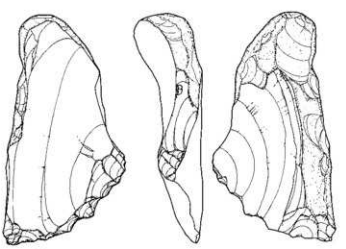
1	5Y4/1	灰色砂	炭化粒わずかに混じる
2	7.5YR3/2	黒褐色シルト	わずかに焼土混じる
3	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化粒含む
4	10YR3/3	暗褐色シルト	3より多くの炭化粒含む
5	2.5Y4/4	オリーブ褐色シルト	砂が多く混じる
6	5Y4/2	灰オリーブ色砂	（地山）
7	10YR3/1	黒褐色砂	マンガンを含む（地山）
8	5Y5/3	灰オリーブ色シルト	地山かあるいはその崩落土
9	2.5Y4/1	黄灰色砂	炭化粒含む
10	2.5Y5/2	暗灰黄色砂	
11	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化粒、土器含む
12	10YR3/1	黒褐色シルト	
13	10YR4/2	灰黄褐色シルト	砂を多く含む
14	7.5YR4/3	褐色シルト	焼土がまんべんなく混じる
15	10YR4/2	灰黄褐色シルト	
16	10YR4/2	灰黄褐色シルト	ブロック状に25YR4/6赤褐色粘土を含む
17	10YR3/3	暗褐色シルト	爪大の炭化物を多く含む
18	10YR3/4	暗褐色シルト	爪大の粘土ブロックを含む
19	10YR3/3	暗褐色シルト	
20	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	炭化粒含む
21	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	炭化粒含む

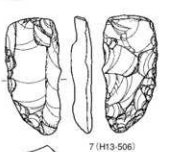


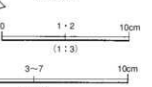












第500図　SK3976 土坑・出土遺物

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:579 Date: 2005/03/19 Sat 13:51:56

ＳＫ3989（第502～504図）

グリッド13－97に位置する。ＳＴ3467大型住居跡の南辺に重複している。平面形は隅丸方形、断面形はフラスコ状を呈する土坑である。

規模は長径2.8m、短径1.9mを測る。深さ82cmの深い土坑である。底面は平坦で、覆土は黒褐色シルト～暗褐色シルトを主体とする。

遺物は１～８の深鉢や９～11の掻器などがある。12・13は石皿片、14は石棒とみられる。　石　棒

ＳＫ3990（第505図）

グリッド12－97に位置する。ＳＴ3467内に所在する不整円形の土坑である。規模は長径1.45m、短径1.28m、深さ39cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦だが、南西壁でピットと重複する。本来はフラスコ状を呈していたとみられる。覆土はにぶい黄褐色砂を主体とする。

遺物は１～５の深鉢や６～８の石匙・削器が出土している。

ＳＫ3634・4011・4012・4013・4027（第506～509図　写遺構－193・194　写遺物－68・71）

ＳＫ3634はグリッド16－92に位置する。ＳＴ4036大型住居跡内のＳＫ4011に隣接して所在する。ＳＫ3634は円形を呈し、規模は径２m、深さ84cmを測る。ＳＫ4012をＳＫ3634が切り、人為的に埋め戻しが行われている。ＳＫ3634上面（７層）にＳＴ4036のかが形成され焼土が覆っている。底面の角が丸みをおびて立ち上がるフラスコ状土坑である。遺物は１～５の縄文土器・石器が少量出土している。１は興津系の深鉢、２は細い粘土紐の山形文を縦に連続させている。

ＳＫ4012は隅丸長方形を呈し、規模は長軸３m、短軸2.2m、深さ76cmを測る。覆土は人為的に埋められている。遺物は22～24の縄文土器・石器が僅かに出土している。

ＳＫ4011はＳＫ4013と重複し、これを切る。平面形は円形を呈し、規模は長径3.05m、短径2.8m、深さ1.2mを測る。ＳＴ4036と重なるが、前後関係は不明である。断面は椀形、底面は比較的平坦である。１・２層に縄文土器が多く混入している。４層に砂礫が入り、６・８・10・11層は斜面が崩れた土である。縄文土器片、石器のほか円盤状石製品も出土している。10は細い粘土紐による山形文を縦や斜めに施す深鉢である。

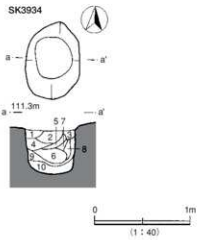
ＳＫ4013はＳＫ4011・4027と重複している。切り合い関係はＳＫ4011に切られ、ＳＫ4027を切る。平面形は円形を呈し、規模は長径2.15m、短径1.6m、深さ68cmを測る。底面は平坦だが、長さ1.2m、幅30cm、深さ10～15cmの溝を有する。断面は椀形を呈する。遺物は24～29の深鉢・石器が出土している。　底面に溝

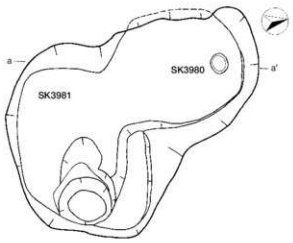
ＳＫ4027はＳＫ4013に隣接して重複し、これに切られる。また、ＳＴ4036大型住居跡の柱穴と切り合う。柱穴は本址が埋没した後に掘り込まれたようだ。平面形は円形を呈し、規模は径３m、深さ76cmを測る。ＳＫ4013と同じく底面に溝が検出される。溝の規模は長さ1.5m、幅25cm深さ12cmを測る。断面は椀形、底面は平坦である。遺物は30～34がある。30は細い粘土紐貼付の連続山形文の深鉢、34は石皿片である。　底面に溝

ＳＫ4014（第510図）

グリッド17－98に位置する。西側への斜面上に所在する。平面形は円形、断面形フラスコ状を呈する土坑である。規模は長径1.2m、短径1.08m、深さ52cmを測る。壁はほぼ全体でオーバーハングし、底面は平坦である。覆土は黒褐色粘質土～黒色土を主体とする。果樹アンカーの撹乱を受ける。

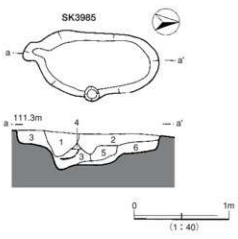
Title:P562-583_縄文.ec6 Page:580 Date: 2005/03/18 Fri 22:18:35





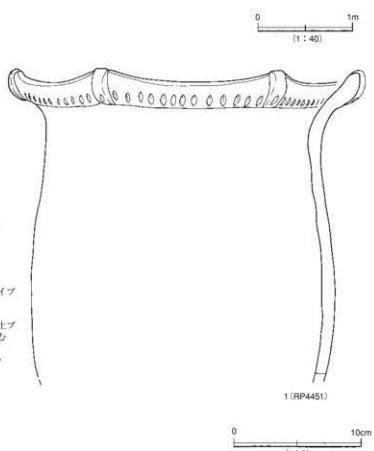
SK3934

1	10YR7/4	にぶい黄橙色シルト	
2	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	炭化粒含む
3	10YR4/6	褐色粘土	
4	10YR3/2	黒褐色シルト	
5	2.5Y4/4	オリーブ褐色シルト	
6	10YR3/4	暗褐色シルト	炭化粒含む
7	10YR3/3	暗褐色シルト	
8	10YR5/4	にぶい黄褐色シルト	
9	2.5Y4/3	オリーブ褐色粘土	
10	10YR3/2	黒褐色シルト	焼土粒をわずかに含む



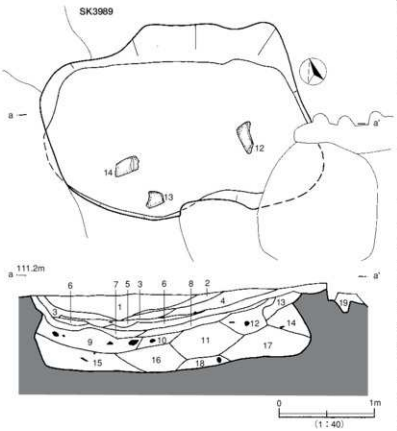
SP3985

1	10YR3/2	黒褐色シルト	粘土ブロック含み、パイプ埋没時の溝、撹乱
2	10YR3/3	暗褐色シルト	粗砂を含む
3	10YR4/2	灰黄褐色シルト	大形の土器片含み、粘土ブロックを底部付近に含む
4	10YR2/3	黒褐色シルト	粘土粒含む
5	10YR3/3	暗褐色シルト	2に比べ、粗砂が少ない炭化粒含む
6	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化粒含む



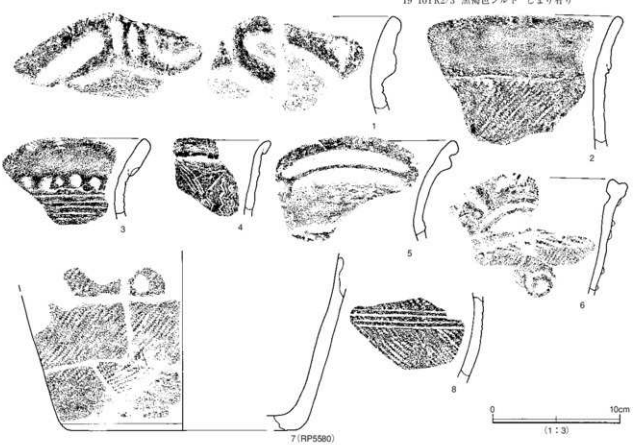
第501図　SK3934・3980・3985 土坑・出土遺物

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:581 Date: 2005/03/18 Fri 22:21:19



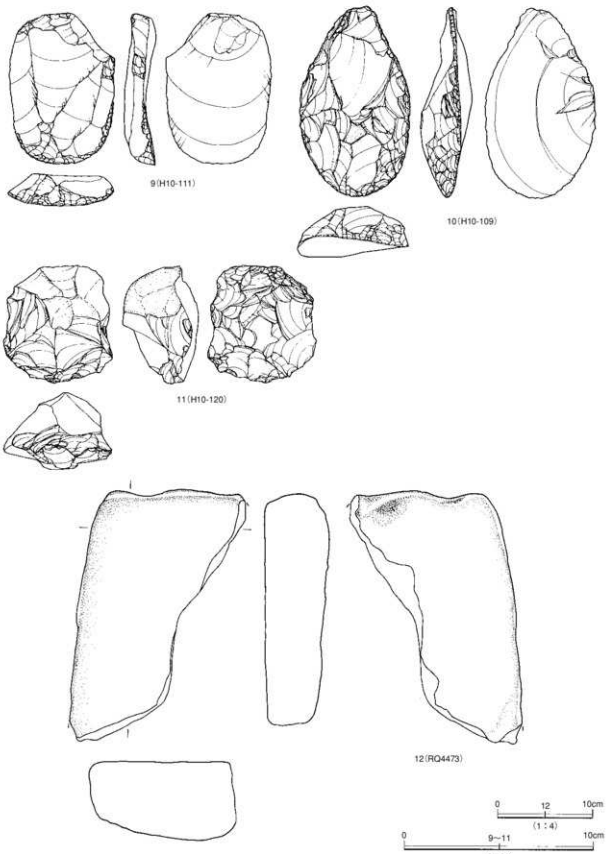
SK3989

1	10YR3/1	黒褐色シルト	小円礫、粗砂、炭化粒含み固くしまる
2	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化粒、粗砂含み、固くしまる
3	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	炭化粒含み、わずかに焼土も含み固くしまる
4	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化粒含み、固くしまる
5	10YR3/1	黒褐色シルト	小指大の炭化粒含み、しまり弱い 6の焼焼時の炭、灰が流れ込んで堆積したのが5と思われる
6	5YR3/4	暗赤褐色シルト	被熱による赤色化、東側と西側の被熱の度合いが高く中央部は低い 中央部は7.5YR5/4にぶい褐色シルト
7	5YR3/3	暗赤褐色シルト	被熱による赤色化、固く焼きしまる
8	10YR5/4	にぶい黄褐色シルト	粗砂、炭化粒を含み、やや固くしまる
9	7.5YR3/4	暗褐色シルト	小円礫を含み、やや固くしまる
10	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	粗砂含み、しまり弱い
11	10YR5/4	にぶい黄褐色粗砂	粗砂、シルトブロックを含み、しまりやや弱い
12	10YR3/3	暗褐色シルト	粗砂、炭化粒含み、しまりやや強い
13	10YR3/2	黒褐色シルト	しまり強い
14	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化粒、礫含み、しまり強い
15	10YR4/2	灰黄褐色粗砂	粗砂、礫含み、わずかに炭化粒含む、しまり無し
16	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	炭化粒、シルトブロック含み、しまり弱い
17	10YR3/3	暗褐色シルト	粗砂、シルトブロックを含み、しまり弱い
18	10YR3/2	黒褐色粗砂	粘土ブロックをわずかに含む
19	10YR2/3	黒褐色シルト	しまり有り



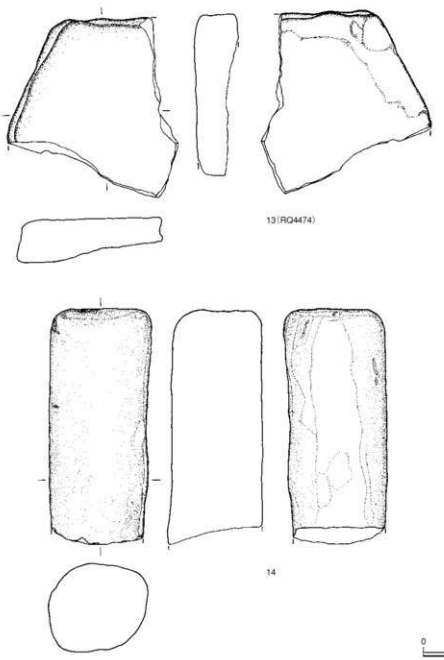
第502図　SK3989 土坑・出土遺物（1）

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:582 Date: 2005/03/18 Fri 22:24:04



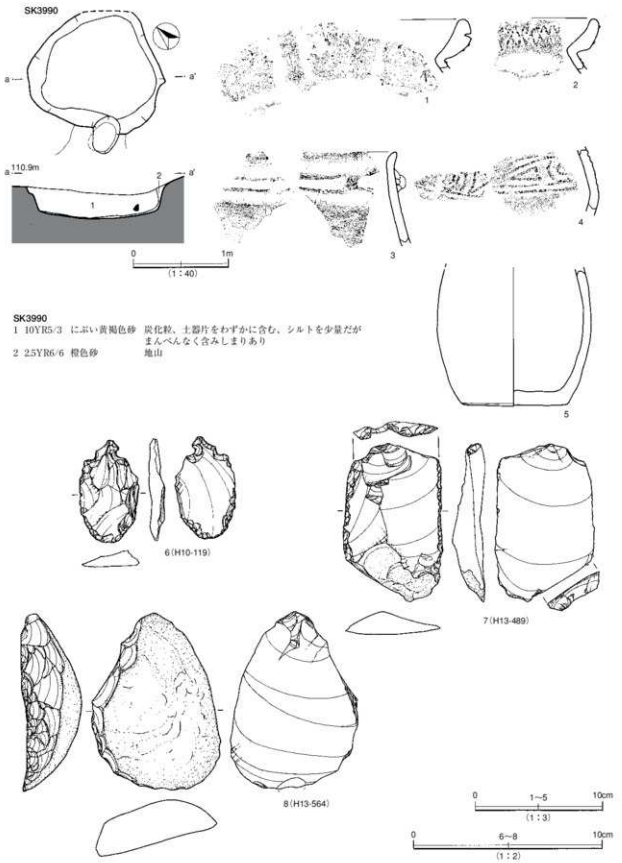
第503図　SK3989 土坑出土遺物（2）

Title:P562-583_縄文.ec6 Page:583 Date: 2005/03/19 Sat 13:34:27



第504図 SK3989 土坑出土遺物（3）

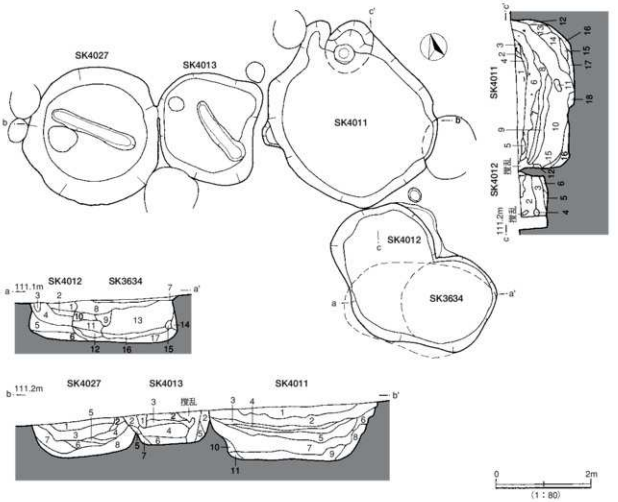
Title:P584-601_縄文.ec6 Page:584 Date: 2005/03/19 Sat 13:37:45



SK3990
1　10YR5/3　にぶい黄褐色砂　炭化粒、土器片をわずかに含む、シルトを少量だがまんべんなく含みしまりあり
2　2.5YR6/6　橙色砂　地山

第505図　SK3990 土坑・出土遺物

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:585 Date: 2005/03/19 Sat 13:40:20



SK3634　a-a'

7	2.5YR4/6	赤褐色粘質シルト	焼けている、固い、炉跡面
8	5YR4/2	灰褐色シルト	10YR7/2にぶい黄橙色粘質土ブロック1~3cm大
9	10YR5/1	褐灰色粘質シルト	粗砂混じり、粘性あり、土器出土
10	10YR7/2	にぶい黄橙色粘質土	10YR6/6明黄褐色＋10YR5/1褐灰色粘質土ブロック混合土、固い、土器、石器出土
11	10YR5/1	褐灰色シルト	10YR3/2黒褐色粘土小粒ブロック混じり
12	10YR5/1	褐灰色砂質シルト	
13	10YR6/6	明黄褐色粘質土	10YR2/2黒褐色粘質土20%、10YR5/1褐灰色シルト、土器出土、固いしまり、小礫1~5cm数点あり
14	10YR6/6	明黄褐色粘質土ブロック	崩落土
15	10YR5/6	黄褐色砂質シルト	柔らかい
16	10YR5/1	褐灰色砂質シルト	10YR6/6明黄褐色粘質土小粒30%固い、下部は砂が多く含む
17	10YR5/2	灰黄褐色砂	10YR6/6明黄褐色粘土ブロック、粒あり

SK4012北面　a-a'

1	5YR4/1	褐灰色腐植質シルト	炭化物混じり、焼土あり、撹乱受ける
2	5YR3/1	黒褐色腐植質シルト	10YR7/2にぶい黄橙色粘土ブロック1~3cm、10%
3	10YR3/2	黒褐色腐植土	柔らかい、土器出土、炭片あり
4	10YR4/4	褐色シルト	10YR6/6明黄褐色、10YR7/2にぶい黄橙色粘質土小ブロック粒50%固い、土器、石器出土、炭片混じり
5	10YR4/2	灰黄褐色シルト	10YR2/2黒褐色、10YR6/6明黄褐色粘質土混じり小粒状、固い、下部砂多し、土器、石器出土
6	10YR5/2	灰黄褐色砂	10YR7/2にぶい黄橙色粘土ブロック混じり

SK4012東面　c-c'

1	10YR3/2	黒褐色腐植質シルト	固い、粗砂混じり
2	7.5YR4/3	褐色シルト	炭化物、焼土粒混じり土器、石器出土、上部の焼土はSTの炉跡
3	7.5YR4/3	褐色粘質土	小粒含む、土器、石器出土、固いしまり
4	10YR3/2	黒褐色腐植土	柔らかい
5	10YR4/2	灰黄褐色砂質シルト	炭化物粒混じり
6	10YR4/2	灰黄褐色砂質シルト	炭化物粒混じり、固い

第506図　SK3634・4011・4012・4013・4027 土坑

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:586 Date: 2005/03/25 Fri 16:25:20

SK4011 b-b'

1	10YR3/1 黒褐色腐植土	根撹乱あり、RP4452下部から出土
2	10YR3/2 黒褐色シルト	腐植質、下部は砂多い、礫5～15cm有り
3	10YR4/6 褐色砂質シルト	粘性あり、流水による流れ込み
4	10YR4/6 褐色砂	礫あり、流れ込み
5	10YR3/3 暗褐色シルト	炭化物粒、粘質土小粒まじり
6	10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	流れ、小礫まじり、柔らかい
7	10YR3/4 暗褐色砂質シルト	炭化物あり、粘質ブロック1～4cmまじり
8	10YR4/3 にぶい黄褐色砂礫	粘土粒まじり少量、柔らかい
9	10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト	小礫多量、炭化物まじり

SK4013 b-b'

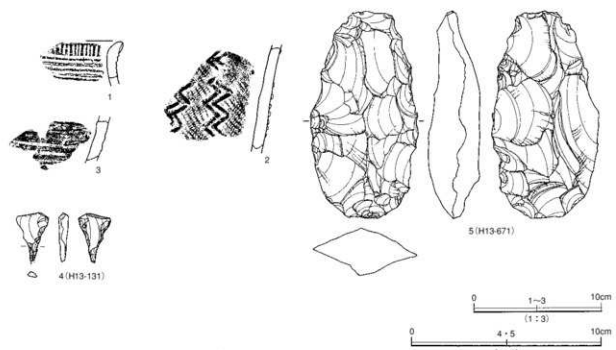
1	10YR3/1 黒褐色腐植土	柔らかい
2	10YR3/2 黒褐色シルト質土	柔らかい、炭化物まじり
3	10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	
4	10YR4/6 褐色砂	腐植質、柔らかい、土器出土
5	10YR4/6 褐色砂	
6	10YR5/2 灰黄褐色砂	炭化物粒まじり、柔らかい
7	10YR3/2 黒褐色腐植質砂	土器出土、柔らかい ＊ブドウ根が深く入る

SK4027 b-b'

1	10YR4/4 褐色シルト	粘性あり、固い、炭化物粒、焼土粒まじり 土器出土
2	10YR3/1 黒褐色腐植質土	ホゾピット
3	10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	炭化物粒あり、土器出土、固い
4	10YR4/1 褐灰色砂	10YR6/6明黄褐色粘質土小ブロックまじり
5	10YR3/2 黒褐色砂質シルト	炭化物まじり
6	10YR4/6 褐色シルト	粘性あり
7	10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト	上面に礫あり、流れ
8	10YR4/1 褐灰色砂質シルト	小礫1～4cm大混じる

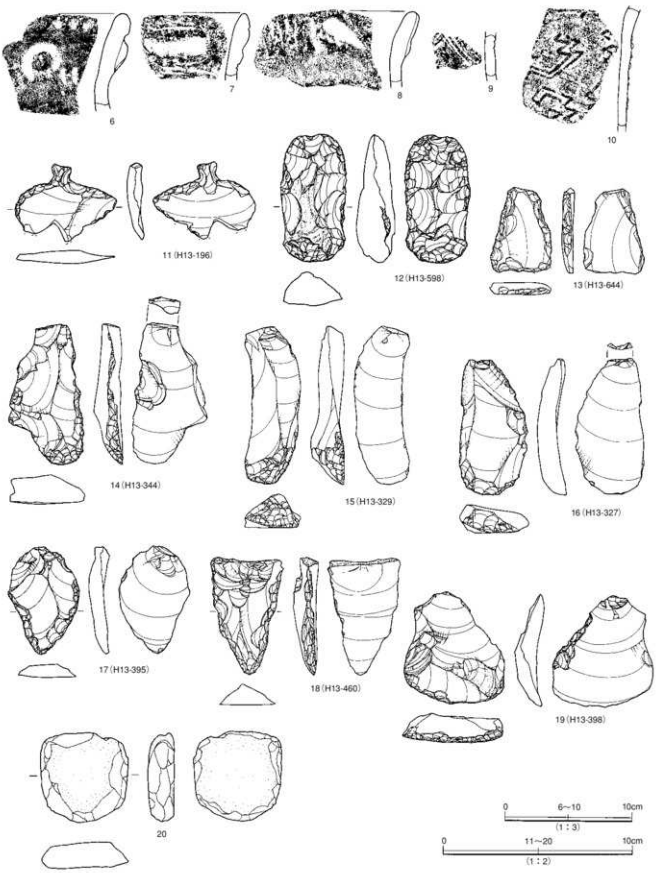
SK4011 c-c'

1	10YR2/3 黒褐色腐植土	土器、小礫出土、根撹乱受ける 焼土含む
2	10YR2/3 黒褐色腐植土	根撹乱受ける、粘土小粒まじり
3	10YR3/1 黒褐色腐植土	10cm大礫含む
4	10YR3/4 暗褐色腐植土	粘性有り、流れ
5	10YR3/4 暗褐色腐植土	4に同じ、ブロック状
6	10YR3/1 黒褐色腐植土	炭化物粒、小礫あり、10YR6/6 明黄褐色粘土粒1～4cm大、土器 出土
7	10YR4/6 褐色粘質シルト	固く粘り強い
8	10YR4/1 褐灰色砂礫	5～10cm大礫多く入る
9	10YR4/6 褐色粘質シルト	粗砂多い、焼土含む
10	10YR4/1 褐灰色砂質シルト	1～3cm大礫まじり
11	10YR7/2 にぶい黄橙色粘質土	ブロック塊
12	10YR4/6 褐色砂質土	柔らかい
13	10YR7/2 にぶい黄橙色粘質土	ブロック大
14	10YR4/1 褐灰色砂質シルト	小礫数点あり
15	10YR4/3 にぶい黄褐色砂	柔らかい、粘土粒まじり
16	10YR6/6 明黄褐色粘質土	固い
17	10YR4/1 褐灰色砂	
18	10YR4/1 褐灰色砂	10YR3/1黒褐色粒少量まじり 柔らかい



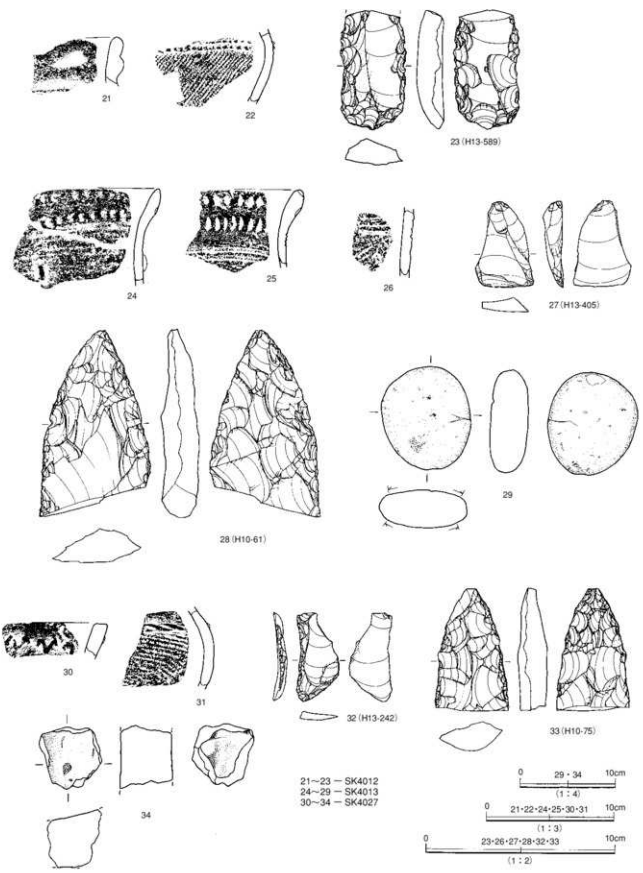
第507図 SK3634 土坑出土遺物

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:587 Date: 2005/03/19 Sat 13:50:03



第508図 SK4011 土坑出土遺物

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:588 Date: 2005/03/19 Sat 13:53:36



第509図　SK4012・4013・4027 土坑出土遺物

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:589 Date: 2005/03/19 Sat 13:54:50

ＳＫ4015（第510図　写遺構－193　写遺物－144）

グリッド15－94に位置し、ＳＴ4036大型住居跡北側に隣接するフラスコ状土坑である。平面形は不整円形を呈し、規模は長径1.28m、短径1.04m、深さ84cmを測る。北東に大きくオーバーハングしており、浅い土坑を切る形で、フラスコ状土坑が掘り込まれている。５層の人為的な埋め戻し後、遺物の投げ込みがなされている。縄文中期大木８ｂ式の土器や焼けた人頭大の礫が出土している。

ＳＫ4035（第511～514図　写遺構－194　写遺物－３・102・103・144）

グリッド17－92に位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径2.6m、短径2.25m、深さ約70cmの土坑である。底面に長さ１m、幅20cmの溝が検出される。底面は比較的平坦である。１・２の深鉢のほか縄文土器片が大量に出土している。また石器の接合資料も多数出土している。同一母岩の剥片も多数出土しているが接合はしていない。石器製造跡の可能性がある。遺物は深鉢や台付鉢、凹石などが出土している。48は磨石、49は粘土塊である。

石器接合資料多数

ＳＫ4039（第515図　写遺物－10・99）

グリッド18－92に位置する。ＳＴ4036の南側、西への斜面上に所在する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸２m、短軸1.2m、深さ75cmを測る。底面に径40cm、深さ25cmのピットが検出されている。墓壙の可能性がある。細い粘土紐貼付による連続山形文などの深鉢や削器、凹石が出土している。

ＳＫ4066（第516図）

グリッド16・17－94に位置する。西へ傾斜する斜面上に所在する。平面形は円形～隅丸方形を呈する。規模は長軸2.18m、短軸1.84m、深さ38cmを測る。底面は平坦だが、中央部に深さ20cm、長さ1.35cm、幅56cmの溝を有する。断面図から溝状遺構が本址を切っていることがわかる。覆土は黒褐色シルト質粘土～暗褐色シルト質粘土を主体とする。

底面に溝

遺物は１～４の深鉢片や５～７の掻器・削器がある。

ＳＫ4067・4068（第517図）

グリッド18－95に位置する。西に傾斜する斜面上にＳＴ4065と重複して所在する。ＳＫ4067・4068ともに楕円形の土坑である。ＳＫ4067の規模は長径1.26m、短径94cm、深さ34cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦である。中央部には長さ1.06m、幅16cm、深さ12cmの溝を有する。ＳＫ4068の規模は長径1.2m、短径 86cmを測る。壁高は斜面に位置するため浅く20cmほどである。遺物はＳＫ4067では１～４の深鉢片や５・６の尖頭器・掻器があり、ＳＫ4068では７～10の深鉢や11の磨石がある。

底面に溝

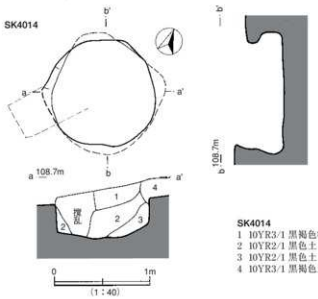
ＳＫ4075・4076・4077（第518・519図　写遺物－102）

グリッド17－95・96に位置する。南西に傾斜する斜面部に所在する。ＳＫ4075とＳＫ4077は重複しているが、切り合い関係は不明である。ＳＫ4076はＳＫ4075・4077に切られる。

ＳＫ4075は径1.8mの円形を呈する。壁高は西壁が30cm、東壁は50cmを測る。ＳＫ4077は径１mの円形を呈し、壁高30cmほどである。底面は平坦である。覆土は黒褐色シルト質粘土～暗褐色シルト質粘土を主体とする。

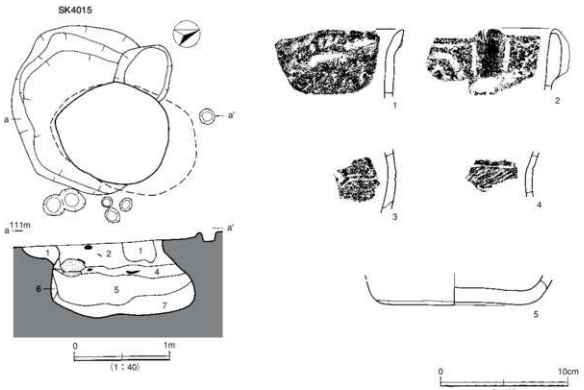
ＳＫ4076は楕円形を呈し、規模は長径1.18m、短径 84cm、深さ38cmを測る。底面はやや凹凸がある。覆土は暗褐色シルト～褐色シルトを主体とする。

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:590 Date: 2005/03/19 Sat 13:57:14



SK4014

1	10YR3/1 黒褐色粘質土	黄褐色粘質土粒多量に混入
2	10YR2/1 黒色土	黄褐色粘質土粒少量混入
3	10YR2/1 黒色土	2と同様だが、黄褐色土を少量混入
4	10YR3/1 黒褐色土	礫砂粒を混入

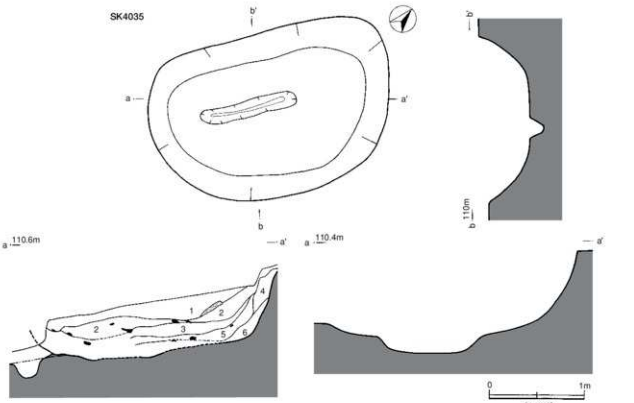


SK4015

1	10YR6/6 明黄褐色粘質土ブロック	埋土
2	10YR3/2 黒褐色腐植土	炭化物粒、焼土粒少量、土器、石器出土、粘性あり、5cm大礫あり
3	10YR4/3 にぶい黄褐色砂質土	やわらかい、壁崩れ
4	10YR2/1 黒色土	炭化土、炭片多い、石器多く出土、厚石コアあり、土器片含む
5	10YR5/2 灰黄褐色粘質シルト	混合土、炭化物、焼土粒混じり、土器、石器出土、しまりあり
6	10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト	壁ながれ、やわらかい
7	10YR4/1 褐灰色土	下部は砂層、粘性あり、固いしまり

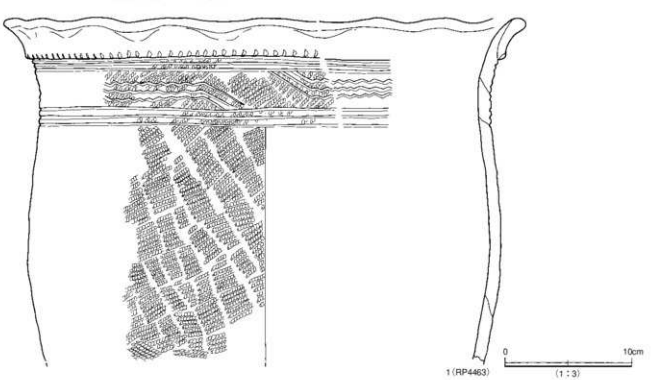
第510図 SK4014・4015 土坑・出土遺物

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:591 Date: 2005/03/19 Sat 14:03:06



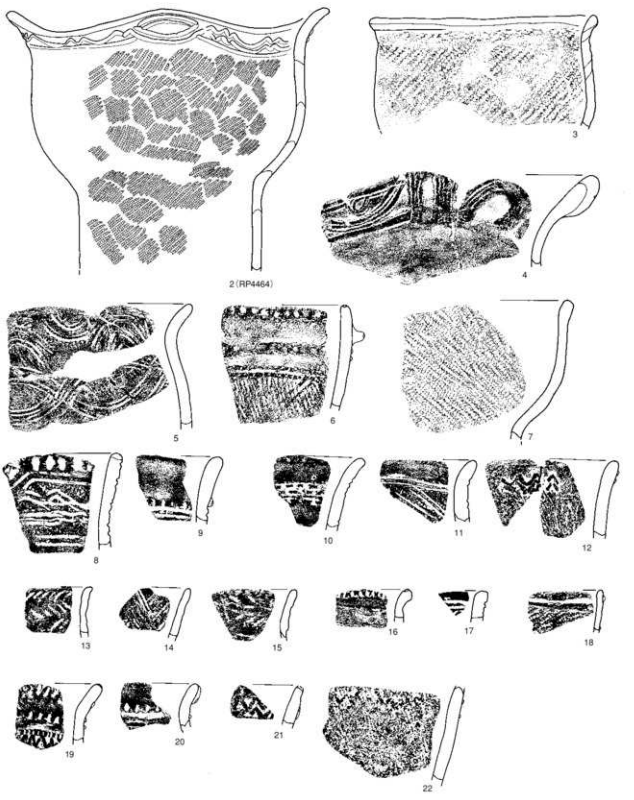
SK4035

1	10YR3/3 暗褐色腐植土	粗砂多い、やわらかい、根撹乱あり
2	10YR3/2 黒褐色腐植土	下面に撹し、大礫、土器、石器が多く入る
3	10YR4/4 褐色焼土	炭化物混じり固い、粘性あり
4	10YR3/1 黒褐色腐植土	流れ、固い
5	10YR3/2 黒褐色腐植シルト	下部に砂を多く含む
6	10YR4/3 にぶい黄褐色砂質シルト	砂礫層



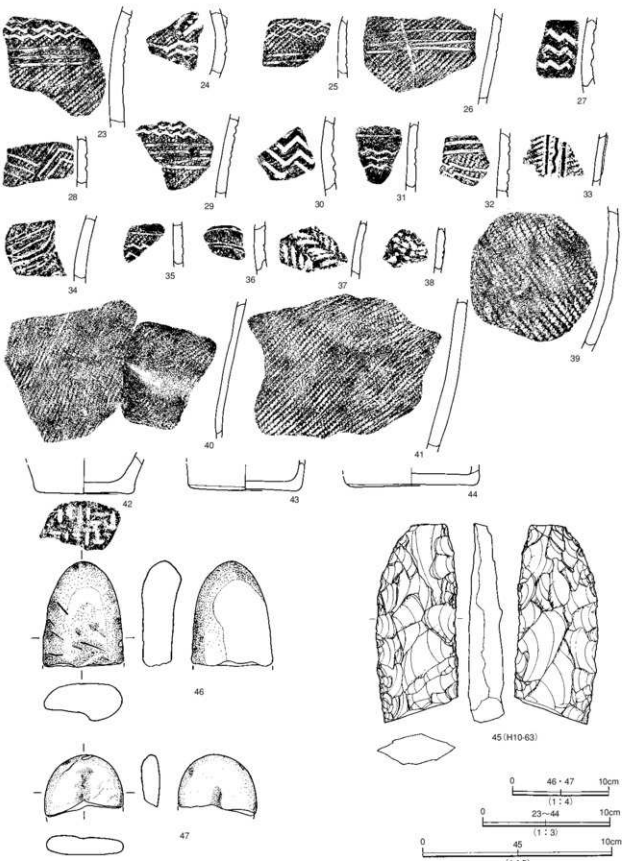
第511図 SK4035 土坑・出土遺物（1）

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:592 Date: 2005/03/19 Sat 14:19:22



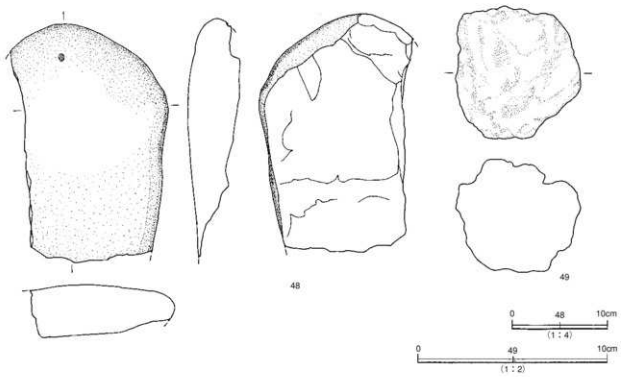
第512図　SK4035 土坑出土遺物（2）

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:593 Date: 2005/03/19 Sat 14:22:50



第513図　SK4035 土坑出土遺物（3）

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:594 Date: 2005/03/19 Sat 14:26:42



第514図　SK4035 土坑出土遺物（４）

遺物は、ＳＫ4075では１～６の深鉢口縁部や７～９の石鏃・石匙、ＳＫ4076では10～14の土器、ＳＫ4077では15～20の口縁部に太い沈線による施文や半截竹管による平行沈線文、結節状沈線文などの大型の深鉢片が出土している。

ＳＫ4080（第520図）

グリッド16－96に位置する。ＳＴ3563の南西斜面部分に所在する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径2.35m、短径2.1m、深さ85cmを測る。断面は摺鉢状を呈し、底面は凹凸がみられる。１・２層に縄文土器片や剥片が検出される。４層は砂礫層でフレークや縄文土器片が少量混入している。

ＳＫ4084（第520図）

グリッド16－98・99、西への斜面上に所在する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長径1.73m、短径1.47m、深さ61cmの深い土坑である。底面は平坦である。覆土は黒色土～暗褐色土を主体とする。遺物は１～３の深鉢がある。縄文時代中期の大木８ａ式期とみられる。

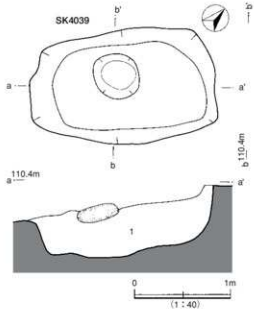
ＳＫ4106（第521図）

グリッド14－100、西に傾斜する斜面際に所在する。平面形は不整円形を呈し、東に大きくオーバーハングしているフラスコ状土坑である。規模は長径1.6m、短径1.5m、深さ98cmを測る。

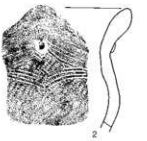
底面にピットと溝

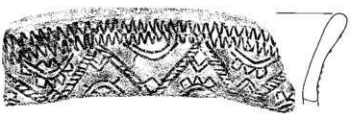
底面中央にピットと長さ１mほどの溝が検出される。溝は深さ10cm、ピットは深さ25～40cmである。覆土は暗褐色～褐灰色シルトを主体とする。斜面部にあるため、堆積層が多く自然埋没している。遺物は深鉢片・石錐が出土している。

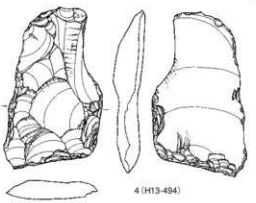
Title:P584-601_縄文.ec6 Page:595 Date: 2005/03/19 Sat 14:33:04

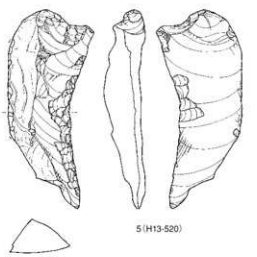


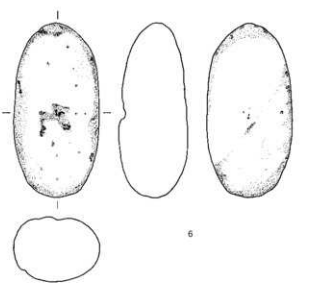
SK4039
1 腐植砂礫　上部に土器大片あり、上面礫、長さ35cm大頭大15cm大などあり、下部、砂礫多くなる
土器は下、少量となる

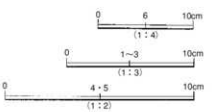






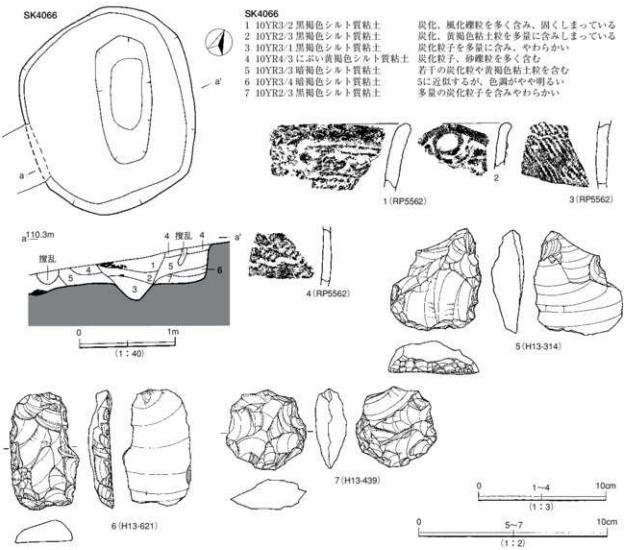






第515図　SK4039 土坑・出土遺物

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:596 Date: 2005/03/19 Sat 14:36:36



第516図　SK4066 土坑・出土遺物

ＳＫ4034（第521図）

グリッド18－93、ＳＴ4036の南辺の西側斜面に所在する。平面形は円形を呈し、断面形はフラスコ状の土坑である。規模は径1.2m、深さ28cmを測り、やや浅い土坑である。壁はほとんどオーバーハングし、底面は平坦である。覆土は黒褐色腐植土を主体とする。

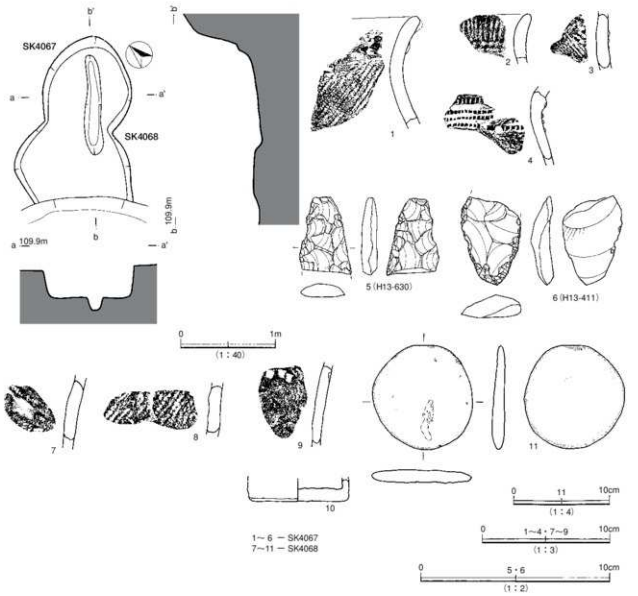
遺物は１の平行沈線文の深鉢や３・４の石鏃がある。

土坑等出土遺物（第522～529図　写遺物－104・105・130）

第522図～第529図の１～103までは、縄文時代の環状集落の所在する７・８区の土坑などから出土した遺物である。ここでは遺物のみを掲載した。遺構図は単独では掲載していない。

第522図の２は縄文時代早期の爪形状刺突文土器、４～７は縄文時代早期の貝殻沈線文系土器である。３はやや太い沈線文の台付鉢、11は細い粘土紐による連続山形文を縦位に施文され

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:597 Date: 2005/03/19 Sat 14:39:10



第517図　SK4067・4068 土坑・出土遺物

る深鉢。10・13・15・16・17・18は石錐・尖頭器・掻器、14は凹石である。

第523図では19は尖頭器、22は異系石器で岩偶の可能性がある。20は口唇部に刻み文、口縁部に半截竹管による平行沈線文、21はボタン状貼付文の深鉢である。

第524図23～39は半截竹管文・爪形文・ボタン状貼付文・沈線文などの波状口縁の深鉢である。24～39は7区で検出された奈良時代～平安時代の溝ＳＤ1392出土である。35は赤焼土器甕である。第525図40・41は尖頭器・石匙、42・46は磨製石斧、47・48は凹石、48は石錘である。

第526図50～61はＳＤ1392と同様で、7区検出の奈良～平安時代の溝出土遺物である。50～59は爪形文・沈線文・粘土紐貼付文の深鉢である。60～63は円盤状石製品、64は興津系土器、65は須恵器坏底部、67は砥石である。

第527図68は円盤状石製品、69は石製品で表面に多数の擦痕があり溝状に彫り込まれる。抉状

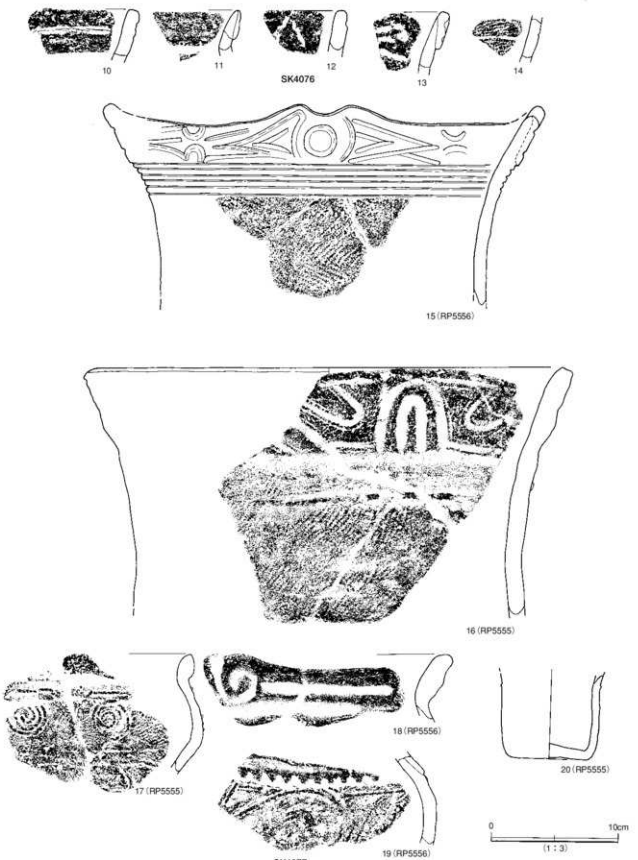
Title:P584-601_縄文.ec6 Page:598 Date: 2005/03/19 Sat 14:42:28

SK4075・SK4076

1　10YR3/2 黒褐色シルト質粘土　炭化、白色風化礫粒を多量に含み、固くしまっている
2　10YR2/2 黒褐色シルト質粘土　1に近似するが、若干の黄褐色粘土粒を含む、小礫が多量に含まれている
3　10YR3/3 暗褐色シルト質粘土　若干の炭化粒子を含む、小礫が多量に含まれている
4　10YR3/4 暗褐色シルト質粘土　炭化粒子、黄褐色粘土粒を多量に含む、小礫が多量に含まれている
5　10YR3/2 黒褐色シルト質粘土　若干の炭化粒子を含み、固くしまる
6　10YR3/4 暗褐色シルト質粘土　若干の炭化粒、黄褐色粘土粒を含みやわらかい
7　10YR4/4 褐色シルト質粘土　6に近似する、色調明るくなる
8　10YR4/4 褐色シルト質粘土　若干の炭化粘土粒を含む
9　10YR3/4 暗褐色シルト質粘土　多量の炭化、粘土粒を含む

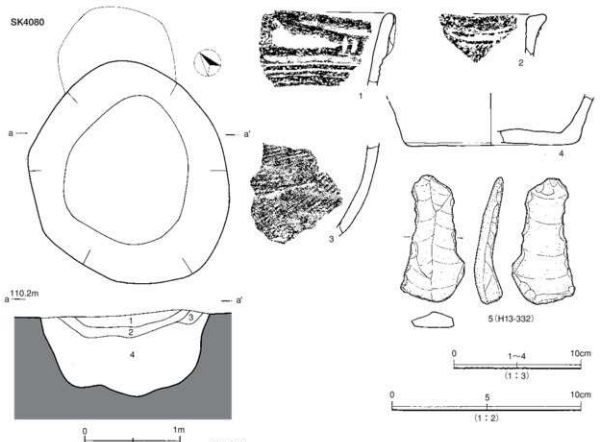
第518図　SK4075・4076・4077 土坑・出土遺物（1）

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:599 Date: 2005/03/19 Sat 14:45:50



第519図　SK4075・4076・4077 土坑出土遺物（2）

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:600 Date: 2005/03/30 Wed 20:18:25



SK4080

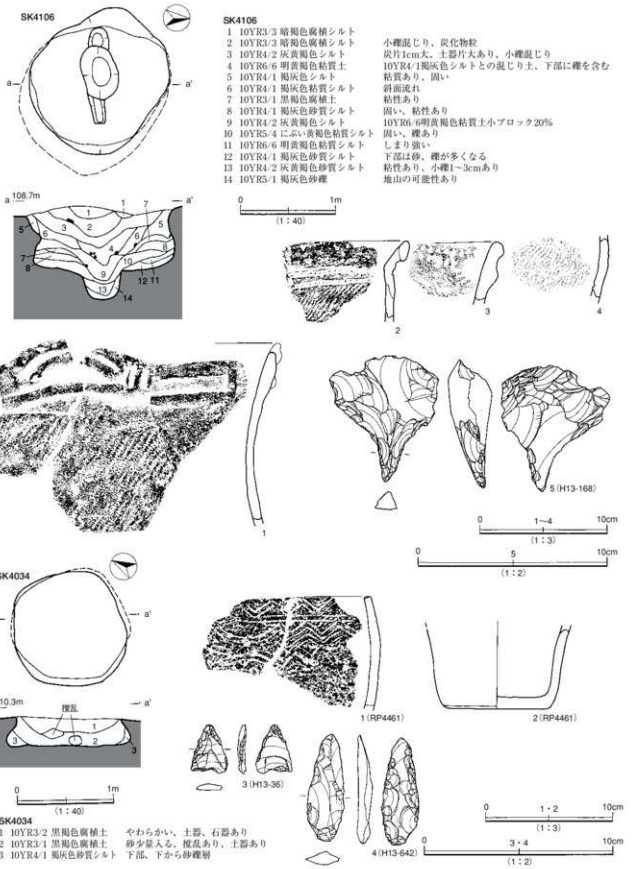
1	10YR4/3 にぶい黄褐色粘質シルト	固い、10cm大礫、土器、石器下部にはいる
2	10YR5/2 灰黄褐色シルト	礫10～15cm大入る、土器、石器出土
3	10YR4/1 褐灰色シルト	上部褐植まじり
4	10YR6/6 明黄褐色砂礫	10YR4/1褐灰色砂、固くなる、1～7cm大小礫と砂が混じる

SK4084

1	10YR3/4 暗褐色土	礫、粗砂、黄褐色土粒多く混入
2	10YR2/1 黒色土	砂粒多量、礫少量混入、よくしまる
3	10YR2/1 黒色土	黄褐色土、礫、多量に混入
4	10YR2/1 黒色土	2と似るが、軟弱で黄褐色土ブロック少量混入
5	10YR3/3 暗褐色土	粗砂多量に混入
6	10YR2/1 黒色土	4と似るが、7を混入している
7	黒褐色砂質土	礫少量混入

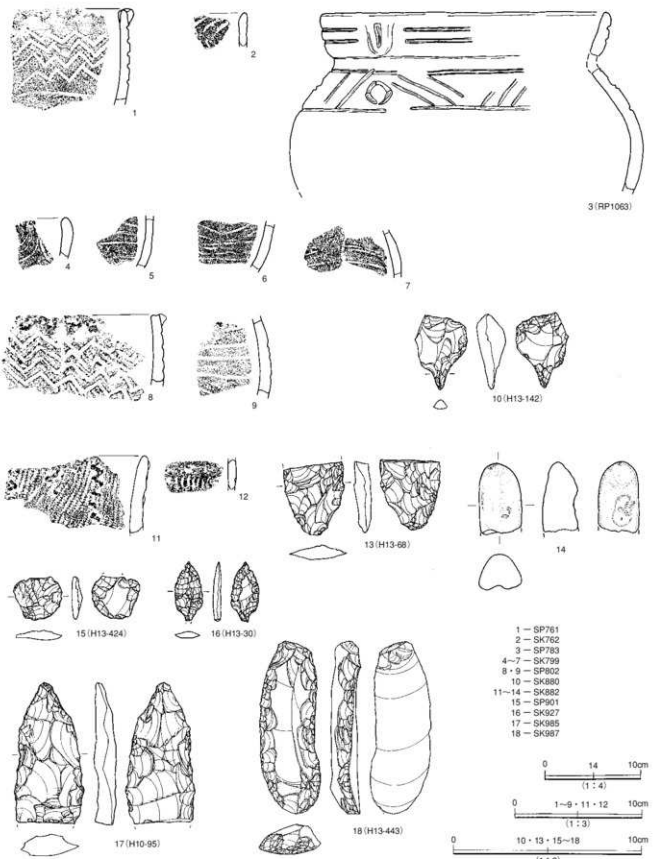
第520図　SK4080・4084 土坑・出土遺物

Title:P584-601_縄文.ec6 Page:601 Date: 2005/03/19 Sat 14:52:33



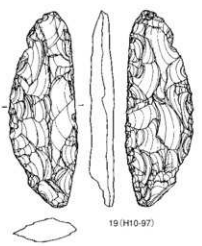
第521図 SK4106・4034 土坑・出土遺物

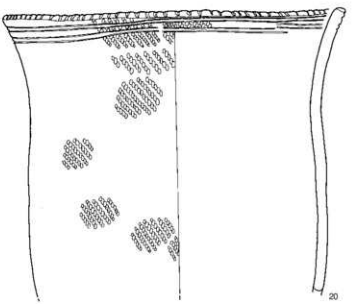
Title:P602-624_縄文.ec6 Page:602 Date: 2005/03/19 Sat 14:01:10

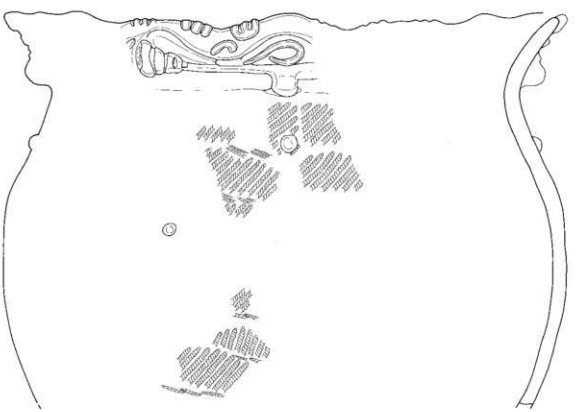


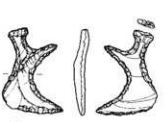
第522図 土坑等出土遺物（1）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:603 Date: 2005/03/19 Sat 14:07:26

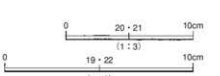






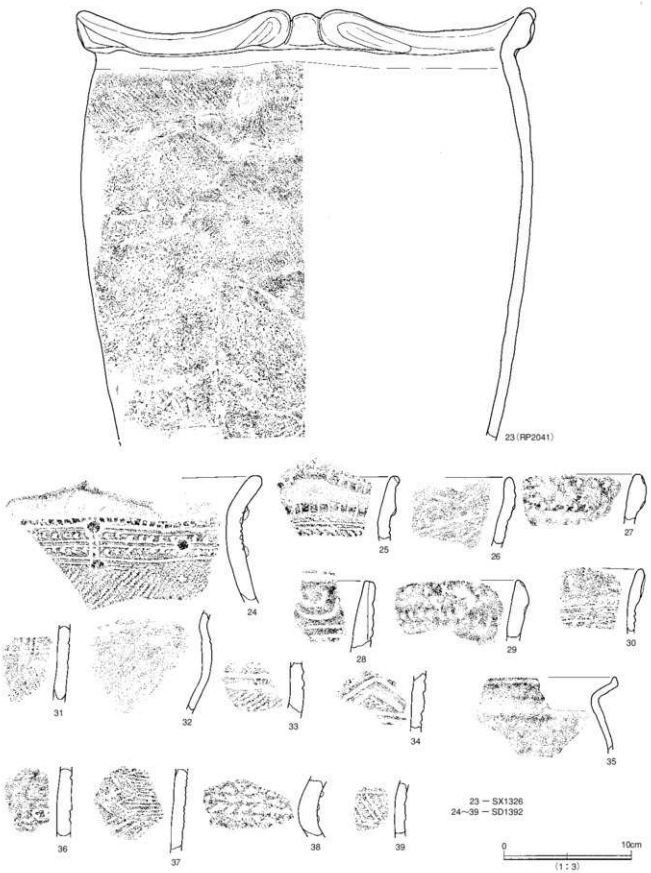


19 — SP1235
20 — SK1273
21 — SX1252
22 — SP1285



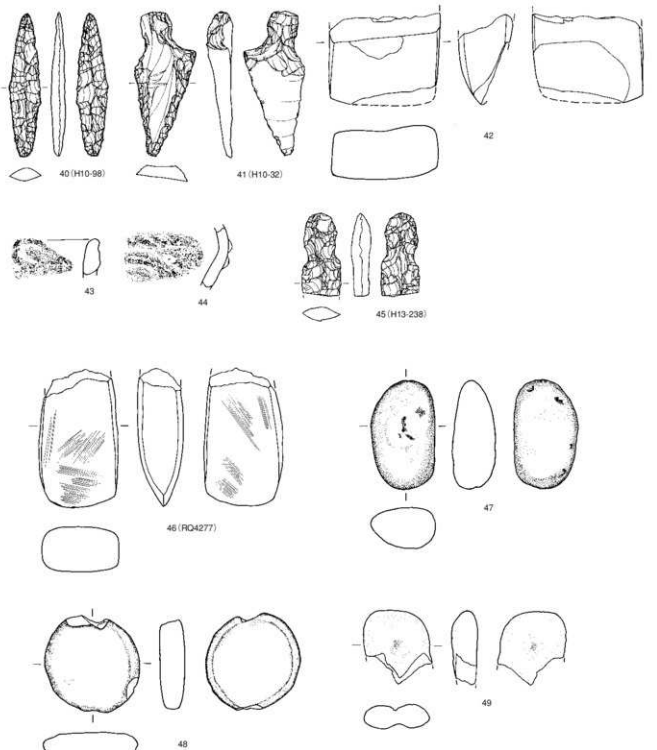
第523図　土坑等出土遺物（2）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:604 Date: 2005/03/19 Sat 14:11:08



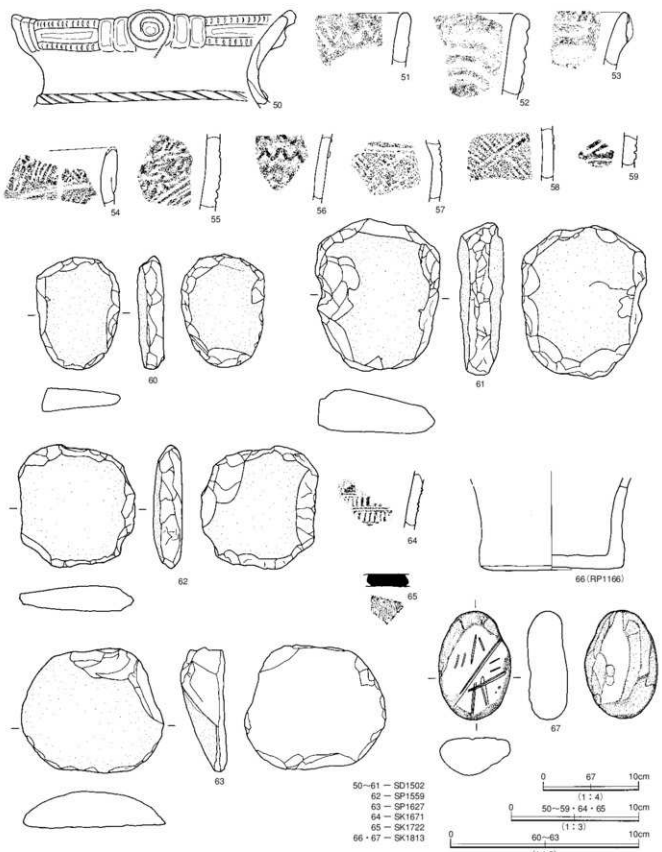
第524図　土坑等出土遺物（3）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:605 Date: 2005/03/19 Sat 14:13:06



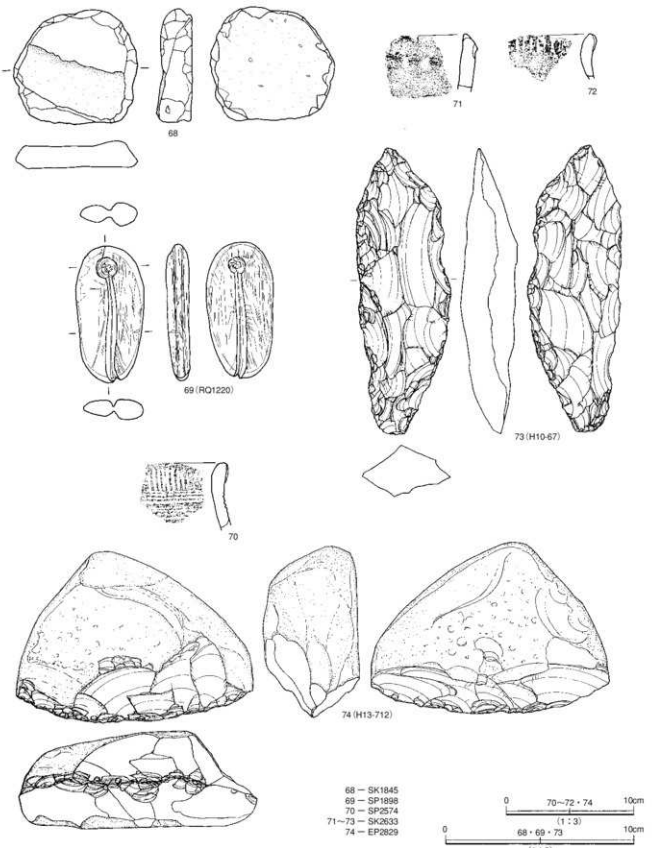
第525図　土坑等出土遺物（4）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:606 Date: 2005/03/19 Sat 14:16:02



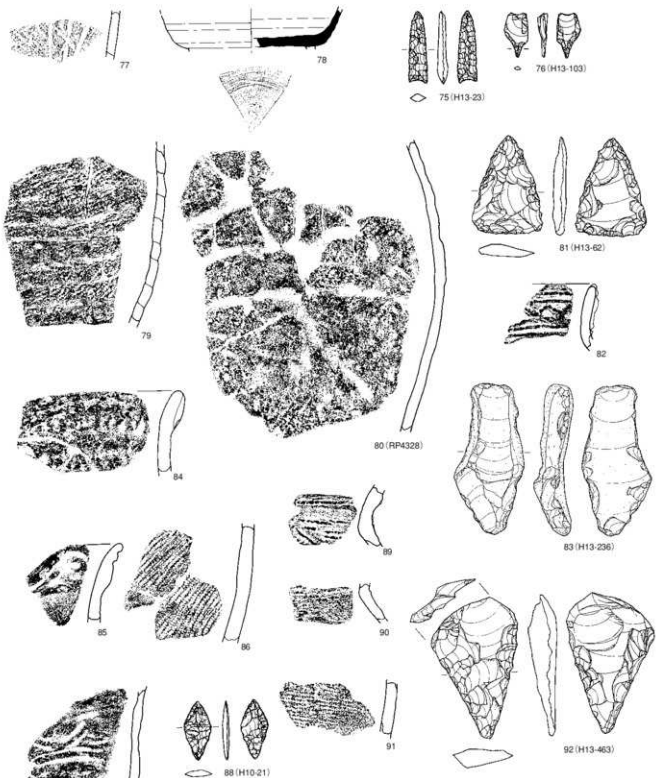
第526図　土坑等出土遺物（5）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:607 Date: 2005/03/19 Sat 14:19:17



第527図　土坑等出土遺物（6）

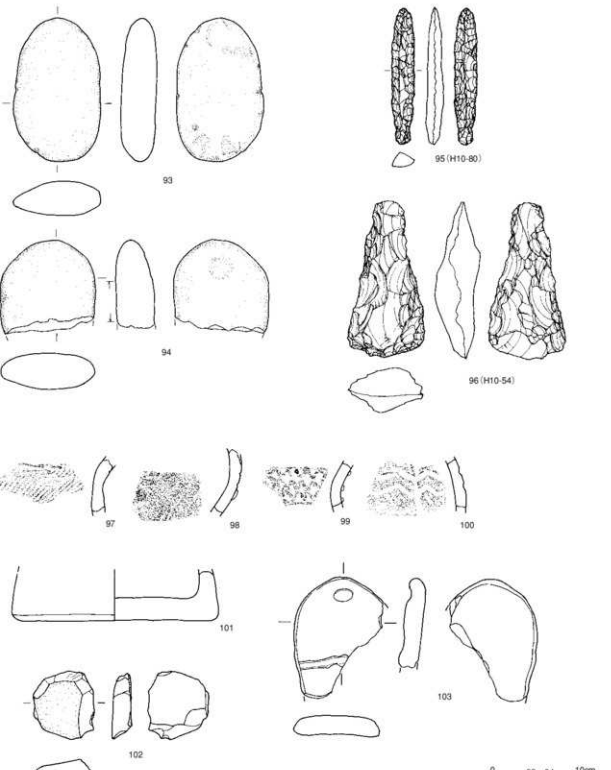
Title:P602-624_縄文.ec6 Page:608 Date: 2005/03/19 Sat 14:23:28



75・76 — SP2881
77・78 — SK3018
79 — SK3201
80・81 — SK3204
82・83 — SX3234
84 — SK3450
85~88 — SK3466
89~92 — SP3527

第528図　土坑等出土遺物（7）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:609 Date: 2005/03/19 Sat 14:28:17



第529図 土坑等出土遺物（8）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:610 Date: 2005/03/19 Sat 14:29:55

耳飾の未成品の可能性がある。70は興津系土器、73は尖頭器、74は礫器である。

第528図78はＳＢ3101北に位置する小ピットから出土の須恵器坏。79・80・84～91は半截竹管文・沈線文である。他に石鏃・石錐・削器がある。

第529図93・94は磨石、95・96は石匙・削器、102は円盤状石製品である。103は土製品で、表面に円形と溝状の凹みが彫られる。

5．陥し穴（第530・531図）

平面形は隅丸長方形を呈し、規模や深さともに１ｍ前後、壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦ないしはピットを有している土坑を『陥し穴』とした。遺物はほとんど出土していないが縄文時代のものと推測した。これらの遺構は１区～３区・６区に分布している。この地区には縄文時代の住居跡は検出されていない。

ＳＫ461（第530図　写遺構－61）

３区グリッド19－32に位置する。ＳＫ461～463、ＳＫ１とほぼ一直線上に並ぶ。平面形は隅丸方形を呈する。規模は長軸92cm、短軸66cm、深さ58cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、底面は平坦だが、中央部に深さ12cm、長径18cm、短径12cmのピットを有する。覆土は黒色シルトを主体とする。

底面にピット

ＳＫ462（第530図　写遺構－61）

３区ＳＫ461の西９ｍ付近のグリッド19－30に所在する。検出プランは円形で検出された。地山の検出面から10cmほど掘り下げた結果、隅丸長方形のプランが確認された。規模は長軸90cm、短軸50cmを測る。深さ90cmの深い土坑である。底面は平坦だが、中央部に径14cm、深さ14cmのピットを有する。覆土は黒色シルト～暗褐色シルトを主体とする。

ＳＫ463（第530図　写遺構－61）

３区グリッド19－29に位置する。当初、長径1.18m、短径1.16mを測る円形プランを検出した。これを10cmほど掘り下げ、さらに隅丸長方形の遺構を確認した。規模は長軸80cm、短軸46cm、深さ78cmを測る。底面は平坦だが、中央部に深さ14cm、径14～16cmのピットを有する。覆土は黒色シルト～黒褐色シルトを主体とする。

ＳＫ206（第530図）

２区グリッド６－142に位置する。平安時代のＳＴ110住居跡とＳＢ201掘立柱建物跡の中間に所在する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.34m、短径1.04mを測る。壁は垂直に掘り込まれ、深さ104cmである。底面は平坦だが、中央部に径16×14cm、深さ12cmのピットを有する。

ＳＫ70（第531図　写遺構－39）

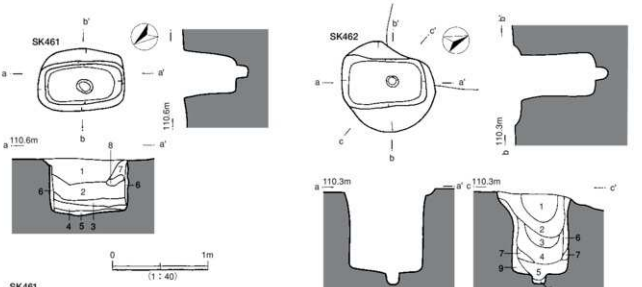
１区グリッド18－54に位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.3m、短軸80cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、深さは1.04mの深い土坑である。底面は平坦だが、やや摺鉢状を呈する。

平坦な底面

ＳＫ84（第531図　写遺構－39）

１区グリッド18－47・48に位置する。検出面では当初、規模が長径1.22m、短径90cmの楕円形のプランが確認された。それを僅かに掘り下げたところ、長軸１m、短軸50cm、深さ80cm

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:611 Date: 2005/03/19 Sat 14:30:59

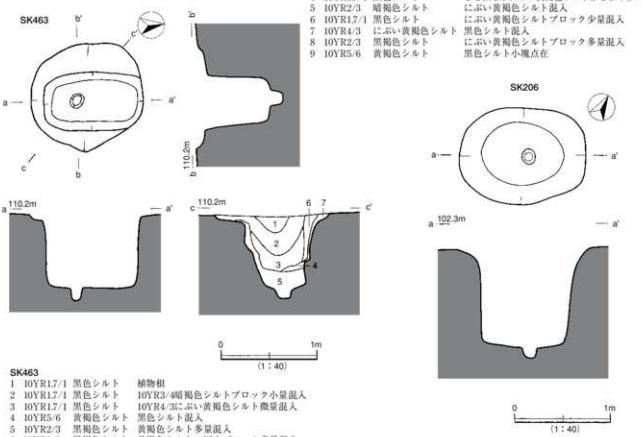


SK461

1	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/4にぶい黄褐色粘質土小ブロック混入
2	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/6黄褐色粘質土小ブロック混入
3	10YR3/3	暗褐色シルト	黒色土多量に混入
4	10YR2/1	黒色シルト	黄褐色粘質土多量混入
5	10YR2/1	黒色シルト	黄褐色粘質土、同ブロック多量混入
6	10YR3/3	暗褐色シルト	黄褐色粘質土ブロック混入
7	10YR2/2	黒褐色シルト	1と似るが黄褐色粘質土粒小量混入
8	10YR2/1	黒色シルト	10YR5/6黄褐色粘質土ブロック混入

SK462

1	10YR1.7/1	黒色シルト	均質、植物根
2	10YR1.7/1	黒色シルト	10YR4/3にぶい黄褐色シルト微量混入
3	10YR3/3	暗褐色シルト	
4	10YR1.7/1	黒色シルト	2と似るがにぶい黄褐色シルトが2より多い
5	10YR2/3	暗褐色シルト	にぶい黄褐色シルト混入
6	10YR1.7/1	黒色シルト	にぶい黄褐色シルトブロック少量混入
7	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト	黒色シルト混入
8	10YR2/3	黒褐色シルト	にぶい黄褐色シルトブロック多量混入
9	10YR5/6	黄褐色シルト	黒色シルト小塊点在

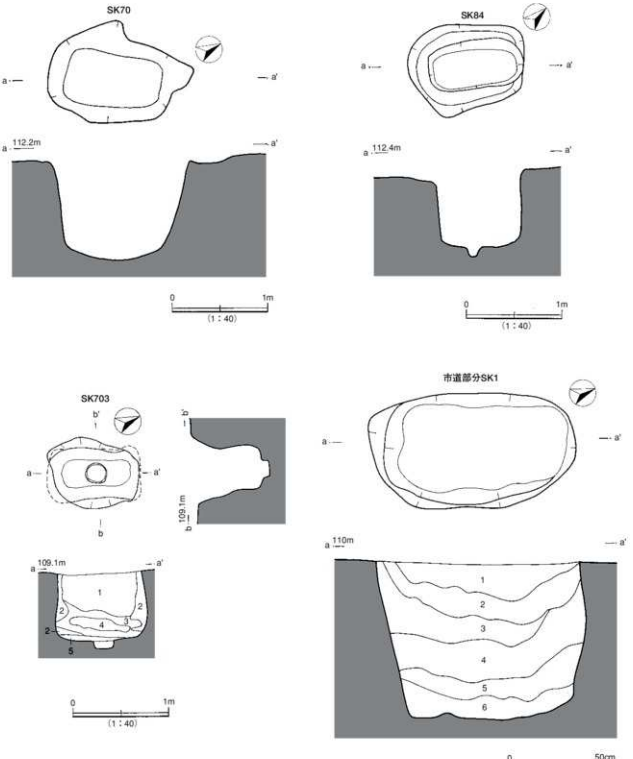


SK463

1	10YR1.7/1	黒色シルト	植物根
2	10YR1.7/1	黒色シルト	10YR3/4暗褐色シルトブロック小量混入
3	10YR1.7/1	黒色シルト	10YR4/3にぶい黄褐色シルト微量混入
4	10YR5/6	黄褐色シルト	黒色シルト混入
5	10YR2/3	黒褐色シルト	黄褐色シルト多量混入
6	10YR2/3	黒褐色シルト	黄褐色シルト・同小ブロック多量混入
7	10YR5/8	黄褐色シルト	黒色シルト微量混入

第530図　SK461～463・206 陥し穴

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:612 Date: 2005/03/19 Sat 14:32:59



SK703

1	黒色粘質土	赤色土粒を少量混入
2	暗黄褐色粘質土	黒褐色土、暗褐色土を混入
3	黒褐色粘質土	2を少量混入
4	黒褐色粘質土	黄褐色土ブロックを多量混入する
5	黄白色粘質土	

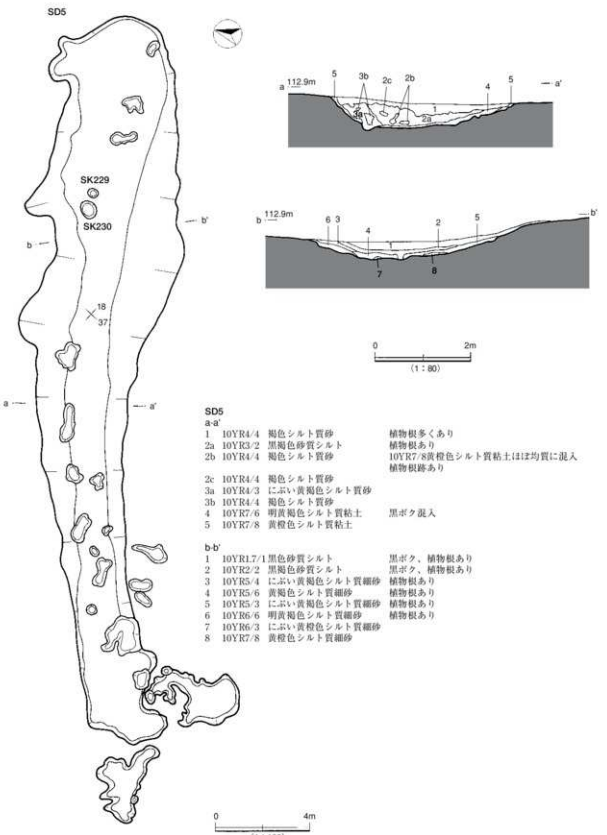
＊全体的によくしまっている

SK1

1	10YR2/1 黒色シルト質粘土	微粒の風化礫粒を含み柔らかい
2	10YR2/2 黒褐色シルト質粘土	若干の炭化粒子と黄褐色粘土ブロックを含み柔らかい
3	10YR2/3 黒褐色シルト質粘土	若干の炭化粒と壁体から崩落した黄褐色粘土を含み柔らかい
4	10YR3/3 暗褐色シルト質粘土	黄褐色粘土ブロック、砂粒を多量に含み柔らかい
5	10YR3/4 暗褐色シルト質粘土	黄褐色粘土、砂質ブロックを多量に含み柔らかい
6	10YR4/6 褐色シルト質粘土	砂礫、砂粒を多く含む

第531図　SK70・84・703・市道部分SK1 陥し穴

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:613 Date: 2005/03/19 Sat 14:35:15



SD5

a-a'

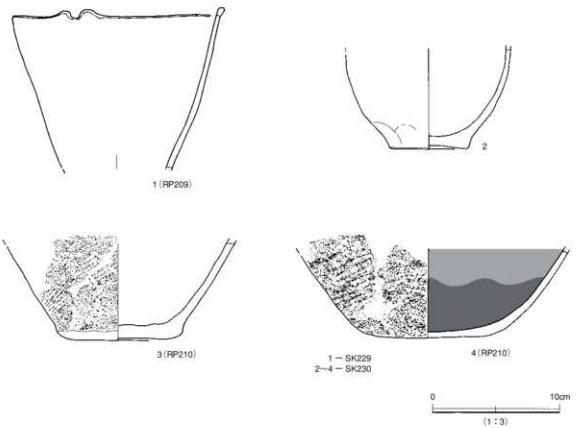
1	10YR4/4	褐色シルト質砂	植物根多くあり
2a	10YR3/2	黒褐色砂質シルト	植物根あり
2b	10YR4/4	褐色シルト質砂	10YR7/8黄橙色シルト質粘土ほぼ均質に混入 植物根跡あり
2c	10YR4/4	褐色シルト質砂	
3a	10YR4/3	にぶい黄褐色シルト質砂	
3b	10YR4/4	褐色シルト質砂	
4	10YR7/6	明黄褐色シルト質粘土	黒ボク混入
5	10YR7/8	黄橙色シルト質粘土	

b-b'

1	10YR1.7/1	黒色砂質シルト	黒ボク、植物根あり
2	10YR2/2	黒褐色砂質シルト	黒ボク、植物根あり
3	10YR5/4	にぶい黄褐色シルト質細砂	植物根あり
4	10YR5/6	黄褐色シルト質細砂	植物根あり
5	10YR5/3	にぶい黄褐色シルト質細砂	植物根あり
6	10YR6/6	明黄褐色シルト質細砂	植物根あり
7	10YR6/3	にぶい黄橙色シルト質細砂	
8	10YR7/8	黄橙色シルト質細砂	

第532図 SD5 溝跡

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:614 Date: 2005/03/19 Sat 14:36:29



第533図　SD5 溝跡出土遺物

の隅丸長方形の遺構が検出された。底面は平坦だが、中央部に径16cm、深さ10cmのピットを有する。

ＳＫ703（第531図）

6区グリッド16－12に位置する。ＳＨ473内に所在する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸98cm、短軸72cmを測る。確認面からの深さ70cmである。底面はほとんどオーバーハングする。上面はやや外反する。底面は平坦だが、中央部に径22cm、深さ8cmのピットを有する。逆木を立てた位置とみられるが、非常に浅い。覆土は黒色粘質土～黒褐色土を主体とする。フレーク1点が出土している。

市道部分ＳＫ1（第531図）

3区と6区の間の市道部分の調査で検出された。グリッド18－26に位置する。平面形は隅丸方形を呈する。規模は長軸1.08m、短軸60cmを測る。壁は垂直に掘り込まれ、深さ82cmである。底面は平坦である。覆土は黒褐色シルト質粘土～暗褐色シルト質粘土を主体とする。

6　溝状遺構

高瀬山遺跡では縄文時代の溝状、川状を呈する遺構は7・8区のＳＧ810と1区のＳＤ5が確認されている。

ＳＤ5（第532・533図　写遺構－37　写遺物－28・118）

グリッド17～22－35～40に所在する。規模は長さ30m、幅2.4～5.2mを測り、ほぼ東西方向に

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:615 Date: 2005/03/25 Fri 12:02:37

延びている。深さは20～60cmで断面はなだらかなU字形を呈している。覆土は黒色～黒褐色土を主体とし自然堆積である。中に幾つかの小坑がみられ、遺物を出土したＳＫ229・230がある。これら土坑はＳＤ５の底面精査時に検出されていることからＳＤ５と同時期か、それよりも新しいものと推測する。

ＳＫ229は径40cmの円形の小ピットで深さは14cmである。壁はほぼ垂直に掘り込まれる。遺物は１の深鉢型土器が出土した。口縁部には突起が付される。胴部は無文で器厚は非常に薄い。

ＳＫ230は長径80cm、短径60cmの楕円形を呈し、深さは12cmを測る。壁はやや傾斜して立ち上がる。遺物は２～４が出土している。その出土状態は３の上に４の１/２が重なり、その上に２が置かれ、さらにその上に４の残りが重なる。これらにはベンガラが多量に付着していた。４は破損した土器の割れ口までベンガラが付着していたことから、ベンガラ容器として再利用されたとみられる。縄文晩期の遺物とみられる。

縄文晩期のベンガラ容器

ＳＧ810（第529図）

環状集落中央部を縦断する。幅４～6.5m、深さ10～20cmを測る。土坑やピットと切り合い、底面においてもピットが検出される。

7　遺構外出土遺物（第534～580図　写遺物－106～111）

縄文時代前期の環状集落である７・８区の遺構検出時には多量の縄文土器・石器が出土した。特に７区の一部では表土上で多量の土器・石器の散布がみられたため、手掘りによる表土除去を行った。

これらの表土除去、遺構確認時に検出された遺物はグリッド毎に取り上げた。これらの中には遺構上面の遺物や遺構覆土の遺物も含まれるものとみられるためグリッド毎に掲載した。

第534図はグリッド８－98・100、９－85・94・97・98出土の縄文時代前期末葉の深鉢や台付鉢である。１は口縁部に撚糸文の押圧、２～４は口縁部・胴部に半截竹管文を充填している。６は口唇部刻み、口縁部ヘラ状工具による刻み、８は結節状沈線文。９は半截竹管による平行沈線文や波状文、10は口縁部に太く短い沈線文、胴部に円形彫去文。11は細い粘土紐による連続山形文、14は波状口縁で、隆帯に刻みを施す。17は波状口縁で口縁部に太い刻み（沈線）、半截竹管による山形文及び結節状沈線文、三角刻印文。22はやや太い沈線による連続山形文を施文する。その他に半截竹管文・沈線文、13・18はボタン状貼付文などがみられる。

第535図ではグリッド９・10－97・98、10－79・81・82・92、11－80・82出土の縄文時代前期後葉～末葉の深鉢、台付鉢である。23・25・27・29は細い粘土紐貼付けによる連続山形文、28は波状口縁で三角刻印文、30・36は波状口縁で非常に細い粘土紐貼付け文、その周囲を半截竹管による沈線文。31は結節状沈線文、32は半截竹管による同心円文や平行沈線文、33は深鉢の底部付近まで半截竹管文が施される。38は半截竹管による連続山形文を口縁部に施文。39・40は口縁部に半截竹管文、41・43・46～48はやや太い沈線文、44は口唇部に結節状沈線文、口縁部と頸部に三角刻印文施文。他、やや太い沈線文などが施文されている。

第536図は11－82、12－78・80～83から出土した縄文時代前期末葉の深鉢・台付鉢である。49・50は口唇部と口縁部に棒状施文具による太い沈線文。54は肥厚した波状口縁部下端に半截

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:616 Date: 2005/03/19 Sat 14:38:32

竹管文、60は太い沈線文の突帯貼付け、62は三角刻印文、63・64は口縁部に太い沈線文。65は半截竹管の平行沈線文、波状文、66はやや太い沈線による鋸歯文、68は細い粘土紐を縦位に貼付け、連続山形文を施文。73・74は棒状施文具による縦の沈線。他は半截竹管文・平行沈線文などがある。

第537図はグリッド12・13・14－80～86から出土した縄文前期後葉～末葉の台付鉢・深鉢である。75は突帯に刻み、76・100は結節状沈線文、77～79は半截竹管文、80 は太い沈線文。81は粘土紐貼付けによる連続山形文とボタン状貼付文、突帯に押圧縄文、82は沈線文、83～85は平行沈線文。86・87は沈線による連続山形文、86は波状口縁部の刻み、87は口唇部及び口縁部に刻み。88・94・95・99は細い粘土紐による横位・縦位の連続山形文で、94以外は同一個体である。93は結節状浮線文、98は興津式系、102はやや太い沈線の連続山形文で波状口縁の可能性がある。89は大木８式の深鉢である。

第538図はグリッド14－80～84から出土した遺物である。縄文時代前期末葉の深鉢・台付鉢である。103・109は結節状沈線文、107・108は結節状浮線文、112はやや幅の広い平行沈線文と頸部突帯に刻み目。113は肥厚する口縁部と口唇部に刻み目、胴部に平行沈線による波状文。114・115・116・120・121・136は口縁部に太い沈線文、114は口唇部に円形凹文施文。122・126・135は細い粘土紐貼付けによる連続山形文。129・130は結節状沈線文及び三角刻印文である。

第539図はグリッド14－84～86から出土している。縄文時代前期末葉の深鉢､台付き鉢である。139は隆帯に刺突文、142・149は細い粘土紐貼付けによる連続山形文、143は波状口縁の隆帯に押圧縄文。144は波状口縁端部に沈線文、隆帯に沈線を施文。145は半截竹管文とボタン状貼付文、148は押圧縄文、151は波状口縁、154は指頭状の刻目文。161は半截竹管による刺突文、162・164・165は口唇部に刻目。163は口唇部に縄文押圧による刻み、胴部に円形の刺突文、167は脚台部である。この他は半截竹管や棒状の沈線文がある。

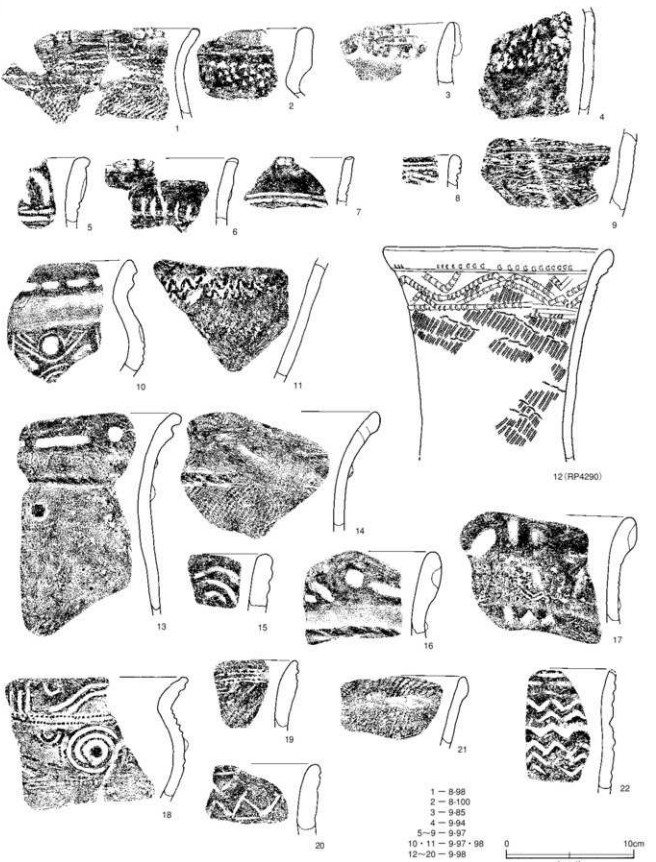
第540図はグリッド14－87、15－84～88、15－96、16－82出土の縄文時代前期末葉及び中期の深鉢である。169は太い沈線文と結節状浮線文、171は細い粘土紐貼付けによる連続山形文、172は太い粘土紐貼付文及び半截竹管文。175･186は押圧縄文、180は半截竹管による連弧文、181･190は細い粘土紐貼付文。他は細い沈線文、太い沈線文、結節状沈線文などがみられる。185・187は大木10式土器である。

第541 図はグリッド16－82～85・87・89・93・96・97出土遺物である。ほとんどは縄文時代前期末葉の深鉢である

217・227は細い粘土紐による山形文を縦位に貼付ける。223は結節状浮線文、229は結節状沈線文､230は波状口縁で沈線文の小型の深鉢。221は大木９式土器である。231は連続爪形文とボタン状貼付文、232は口唇部に半截竹管の刺突文。222は時期が異なる。他に半截竹管文、沈線文の深鉢がある。

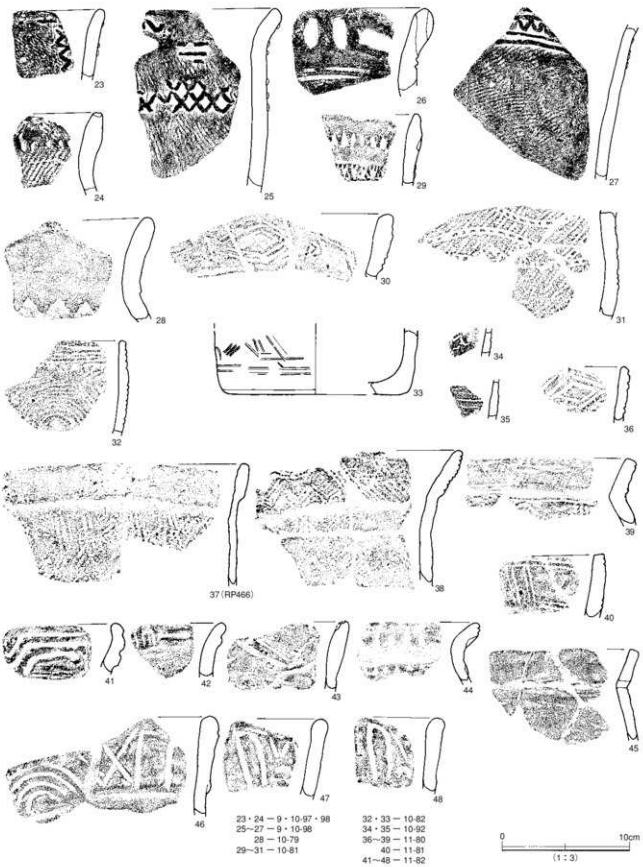
第542図はグリッド16－97・98、17－81～83の出土の遺物である。233は波状口縁で平行沈線文･連続爪形文、半截竹管文の深鉢。234は波状口縁の口唇部に刻目、口縁部下端に三角刻印文、やや太い沈線文。236は結節状沈線文、248は細い粘土紐による連続山形文である。他は半截竹管文､ボタン状貼付文などがある。240は中期大木９式土器。他はほとんど前期末葉の大木６式土器である。

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:617 Date: 2005/03/25 Fri 16:27:12



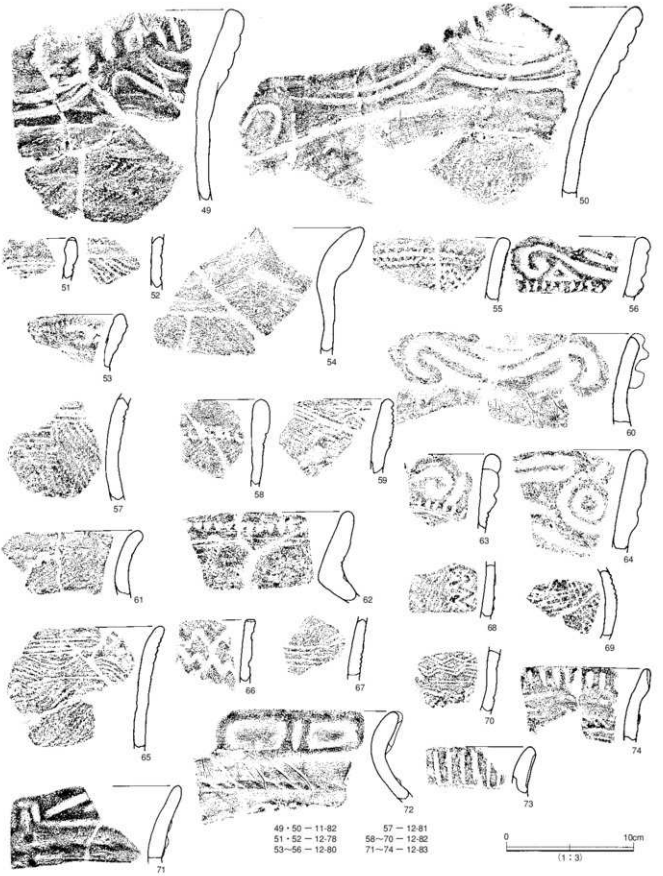
第534図　遺構外出土遺物（1）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:618 Date: 2005/03/19 Sat 14:43:10



第535図　遺構外出土遺物（2）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:619 Date: 2005/03/19 Sat 14:46:34



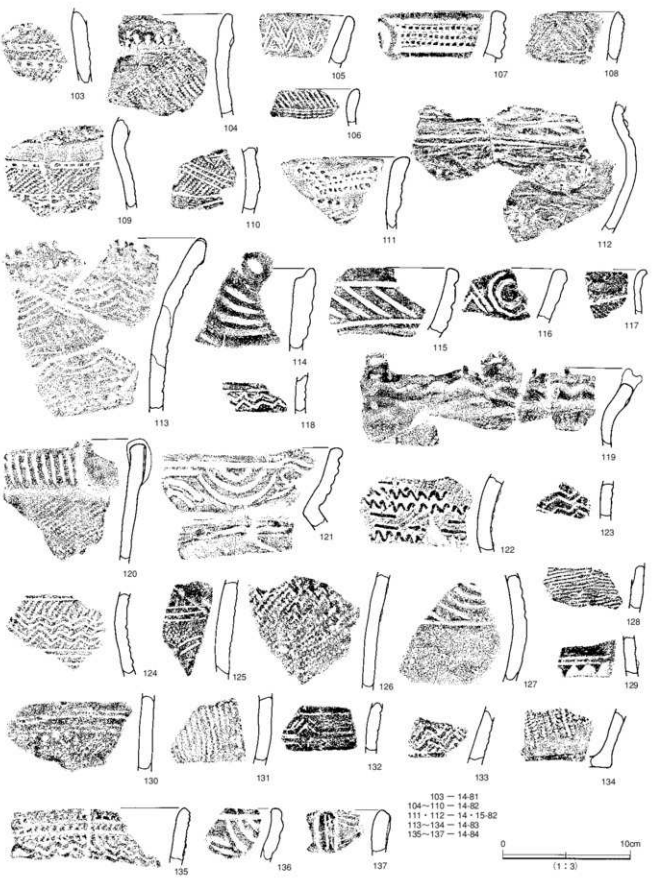
第536図　遺構外出土遺物（3）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:620 Date: 2005/03/19 Sat 14:49:21

75～79－12-83　　88～92－13-83
80～83－12-84　　93～97－14-80
84・85－12-85　　98～100－14-81
86・87－12-86　　101・102－14-82

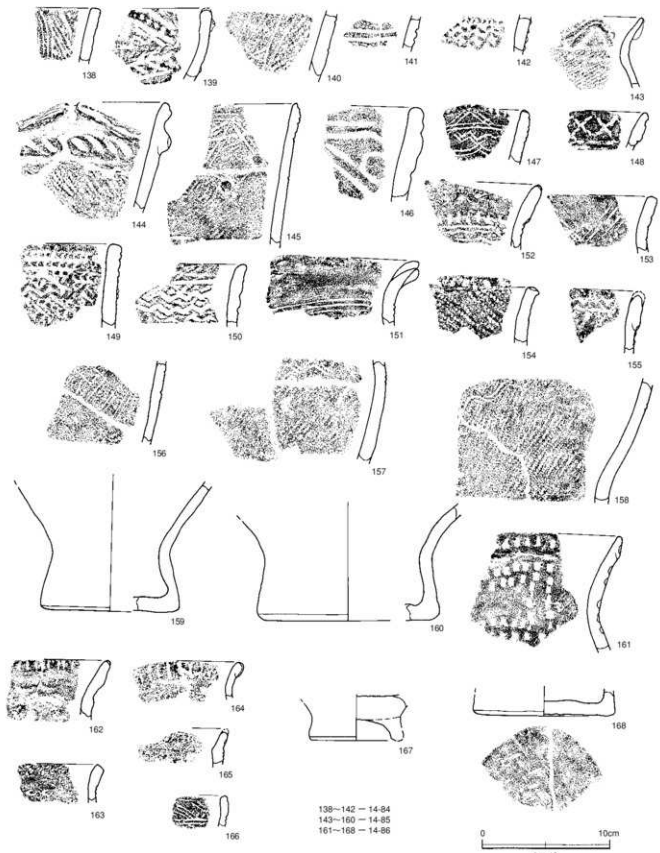
第537図　遺構外出土遺物（4）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:621 Date: 2005/03/19 Sat 14:51:47



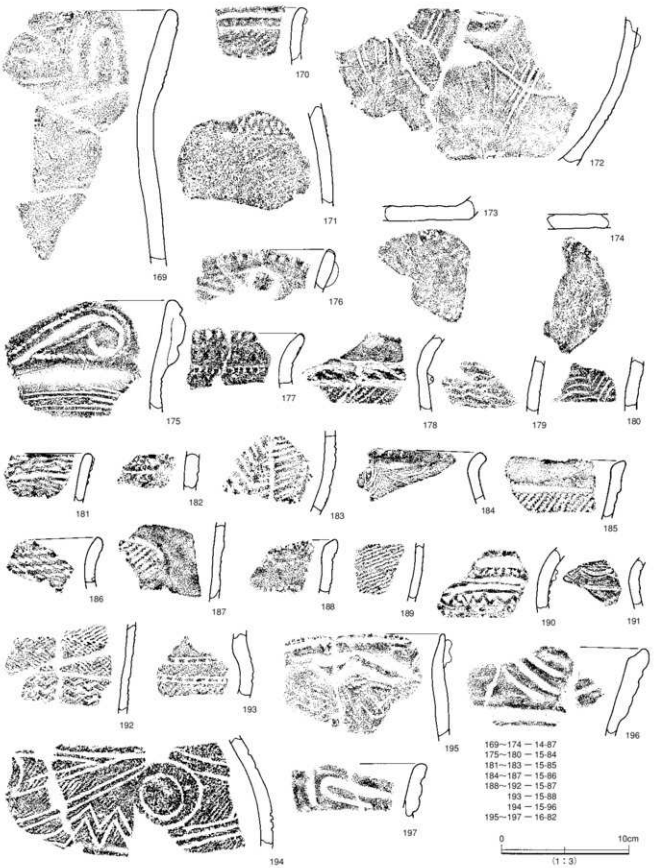
第538図　遺構外出土遺物（5）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:622 Date: 2005/03/19 Sat 15:14:55



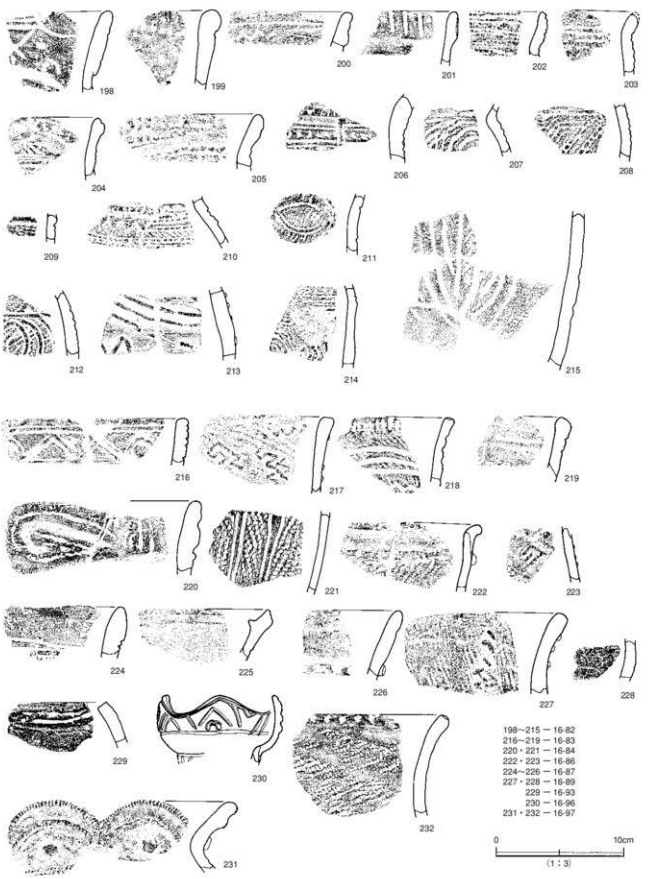
第539図　遺構外出土遺物（6）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:623 Date: 2005/03/19 Sat 15:21:56



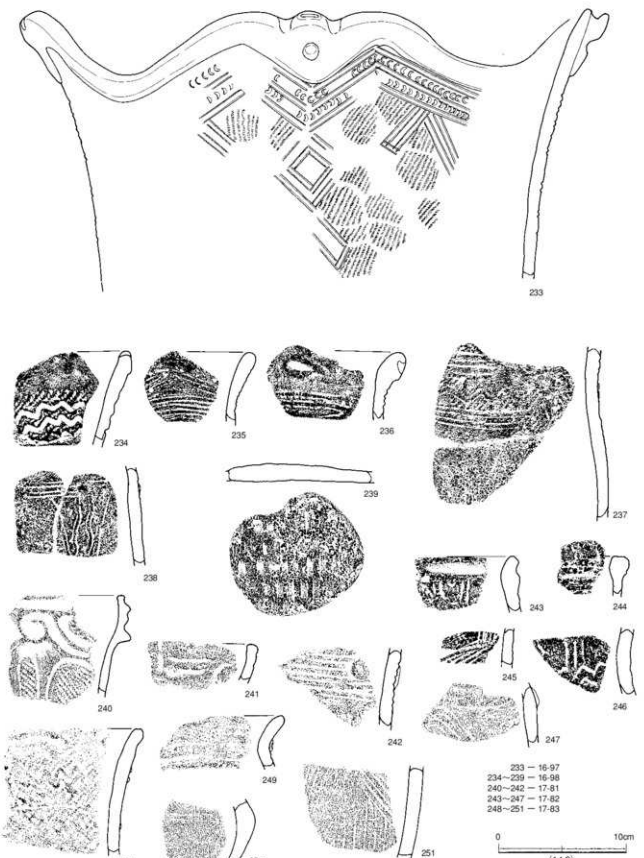
第540図　遺構外出土遺物（7）

Title:P602-624_縄文.ec6 Page:624 Date: 2005/03/19 Sat 15:24:15



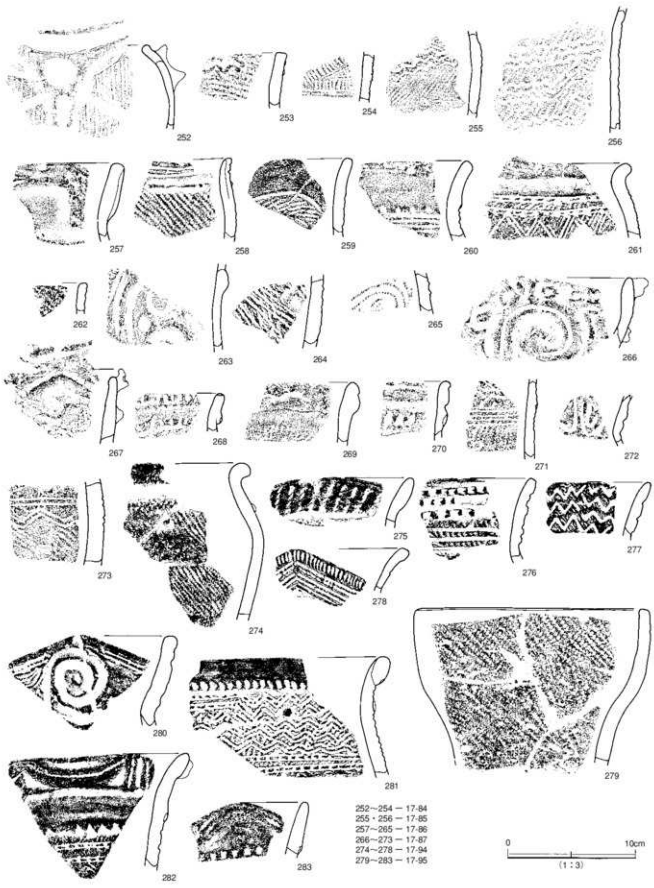
第541図　遺構外出土遺物（8）

Title:P625-644_縄文.ec6 Page:625 Date: 2005/03/19 Sat 14:55:35



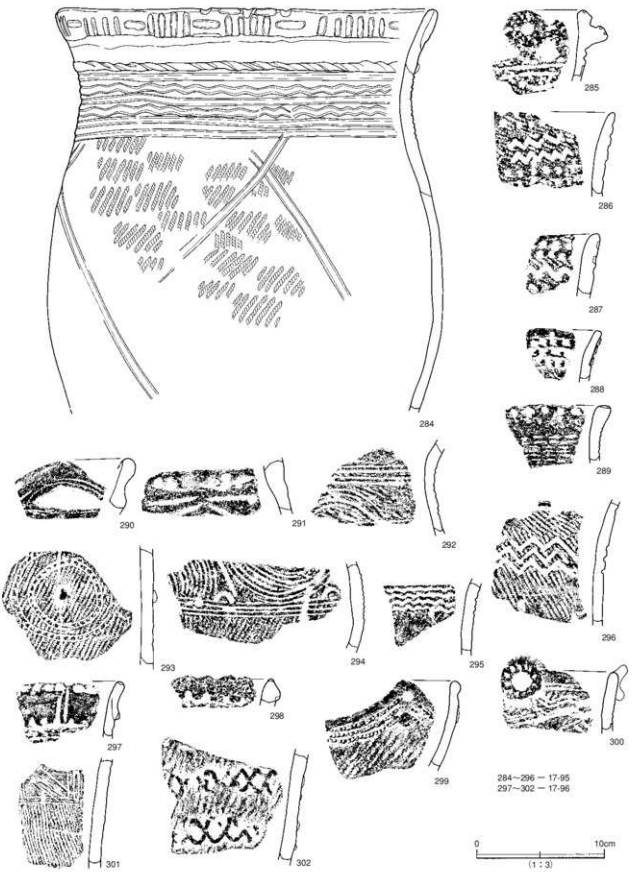
第542図　遺構外出土遺物（9）

Title:P625-644_縄文.ec6 Page:626 Date: 2005/03/19 Sat 14:58:10



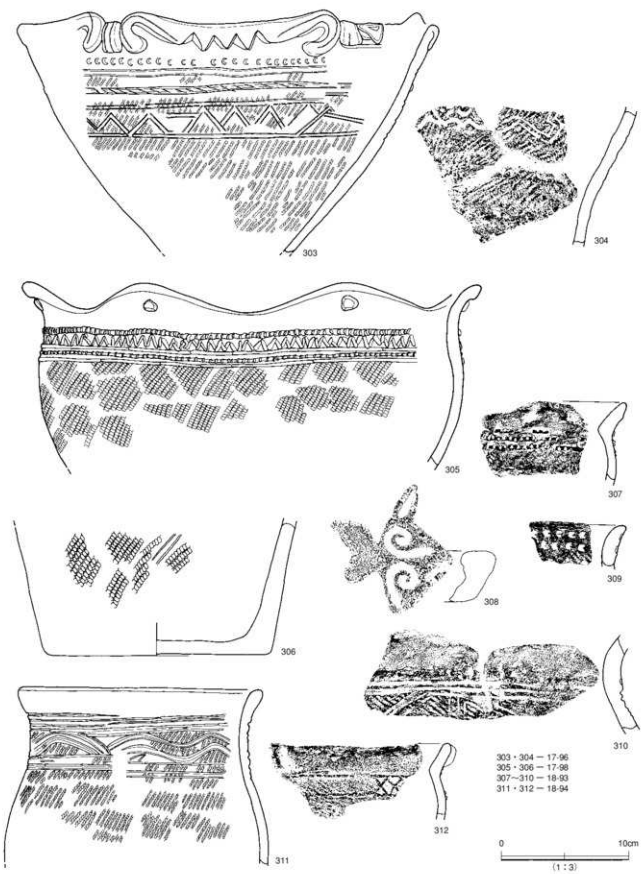
第543図　遺構外出土遺物（10）

Title:P625-644_縄文.ec6 Page:627 Date: 2005/03/19 Sat 15:01:40



第544図　遺構外出土遺物（11）

Title:P625-644_縄文.ec6 Page:628 Date: 2005/03/19 Sat 15:04:07



第545図 遺構外出土遺物（12）